

建設業社会貢献・SDGs/広報活動事例集

令和5年度



Construction Industry Social Contribution/SDGs/
Public Relations Activity Case Study Collection

まちをつくり
暮らしをささえる
建設業



一般社団法人 全国建設業協会
47都道府県建設業協会





建設業のみなさま！

安心できる 未来をつくるう！

建退共

電子申請で
掛金納付を
もっと便利に！！

建退共は建設業で働く
労働者のための退職金制度です。

国がつくった退職金制度なので安心かつ確実！ **制度説明動画配信中**

けんたいきょう

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 TEL03-6731-2866

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方
- 掛金は 日額 **320円**

建設業界の皆様へ

建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも最適

◎法律に基づき運営される国が作った制度
◎建退共に参加し、履行している場合は
「経営事項審査」で加点評価
◎国からの財政上の支援（国の助成により掛金の一部が免除）

特
長

◎掛金は全額非課税（損金または必要経費に算入できます）
◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
◎加入の手続きは簡単（各都道府県の建退共支部で加入）

建退共のホームページを是非ご覧ください。



建設六団体※が発行している 「建設系マニフェスト」をご利用ください。

取扱元：建設マニフェスト販売センター

➡ 建設六団体が発行する「建設系マニフェスト」とは？

- ✓ 建設業団体が推奨する唯一の建設系の「産業廃棄物管理票」
- ✓ 現場で利用しやすく、法令に準拠した様式
- ✓ 法令で定められている5年間の保存に耐え得る、高品質なバックカーボンを採用
- ✓ 交付番号を管理する事によって、不法投棄などの犯罪の防止に寄与
- ✓ 建設業界の社会貢献として、売上金の一部を「不法投棄等支障除去に関する基金」に拠出

※建設六団体：建設六団体副産物対策協議会。

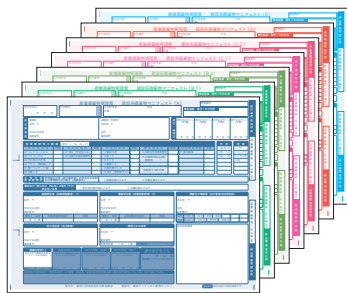
(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)日本建設業経営協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)住宅生産団体連合会 で構成されています。

建設系廃棄物マニフェスト (A票～E票)

建設系廃棄物マニフェストは、販売時に交付番号ごとの購入者データを記録し、管理されています。

排出事業者である建設会社は、自ら購入して交付してください。

1部ずつ個別に使用できる「単票」とプリンターにより必要事項を事前に連続印刷できる「連帳」の2種類があります。



単票小箱 (100部入り)	2,500円 (税込)
単票大箱 (500部入り)	12,500円 (税込)
連帳大箱 (500部入り)	12,500円 (税込)

建設系廃棄物マニフェストのしくみ

廃棄物処理法に基づき、建設廃棄物マニフェストを解説した小冊子です。



1部	170円 (税込)
----	-----------

各都道府県の**建設業協会**又は**産業資源循環協会**で販売しています。

詳しくはお問合せ先までご連絡もしくはホームページで確認してください。

※産業資源循環協会様での販売価格は上記と異なる場合があります。

詳細は販売窓口まで直接お問い合わせください。

お問合せ先 **建設マニフェスト販売センター**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5F

TEL. 03-3523-1630 / FAX. 03-3523-1639 / HP <https://mani.gr.jp/>

はじめに

令和6年1月1日に、石川県能登地方を震源地とするM7.4、最大震度7の地震が発生し、住宅の倒壊や火災、地盤隆起、津波をはじめとした甚大な被害が発生しました。この度の地震により亡くなられた方々のご冥福を衷心よりお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災されました皆様にはお見舞いを申し上げます。

被災地では災害発生直後より地元の建設業の方々が、道路の啓開作業、河川の堤防補強等に取り組まれ、被災地域の一日でも早い復旧・復興に尽力されております。建設業協会は「自分たちで地域を守る」という使命感を持った人々の集団である、と改めて実感いたしました。地元建設業の方々の活動とその責任感に対し、心から感謝を申し上げますとともに敬意を表します。

地域建設業は、国民の生活と経済活動の基盤である社会資本の整備や維持管理等を行うとともに、地域の経済・雇用を支え、さらに災害発生時には、今回の震災と同様に昼夜を問わず最前線で緊急対応、復旧活動等を行い人々の安全・安心を守る「地域の守り手」として重要な社会的使命を担っています。近年頻発・激甚化している災害により、その使命はますます重いものとなっています。

本会では「地域の守り手」として、自然災害への対応や鳥インフルエンザ・豚熱などの防疫対応も含め、様々な形で社会貢献活動を実施している地域建設業の活動を広く社会の皆様に理解していただくため、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、積極的な情報発信に取り組んでいます。

また、期間中には中央行事を実施し、各建設業協会・支部並びに会員企業が行った優れた社会貢献活動を顕彰しておりますが、今回から社会貢献と重なる部分も多いSDGsの取組についても顕彰するため、これまで『社会貢献活動』とひとくくりで顕彰していた、従来の社会貢献功労者表彰を「社会貢献・SDGs功労者表彰」に改めたほか、社会貢献の一部として取り上げていた広報についての取組を独立させ「広報功労者表彰」として顕彰し、SDGsや広報についての活動も、改めて建設業の重要で魅力的な活動として、社会に広く周知いたしました。

本事例集は、本会が令和5年に顕彰した、各建設業協会・支部並びに会員企業が行った社会貢献・SDGs活動及び広報活動を事例集として取りまとめたものであります。本事例集が、地域建設業の、社会的責任（CSR）に取り組んでいる姿や、災害発生時に日夜奮励している姿を通じて、その真摯な社会貢献活動の一端をご理解いただくことに資すれば幸甚であります。

令和6年1月

一般社団法人 全国建設業協会

地域建設業は

SDGsの担い手
地域の守り手



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「地域建設業
SDGs経営指針」に
ついてはこちら



一般社団法人 全国建設業協会／47都道府県建設業協会・公益財団法人 建設業福祉共済団

建設業社会貢献活動事例集 令和5年度

【目次】

1. 建設業の社会貢献活動とその推進月間 1

- (1) 建設業の社会貢献 SDGs 活動……………1
- (2) 建設業社会貢献活動推進月間……………1
- (3) 中央行事の開催と社会貢献 SDGs 活動 / 広報活動優秀事例の顕彰……………1
- (4) 本事例集について……………4

2. 代表的な活動の事例—功労者表彰受賞者の活動事例から抜粋— 5

2-1 代表的な活動事例—社会貢献活動推進月間中央行事における発表事例— ……5

- 発表事例1 地域の守り手として防疫活動「鳥インフルエンザ及び豚熱への対応」
(一般社団法人 茨城県建設業協会) ……5
- 発表事例2 橋本店の SDGs～桜の植樹から緊急資材配備まで～
(株式会社 橋本店【宮城県】) ……8
- 発表事例3 三方よしの「はたらくくるまジュラシックパーク」
(一般社団法人 福井県建設業協会建設青年委員会) ……12
- 発表事例4 テレビ番組「建設人(つくりびと)」の制作について
(一般社団法人 高知県建設業協会) ……14
- 発表事例5 SNSを中心とした SUNAGO 流デザイン戦略 ～建設業のイメージアップに向けて～
(株式会社 砂子組【北海道】) ……16

2-2 協会・支部・会員企業の活動事例・災害復旧支援活動……………20

- 災害復旧・防疫活動……………22
- 防災支援活動……………31
- 地域活性化への取組……………33
- 環境美化・保全活動……………35
- 社会福祉活動……………46
- SDGs への取組……………48
- 広報活動……………49

3. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した活動 56

1. 建設業の社会貢献活動とその推進月間

(1) 建設業の社会貢献 SDGs 活動

「企業の社会的責任」(CSR)は、企業活動のプロセスに経済性や法令遵守にとどまらず、環境への配慮や社会的倫理性などを組み込み、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する説明責任を果たすことにより、社会から信頼を受け、事業を継続的に発展させる活動です。また、近年、国際社会全体が取り組むべき「持続可能な開発目標」であるSDGs達成に向け、日本でも企業や国・地方自治体、大学などでも積極的な取り組みが始まっています。

建設産業は、社会資本の整備を通じ、「国土の保全」、「地域の安全・防災」、「利便性の高い暮らし」等を実現し、社会に貢献してきました。本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、不眠不休で応急復旧活動に取り組んでいます。また、それぞれの取り組みがSDGsの課題解決に沿った取り組みであり、地域建設業はSDGsの担い手と言っても過言ではありません。

(2) 建設業社会貢献活動推進月間

しかしながら、このような地域建設業の取り組みは、メディア等において報道される機会が少なく、建設業界も積極的なPR活動に不慣れだったため、国民・社会にあまり知られていない現状にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、期間中の活動の一環として、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界が実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールする活動を展開しています。

(3) 中央行事の開催と社会貢献 SDGs 活動／広報活動優秀事例の顕彰

上記の推進月間期間中には中央行事を開催しており、18回目となる本年(令和5年)度の中央行事は7月26日、東京都・経団連会館において開催いたしました。

当日は各都道府県建設業協会の会長をはじめ、国土交通省幹部、関係団体の役職員やメディア等多くの方々をお招きし、各地域で実践された様々な社会貢献活動について、功労者表彰や事例の発表を通じて、建設業が行った社会貢献活動を周知・展開いたしました。

本年度より、社会貢献と重なる部分が多いSDGsの取り組みについても表彰するため、従来の社会貢献功労者表彰を「社会貢献・SDGs功労者表彰」に改めたほか、社会貢献の一部として取り上げていた広報についての取り組みも独立させ、広報功労者として表彰することとしました。本年度の「社会貢献・SDGs功労者表彰」については、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で30事例、会員企業を対象とした第4条関係で24事例。「広報功労者表彰」については第3条関係で5事例、第4条関係で5事例の計64事例が選ばれ、奥村会長より表彰状と記念の額が贈呈されました。

また、受賞者の中から特に代表的な事例として、①一般社団法人茨城県建設業協会、②株式会社橋本店(宮城県)、③一般社団法人福井県建設業協会建設青年委員会、④一般社団法人高知県建設業協会、⑤株式会社砂子組(北海道)の5事例について事例発表が行われ、参加者からは建設業としての優れた社会貢献活動に、大きな関心と惜しみない賛辞が贈られました。

また、事例発表終了後に懇親会を開催し、発表者や関係者と情報交換を行いました。

本会が実施した本年度の中央行事の概要は、下記のとおりです。

行事名	令和5年度 建設業社会貢献活動推進月間 中央行事
日 時	令和5年7月26日（水）14:00～16:50
場 所	経団連会館4階 ダイアモンドルーム
内 容	(1) 開会 ・会長挨拶 一般社団法人 全国建設業協会会長 奥村 太加典 ・来賓ご挨拶 国土交通省 大臣官房審議官 楠田 幹人 氏 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①社会貢献・SDGs功労者表彰 ②広報功労者表彰 (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ①地域の守り手としての防疫『鳥インフルエンザ及び豚熱への対応』～建設業者が最前線で活躍！～/一般社団法人 茨城県建設業協会 ②SDGsの取り組み/株式会社 橋本店（宮城県） ③はたらくくるまジュラシックパーク/一般社団法人 福井県建設業協会 建設青年委員会 ④建設人（つくりびと）―土佐の国づくりの歴史をつなぐ―の制作について/一般社団法人 高知県建設業協会 ⑤SNSを中心としたデザイン戦略活動/株式会社 砂子組（北海道） (4) 社会貢献を可視化した災害対応の記録の紹介/一般財団法人 3.11伝承ロード推進機構
参加者	約80名（国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者）



奥村会長挨拶



表彰式



事例発表

功労者表彰受賞者は以下となります。

○社会貢献・SDGs功労者表彰受賞者 一協会・支部等（規程第3条関係）一

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧・防疫活動 【災害復旧・防疫活動】	一般社団法人 新潟県建設業協会 村上支部	新 潟 県
災害復旧・防疫活動 【災害復旧活動】	一般社団法人 峡北地区建設業協会	山 梨 県
	一般社団法人 島田建設業協会	静 岡 県
	一般社団法人 滋賀県建設業協会 伊香支部	滋 賀 県
災害復旧・防疫活動 【防疫活動】	一般社団法人 岩手県建設業協会 奥州支部	岩 手 県
	一般社団法人 岩手県建設業協会 千厩支部	岩 手 県
	一般社団法人 茨城県建設業協会 水戸支部	茨 城 県
	一般社団法人 茨城県建設業協会 土浦支部	茨 城 県
	一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部	茨 城 県
	一般社団法人 茨城県建設業協会 境支部	茨 城 県
	一般社団法人 群馬県建設業協会 太田支部	群 馬 県
	一般社団法人 群馬県建設業協会 桐生支部	群 馬 県
	一般社団法人 群馬県建設業協会 館林支部	群 馬 県
	一般社団法人 群馬県建設業協会 前橋支部	群 馬 県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 大里支部	埼 玉 県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 川越支部	埼 玉 県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 北埼玉支部	埼 玉 県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 飯能支部	埼 玉 県
	一般社団法人 岡山県建設業協会及び 関係する8岡山県建設業協会	岡 山 県
	高鍋地区建設業協会	宮 崎 県
	日向地区建設業協会	宮 崎 県
防災支援活動	一般社団法人 群馬県建設業協会	群 馬 県
	一般社団法人 甲府地区建設業協会	山 梨 県
	一般社団法人 市川建設業協会	山 梨 県
	一般社団法人 奈良県建設業協会	奈 良 県
環境美化・保全活動	一般社団法人 岩手県建設業協会 一関支部	岩 手 県
	宮城県建設業協会仙南支部	宮 城 県
	宮城県建設業青年会	宮 城 県
	富山県建設業協会 砺波支部 青年部会	富 山 県
	一般社団法人 建設業協会佐賀	佐 賀 県

○社会貢献・SDGs功労者表彰受賞者 一会員企業（規程第4条関係）一

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧支援活動	株式会社 小森組	和歌山県
地域活性化への取組	丸彦渡辺建設 株式会社	北 海 道
	渡富建設 株式会社	福 島 県
	株式会社 小原組	静 岡 県
環境美化・保全活動	岩田地崎建設 株式会社	北 海 道
	不二工営 株式会社	北 海 道
	宮城建設 株式会社	岩 手 県
	伸和興業 株式会社	宮 城 県

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
環境美化・保全活動	株式会社 春日部組	宮 城 県
	佐藤工業 株式会社	福 島 県
	藤田建設工業 株式会社	福 島 県
	石川建設工業 株式会社	福 島 県
	田畑建設 株式会社	群 馬 組
	株式会社 小島組	神奈川県
	株式会社 小宮山土木	長 野 県
	株式会社 小松組	静 岡 県
	株式会社 牧田組	富 山 県
	安達建設 株式会社	富 山 県
	池田建設工業 株式会社	石 川 県
	株式会社 常盤建設	鹿児島県
社会福祉活動	寺嶋建設工業 株式会社	宮 城 県
	株式会社 ミヤマサ建設	富 山 県
SDGsへの取組	株式会社 橋本店	宮 城 県
	株式会社 加藤建設	愛 知 県

○広報功労者表彰受賞者 一協会・支部等（規程第3条関係）一

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
建設業ふれあい活動	青森県建設業協会 青年部会 東青支部	青 森 県
	一般社団法人 福井県建設業協会 建設青年委員会	福 井 県
	有田建設業協会 和歌山有田建有会	和歌山県
SNS、映像、メディアによる広報活動	一般社団法人 栃木県建設業協会	栃 木 県
	一般社団法人 高知県建設業協会	高 知 県

○広報功労者表彰受賞者 一会員企業（規程第4条関係）一

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
建設業ふれあい活動	永野川改良復旧工事等安全協議会	栃 木 県
	有限会社 竜王興産	滋 賀 県
	株式会社 秋山組	兵 庫 県
SNS、映像、メディアによる広報活動	株式会社 砂子組	北 海 道
	蜂谷工業 株式会社	岡 山 県

(4) 本事例集について

本事例集は、令和5年度の中央行事において受賞された各事例を、事例発表を行った5事例のほか、顕彰された活動内容別に整理して取りまとめ、紹介するものです。

地域建設業界が社会的責任（CSR）やSDGsの達成に向け取り組んでいる姿や、災害発生時に日夜奮励している姿を通じて、本事例集が建設業の真摯な社会貢献・SDGs活動の一端をご理解いただくことに資すれば幸いです。

2. 代表的な活動事例

2-1 代表的な活動の事例 ―社会貢献活動推進月間中央行事における発表事例―

各都道府県建設業協会や支部、会員企業は、災害発生時の応急復旧活動をはじめ、地域活性化の取組や、河川・道路の清掃活動等様々な社会貢献活動に取り組んでいます。それぞれの取組がSDGsの課題解決に沿った取組でもあります。

ここでは令和5年度に社会貢献活動中央行事で顕彰した事例のうち、代表的な事例として発表いただいた、5つの活動事例を紹介します。

番号	県名	協会・企業名	活動内容
1	茨城県	一般社団法人茨城県建設業協会	地域の守り手としての防疫活動「鳥インフルエンザ及び豚熱への対応」
2	宮城県	株式会社橋本店	橋本店のSDGs～桜の植樹から緊急資材配備まで～
3	福井県	一般社団法人福井県建設業協会建設青年委員会	三方よしの「はたらくくるまジュラシックパーク」
4	高知県	一般社団法人高知県建設業協会	テレビ番組「建設人（つくりびと）」の制作について
5	北海道	株式会社砂子組	SNSを中心としたSUNAGO流デザイン戦略～建設業界のイメージアップに向けて～

災害復旧・防疫活動

発表事例

1

茨城県

地域の守り手としての防疫活動「鳥インフルエンザ及び豚熱への対応」

（一般社団法人 茨城県建設業協会）

はじめに

(1) 茨城県の畜産

茨城県は、北海道、鹿児島県に次ぐ全国3位の農業産出額を誇る屈指の農業県です。令和3年の農業産出額は約4,263億円で、前年に比べ約154億円減少したものの、全国順位は前年と同じ第3位となっております。首都圏に隣接していることから「首都圏の台所」と呼ばれております。

畜産は、その農業産出額の約3割を占めており、鶏卵の産出額は全国1位、豚は全国6位であり、鳥インフルエンザや豚熱の防疫は本県農業にとって大きな行政課題であります。

(2) 防疫措置の経緯

平成17年に県内40の農場において、はじめて鳥インフルエンザが発生し約568万羽の殺処分が行われました。この活動は約10か月という長きにわたり、当建設業協会もこの防疫に携わってきました。

その後、平成27年に県との間で「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」を締結いたしました。この協定により、牛の病気である口蹄疫や、豚コレラ、鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が発生した際、迅速かつ的確に対応するための連携体制ができあがりました。

協定締結後は、しばらく発生はなかったのですが、令和3年2月に、城里町で鳥インフルエンザが発生するとともに、同年12月には、豚熱が発生した他県の農場の豚が茨城県に来ていたということで再度、殺処分、埋却処分等に従事することになりました。

発生時の対応スキーム

右図が、鳥インフルエンザや豚熱の発生時の対応フローです。

農場から県に発生疑いの通報が入り、検査結果が陽性の場合、即座に県から建設業協会に連絡が来ることになっておりますが、県獣医師の検診の段階で陽性の疑いが強い場合には、検査結果がでる前に、情報が提供される手はずになっております。

情報を受けて、当協会から各支部に防疫作業への動員を要請します。併せて県からも発生農場が所在する支部に対して動員要請をしてもらいます。

その後、県の防疫方針が決まりましたら、具体的作業内容を確認するとともに、集合時間や作業開始時間などの詳細なスケジュールを共有し、早ければ翌日から防疫作業が開始されます。

鳥インフルエンザ・豚熱発生時の対応フロー

農場から県へ鳥インフルエンザ・豚熱の発生疑いの通報

→検査結果 陽性

* 県の獣医師による検診状況で疑いが強い場合は、検査結果前連絡

県から県建設業協会に第1報

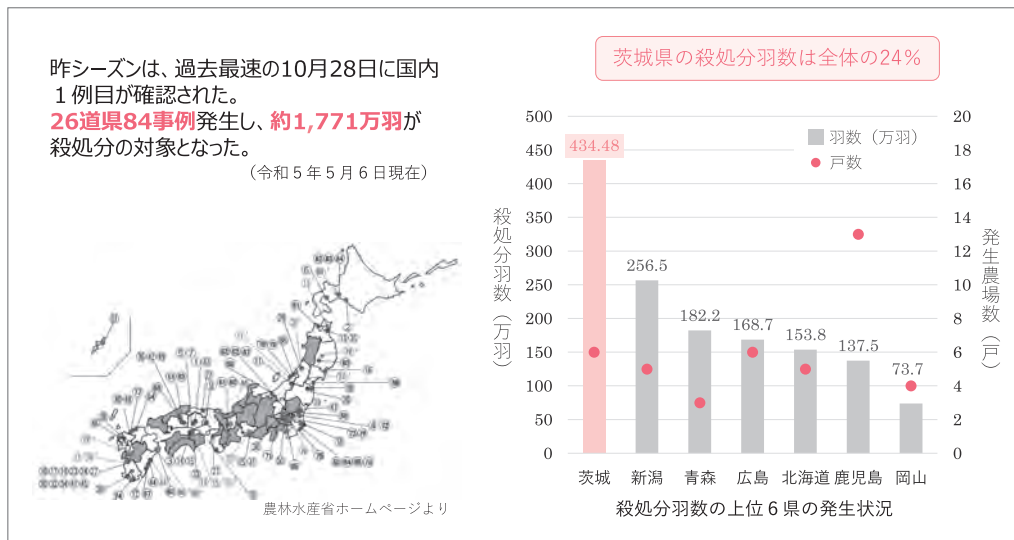
（農場所在地及び農場規模の情報提供と、防疫作業への協力依頼）

⇒県協会から各支部へ情報提供と防疫作業への動員要請

⇒県から農場所在の協会支部へ埋却対応等の要請

県の防疫措置方針決定後、県と作業工程とスケジュールを共有
（集合場所、殺処分開始時間、埋却のための打合せ時間等）

防疫作業開始



2022-2023シーズンの高病原性鳥インフルエンザ発生状況

2022-2023シーズンの活動

(1) 発生状況

令和4年度は全国で鳥インフルエンザが多発いたしました。
通常冬場に発生が多いのですが、10月からの発生と、かなり早い時期からの発生となりました。全国26の道県で発生し、約1,771万羽、卵を産む鶏の約1割が殺処分となりました。
本県では、その約4分の1、約430万羽が殺処分されました。
最近、スーパー等で「物価の優等生」と言われていた「卵のお値段」が高くなっておりませんが、これも鳥インフルエンザの影響のひとつと思われます。
県内の発生状況ですが、昨シーズンは11月のかすみがうら市での発生をかわきりに、6つの農場で発生がありました。

特に100万羽規模の大規模農場での発生があいつぎ、防疫作業には自治体職員や農業関係団体、そして自衛隊など約3万2千人が従事しました。県建設業協会も、この防疫作業、具体的には殺処分とその後の埋却処分などに延べ2,137人を動員し、第一線で活動したところです。

次に豚熱です。

令和4年4月に石岡市にて初めて発生し、その後2事例あり、6,899頭を殺処分いたしました。

いずれも、協会各支部が、殺処分や埋却処分などの防疫作業に協力したところです。豚熱に対しては、建設業協会から延べ107名を動員いたしました。

豚は鶏と違って大型で重量があるため、殺処分をするまでの追い込みと殺処分した後の搬出、移動が大変でした。

(2) 各支部の対応

防疫活動には、協会各支部が総力を挙げて、24時間3交代制で活動しましたが、特に発生があった農場が所在する4支部の活動が顕著であったことから、全国建設業協会の社会貢献表彰を受賞いたしました。

水戸支部

水戸支部では、令和4年度は豚熱1事例、鳥インフルエンザが2事例発生し、防疫作業員に携わりました。

まず、4月15日に豚熱が発生し、2,988頭の豚の殺処分と埋却処分を5日間かけて行いました。

茨城県における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

区分	1例目	2例目	3例目	4例目	5例目	6例目
発生日	R4.11.4	R4.12.22	R5.1.9	R5.2.2	R5.2.3	R5.2.10
市町村	かすみがうら市	笠間市	城里町	かすみがうら市	八千代町	坂東市
種類	採卵鶏	採卵鶏	採卵鶏	ほろほろ鳥外	採卵鶏	採卵鶏
殺処分完了 (殺処分羽数)	R4.11.13 (約102万羽)	R4.12.23 (約10万羽)	R5.1.15 (約92万羽)	R5.2.2 (約7万羽)	R5.2.9 (約110万羽)	R5.2.15 (約115万羽)
防疫措置完了	R4.11.22	R4.12.25	R5.1.17	R5.2.5	R5.2.24	R5.2.24
動員人数	10,460人	1,290人	6,950人	300人	7,270人	5,590人
うち協会動員	(1,051人)	(56人)	(389人)	(11人)	(361人)	(269人)

動員人数：建設業協会の他、県職員、市町村、農林団体等（大規模農場は自衛隊派遣含む）

昨シーズンは、茨城県で6事例発生 約430万羽を殺処分
茨城県建設業協会から延べ2,137人を動員

茨城県における豚熱の発生状況

区分	1例目	2例目	3例目
発生日	R4.4.13	R4.4.15	R5.3.1
市町村	石岡市	城里町	かすみがうら市
殺処分完了 (殺処分頭数)	R4.4.14 (951頭)	R4.4.17 (2,988頭)	R5.3.3 (2,960頭)
防疫措置完了	R4.4.14	R4.4.19	R5.3.6
動員人数 (全体)	319人	1,189人	848人
うち協会動員	(15人)	(52人)	(40人)

昨シーズンは、茨城県で3事例発生 6,899頭を殺処分
茨城県建設業協会から延べ107人を動員



鳥インフル防疫作業の様子



殺処分した豚の埋却作業



処分鶏の埋却作業



エサや卵の埋却作業



処分鶏の埋却作業

鳥インフルエンザについては、12月22日に笠間市で約10万羽規模、1月9日に城里町で約92万羽の大規模農場で発生がありました。年末年始の極寒の時期、各支部からの応援をいただき迅速な防疫措置に貢献いたしました。

土浦支部

土浦支部は、豚熱2事例、鳥インフルエンザ2事例と最も対応した支部です。まず4月13日に石岡市の養豚場で県内初となる豚熱が発生、951頭を殺処分し、翌年の3月1日にはかすみがうら市の養豚場で2,960頭を殺処分しました。

鳥インフルエンザは、かすみがうら市で11月4日と2月2日に2事例発生があり、特に11月は100万羽を超える大規模農場での殺処分となりました。

当初焼却処分を進めていましたが、途中から農場内に埋めることになり、土浦支部が重機と人手の確保を迅速に行ったことで円滑な防疫作業を行うことができました。

常総支部

2月3日に八千代町の約110万羽の大規模養鶏場で鳥インフルエンザが発生しました。

この養鶏場は、近くに食品加工工場があるため、処分した鶏の埋却ができないということで焼却処分となったのですが、残されたエサや卵を埋却処分しました。卵は液状であるため作業が困難でしたが迅速に対応することができました。

境支部

2月10日に坂東市で約115万羽の大規模養鶏場で鳥インフルエンザが発生しました。

上記八千代町での殺処分が終わった翌日の発生で連続の対応となりました。従事した会員のみなさんは体力的にも精神的にも大変きつい状況でしたが、全支部からの応援を得て防疫作業を行うことができました。

今後に向けて

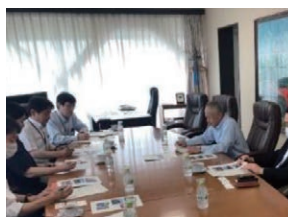
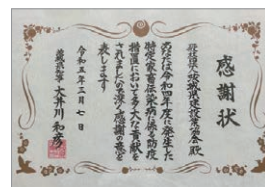
茨城県内で、鳥インフルエンザが6事例、豚熱が3事例という異常な事態に対して、当協会が多大な貢献をしたとして、令和5年3月に茨城県知事から感謝状が贈呈されました。

来シーズンに向けた準備です。

県庁職員の定期人事異動などに伴う年度初めの顔合わせからはじまり、定期的に打合せ会議を開催し、発生時に円滑な対応ができるように常日頃から県との連携を密にし体制を整えております。

また、現在、県が大規模農場の埋却地等の再点検を実施しておりますが、場所によっては、重機や作業車の動線確保が困難なところや樹木の伐採等が必要など見受けられることから、各支部で県の担当者同行するなど現地確認に協力をしているところです。

結びになりますが、茨城県建設業協会は、これからも災害復旧のみならず家畜伝染病の防疫措置などについても「地域の守り手」という社会的使命をしっかりと果たし、郷土の発展に貢献してまいります。



県担当課との打合せ



樹木伐採が必要な埋却予定地

SDGs への取組

発表事例

2

宮城県

橋本店の SDGs～桜の植樹から緊急資材配備まで～（株式会社 橋本店）

はじめに

SDGsの取り組みの全体像

SDGs実現に向けた社会的な気運の高まりを受け、当社が本格的にSDGsの取り組みをスタートさせたのは、2020年の春です。このとき、重点課題・取組み方針を示したSDGs宣言を発表しました。ただし、ゼロから始めたというよりは、従来取り組んでいた社会貢献活動をSDGsに当てはめて捉えなおしたのも多々あります。同時に、各部門から若手社員を集め新たな活動案を提案してもらうなどして、これまでに様々な取組みを行ってまいりました。

そして次頁が、これまでの取り組みをポスターにまとめたものです。

多方面にわたって活動しているのが、当社のSDGsの取り組みの特徴かと思います。今回はその中から、会社全体の取り組みと現場の個別事例に分け、いくつかご紹介したいと思います。

会社全体の取組み

桜の植樹

私たちは宮城県の建設会社ということで、東日本大震災発災時には約260件の出動要請を受け、その後も沿岸部を中心に約100件の復旧・復興工事に携わってきました。そういった施設の周辺を中心に、協力業者会である「橋本同心会」と協力しながら、桜の植樹活動を行っています。これは各地の発展の一助、地域の皆様の癒しになることと同時に、CO₂吸収による地球温暖化対策も目指した取り組みです。

2016年にこの活動をスタートさせ、現在までに約1,000本の植樹を完了しました。これまでに植樹をした場所を挙げさせていただきますと、震災の被災地域では、NHK連続ドラマ小説の舞台にもなりました気仙沼大島や、震災遺構・防災対策庁舎のある南三陸町震災復興記念公園などがあります。そのほか、令和元年の台風19号で被害を受けた丸森町など、植樹場所はこれまでに33箇所にとどまります。今後も2,000本を目標に、活動を続けてまいります。

なお、これまでの植樹によるCO₂削減量は、樹齢10年として年間約23,000kgと推計されます。地球規模で考えると微々たる効果かもしれませんが、植樹を続けることで少しでも地球温暖化対策に貢献できればと考えています。



地元住民の方との植樹会(気仙沼大島)

神社仏閣の支援

続いて、神社仏閣の改修・支援についてです。建設会社の技術を活かして、地元の歴史ある神社仏閣を守り、次世代につないでいくことも、一つの社会貢献であると考え積極的に取り組んでいます。

具体的には、東日本大震災で被害を受けた神社に復興を祈念して鳥居を奉納したり、地元町内会からの要望を受けて地域の神様の社殿を新築・寄進したり、といった活動をしています。直近では、写真の

株式会社橋本店 SDGsの取り組み

地球環境の保全

- 桜プロジェクト**(宮城県内への桜の植樹) 累計**1,057本** / 目標 **2,000本**
- 規制緑化率+1%の提案** 2022年中間実績 採用率**93%** / 目標 **100%**
- グリーン購入率** 2022年中間実績 **90.0%** / 目標 **100%**
- リサイクル製品の採用** 2022年中間実績 採用率**20%** / 目標 **80%**

こんな取り組みも…みずむすび事業への出資(宮城県上地下水一体官民連携運営事業) / 宮城県各所での清掃活動

サステナブルなまちづくりへ

- PFI/PPPコンセッション事業**
美里町新中学校整備等事業ほか4件
- 地域まちづくりへの参画**
定禅寺通まちづくり協議会への参画
- 再開発事業への参画**
大崎市古川七日町西地区再開発ほか
- 神社仏閣の再建支援**
孝勝寺釈迦堂復原工事ほか

気候変動・脱炭素化対策

- 自社メガソーラー発電所の運用** CO2排出量年間約**750t**削減
- ZEB Ready(BEI 0.5以下)の提案採用率** 2021年 採用率**100%** / 目標 **50%**
- BEI値0.5以下の自社設計施工物件受注** 2021年 受注高**12.1億円** / 2030年 目標 **30%**
- オフィスの電気使用量削減** 2022年中間実績 2020年度比**-6.6%**減 / 目標 **-11.8%**
- 環境にやさしい車(HV)の採用** 2022年中間実績 採用率**80%** / 目標 **100%**
- OA紙使用量削減(ペーパーレス化)** 2020年度比**-76.6%**減 / 目標 **-50%**
- 社員のeco検定®取得推進** 2022年中間実績 社員合格率**90.13%** / 目標 **100%**
- ISO14001認証** 認証継続**21年**



→電動式バックホウを使用した
小型土のう製作訓練



こんな取り組みも…回収ペットボトルを使用したエコバッグ製作、電動式重機の試行運用

※eco検定®は、東京商工会議所の登録商標です。

働き方改革

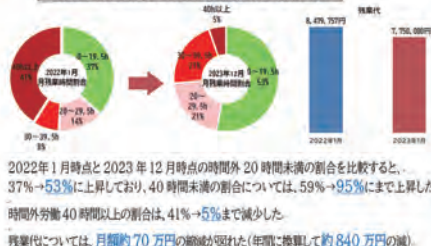
建設キャリアアップシステムの推進

協力業者登録状況 事業者**93%**、技能者**81%**

ワークライフバランスへの取り組み

勤怠管理システム、PCシャットダウンシステムを導入し、適正な労働時間管理を実現

2022年1月と2023年1月の比較(時間外労働時間・残業代)



ダイバーシティ推進

女性のチカラを活かす企業認定(宮城県)取得

健康経営の取り組み

健康経営優良法人2023認定取得(7年連続)

現場での取り組み実例 ～宮城県発注吉田川河川改修工事(その4)～

災害時緊急復旧

緊急資材の配備



CO2排出削減

ソーラー式信号機の活用



環境汚染の防止

カキ殻による水質汚濁防止



I-Construction

ICTバックホウの法面掘削



工事看板にてSDGsのPRを行っています!





光明山孝勝寺 釈迦堂(仙台市宮城野区)

孝勝寺・釈迦堂の復原工事の施工を担当しました。釈迦堂は伊達藩ゆかりの建造物で、仙台市の登録有形文化財にも登録されています。仙台駅東口から徒歩10分のところにありますので、仙台にお立ち寄りの際は是非覗いてみてください。

働き方改革

「地域への社会貢献」とは少し外れてしまうかもしれませんが、地元建設業のリーダー企業として働き方改革にも積極的に取り組み、内容を発信しています。

当社の取り組みは大きく2つ、「労務管理の工夫」と「業務効率化の推進」に分けられます。「労務管理の工夫」としては、PCシャットダウンシステムの導入や、内勤者へのフレックスタイム制の導入、現場での終業を知らせるチャイムの放送などがあります。このほか、社員・協力会社には研修の場などで睡眠の重要性を伝え、8時間睡眠を推奨しています。「業務効率化の推進」としては、事務作業においてはRPA活用や経理処理の電子化、現場作業においてはウェアラブルカメラ導入やICT施工などを進めています。地元建設業ながら、最新技術にキャッチアップしながら取り組むことが重要だと考えています。

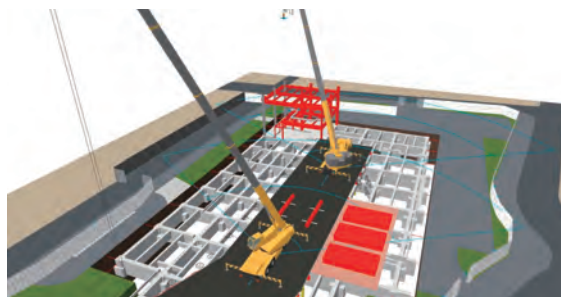
これらの中でも特に効果が大いと感じているのが、BIM/CIMの活用です。例えば大崎市役所建築工事では、鉄骨と設備配管の干渉検討にBIMを利用したり、BIMのシミュレーションを元に鉄骨建て方手順とクレーンの配置計画を見直したりしたことで、工期を1ヶ月短縮することができました。

これらの取り組みの結果、社員の時間外労働は令和4年6月から令和5年の6月にかけて、大幅に減少しました。社員の88%が月の時間外労働が20時間以内となり、業界紙の紙面でもこれらの取り組みをご紹介いただきました。

今後は建設業界ではなかなかハードルが高い、厚労省の各種認定制度の取得を目指しています。直近ではこの7月にえるぼしの申請を行い、さらにくるみん取得に向け男性の育休取得支援制度を制定、将来的にユースエールにも挑戦する予定です。社員や現場作業員の働きやすさを実現し、それを積極的に発信していくことが、担い手確保、ひいては持続的なまちづくりにつながると考え、今後も取り組んでまいります。



鉄骨と設備配管の干渉検討



鉄骨建て方手順の検討

現場での取組み

現場での事例として、宮城県発注吉田川河川改修工事（その4）で実際に行った取組みを中心にご紹介します。

カーボンニュートラル・環境汚染防止対策

CO₂削減や環境汚染防止の取組みをいくつか挙げてまいります。

まず、電動式バックホウの配備です。電気自動車同様、建設現場の重機についても電動化が進みつつあり、当社では令和3年度に東北で初めて導入しました。災害時に燃料への引火で二次災害が防止されることから、災害時には特に有効であることを確認しました。続いて、廃油100%（B100）燃料の発電機使用です。常時稼働発電機の使用燃料を、軽油+5%程度の廃油であるB5燃料からB100燃料に転換しました。これにより、長時間稼働と燃料の消費抑制の両立を実現できました。その他、ソーラー式信号機や、遠隔臨場の活用による移動用燃料の削減など、様々な場面でカーボンニュートラルに取り組んでいます。

環境汚染防止としては、カキ殻による水質汚濁防止対策を行っています。こちらは、河川や海岸付近の現場で標準で実施しています。現場から発生しやすい土砂の汚濁水を、カキ殻を特殊加工した水質浄化材を通して排水することで、河川環境への影響を小さくしています。カキ殻という本来処分するしかなかったものを再利用するという点で、循環型社会にも寄与しています。



カキ殻を利用した水質浄化

ICT施工

こちらの現場では、ICTバックホウの法面掘削を行いました。近年広がりつつあるICT建機は、施工精度の向上、手元人員の削減、丁張人員の削減など、導入効果が大きいと当社でも捉えています。建設業の生産性向上、ひいては若い担い手確保にもつながると考え、積極導入しています。

災害への備え

この現場に限らず、当社では東日本大震災や台風被害の経験を踏まえ施工現場で緊急資材の配備を行い、災害発生時に迅速に対応できるようにしています。また、施工現場以外でも付近の地元住民が困っているときは土のうを提供するなど、地域と一体となって災害に備えています。なお、会社全体でも事業継続に関する「レジリエンス認証制度」を取得し、地元自治体等と災害協定を結ぶなど、自然災害への備えを進めております。



緊急資材の配備状況

まとめ

当社のシンボルマークである「空を飛ぶクジラ」のように、時代に合わせ進化し続ける会社であるため、今後も様々な取組みを行っていききたいと思います。



はじめに

「はたらくくるまジュラシックパーク」は、自家用車に乗ったまま、重機の見学を楽しめるドライブスルー型のイベントです。サファリパークの動物の代わりに50台以上の重機が並んでいるのをイメージいただくとわかりやすいかもしれません。

イベントを始めた2020年は新型コロナウイルスの影響で、子供向けのイベントは軒並み中止となっていました。また、福井県内の飲食店やホテルを営んでいる地元の仲間は厳しい状況に追い込まれていました。福井の建設業界も少なからずダメージはありましたが、飲食業や観光業に比べると軽微なものだったように思います。その状況下、我々建設業にできることはないか考え、始めたのがこのイベントです。2020年から県内各地で毎年開催し、2023年で4回目となりました。



イベント概要

重機：54台 来場者：5,740人

目的

イベント開催の目的は、以下の3点です。

- ①コロナ禍でも安心してお子様連れのご家族に楽しんでもらう。
- ②子供たちに建設業を身近な存在であると感じてもらう。
- ③保護者のみなさんの建設業に対するイメージアップを図る。

このイベントに参加してくれた子供が、建設業を志してくれたら、我々青年委員にとっては望外の喜びです。



若手社員もコスプレをしてお客様をお出迎えします。



重機をペイントし、オペレーターも乗車。お客様の車が来ると「ガオー」と近づきます。

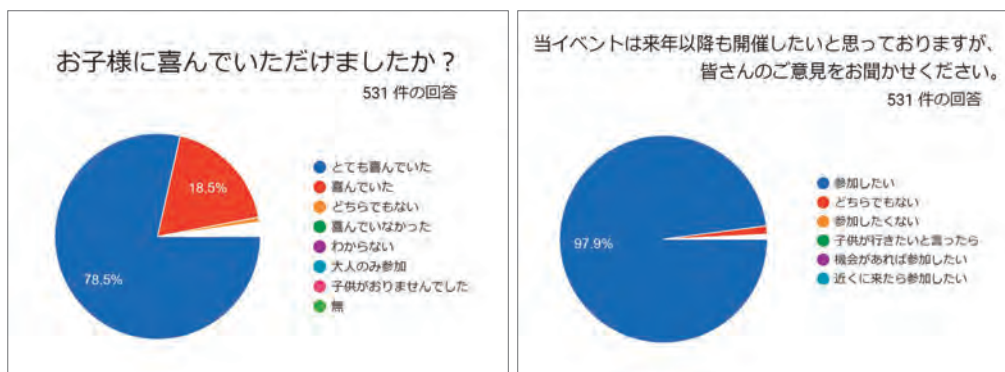


イベントの効果

イベント開催の効果は、以下の3点です。

①来場者に楽しんでもらえる。

このイベントの一番の目的です。ご来場者の皆様にアンケートを実施しました。ほぼ100%の方からイベントを楽しめた、来年も参加したいという回答をいただきました。また、自由記述でもうれしいコメントを多数いただきました。印象的だったものを3つご紹介します。



ご来場者のコメント①

重機をこちらに向けて動かしてくださったり、みなさん笑顔でお出迎えしてくださったり、大人も楽しめるイベントでした！子供を持つ身としてはドライブスルー方式は気楽に行けるのでとてもいい方法だと思います！

ご来場者のコメント②

初回開催から参加していますが、子供も大人も楽しめるとても素晴らしいイベントで、毎年楽しみにしています。特に今回は休館中の恐竜博物館の敷地を使用し雰囲気も相まって過去一番に良かったです。土日にも関わらず運営された皆さんありがとうございました。

ご来場者のコメント③

今までの福井のイベントの中で最高級に楽しめたイベントでした。建設業はどうしても良いイメージが少ないですが、今日対応していただいた方々は本当に素晴らしかったです。引き続き建設業への理解を深めていきたいと思います。本当にありがとうございました。

②主催している我々も楽しめる。

もちろん準備には苦労もありますが、我々も楽しみながらイベントを実施しています。例えば、重機のペイントに意匠を凝らしたり、若手はコスプレをして現場を盛り上げたりしています。また、各重機にはオペレーターが乗車し、ご来場者の車に向けて重機を動かしていますが、日ごろ一般の方から注目を浴びる機会のないオペレーターは特にうれしいようです。

③社会貢献につながる。

入場無料のイベントではありますが、出口で募金活動を行っています。福井県が行っているコロナやウクライナ避難民向けの募金、直近ではお隣の令和5年奥能登地震被災者向けの募金を行いました。

まとめ

来場された方も楽しめる、主催者側も楽しめる、そして社会にも還元できる本イベントは、まさに三方よしといえるのではないのでしょうか。福井から波及し、石川県や富山県では同様のイベントを開催してくださった事例がありますが、これが全国に広がり、少しでも建設業への理解につながればと思っています。もし当寄稿を御覧になられ、開催してみたいという方がいらっしゃれば、最大限サポートしますので、お気軽に福井県建設業協会までご連絡ください。

我々は、今後もバージョンアップしながら、福井県内各地で毎年開催していきます。



当日のイベントの様子はこちらからご覧いただけます。
(YouTube)

はじめに

当協会では、令和3・4年度に、国土強靱化事業と、その施工に携わる建設業の人たちにスポットを当て、県民の皆様へ地域建設業の姿、役割を知って頂くための特別テレビ番組「建設人（つくりびと）」を制作、放映しました。

第1弾は令和3年11月21日、サブタイトルを「津波から高知の人命と財産を守る」として、日曜夕方5時から30分番組、高知放送（日本テレビ系列）で放送しました。来たる南海トラフ地震対策として高知県内で行われている津波対策工事や、その現場で働く従事者へのインタビューを中心とした内容としました。

そして、第2弾は令和4年10月16日、第1弾と同じく日曜夕方5時から30分、サブタイトルを「土佐の国づくりの歴史をつなぐ」として、同じ高知放送で放送しました。

テレビ番組第2弾

「建設人（つくりびと）－土佐の国づくりの歴史をつなぐ－」について

テーマの検討

高知県土木の歴史は、自然との共生、闘いの歴史と同義であることは論を俟ちません。南を太平洋、北を険しい四国山地に囲まれた本県は古来幾度も猛烈な台風や地震津波の襲来を受け、その都度先人達は、県土復旧と防災事業に知恵を絞り工夫を凝らしてまいりました。

高知県土木の歴史をたどり、今日まで人々の生命財産を守り安全安心な暮らしを実現してきたのは建設業であることの史実を伝えたい。そしてその歴史を受け継ぎ、新たなインフラ整備によってより豊かな未来を築き上げていく、その使命感を伝えたい。番組作りにその思いを込めました。

次に、番組の内容の一部をご紹介します。



番組オープニング画像

番組紹介① 高知県の道路

江戸時代の参勤交代で街道の整備が行われた際、当初は県東部から徳島県を抜け、海路を使って本州に渡っていましたが、6代藩主（山内豊隆）の時に四国山地越えの道を整備して、瀬戸内海へ出るルートを使うようになりました。その道は現在的高速道路のルートとほとんど変わっていないのです。道は集落と集落を結び、そこに暮らす人やものが移動するために造られ、集落の位置が大きく変わらない限り、集落間をなるべく最短で結びたいという思いは昔から変わらずあるものです。険しい四国山地を縫うように安全に抜けていくために造られた道は、理にかなったものであり、先人たちの偉大な知恵でした。

現在では、四国内で「四国8の字ネットワーク」という道路の建設が進んでいます。この事業は、四国各県の中心都市を高速道路で効率的に連結し、地域交流や連携を生み出し、災害発生時の緊急輸送道路の確保や寸断されることの無い安心・安全な道路ネットワークの確立などを目的としています。

高知県内でも高速道路の延伸化が進んでいますが、県東部で進む延伸化工事の現場では、公共事業としては日本初となる3Dプリンタを活用した集水桝が活用されています。この最新技術を活用した施工によって、工期や人員を半分以上にすることができました。



参勤交代の際に使用されたルートと現在的高速道路のルート



3D プリンタを活用した集水桝の製作の様子

番組紹介② 河川の整備（日下川新規放水路）

道路の発展と共に私達に欠かせないのが、川の利水や治水の発展です。昔から先人たちは河川堤防の整備に尽力してきましたが、当時の技術では対策に限界があり、度重なる水害に悩まされてきました。

高知県中部を流れる一級河川仁淀川の支流、日下川が流れる地域では、普段はおとなしい川でもひとたび大雨が降ると川が氾濫し、周辺が浸水してしまう被害が多く発生していました。というのも、通常河川は、上流から下流に水が流れていきますが、この地域の特徴として、実は上流の地盤が低く、下流の地盤のほうが高かったため、水が本川に流れていきにくくなっていたのです。そのため、大雨の際本川である仁淀川の水位が上がると、支流の日下川の流れが悪くなるとともに、本川の水が逆に支流に向かい大規模な氾濫が発生していました。こういった悩みをふまえ、この地域では“国や県を中心に、地下にトンネルを掘り、洪水の時にトンネルに川の水を通して仁淀川に排水する”といった放水路事業を進めています。



日下川浸水被害の様子



日下川放水路事業現場

番組紹介③ 津波対策事業「三重防護」

さらに、「国土強靱化」対策の事例の一つ、三重防護と呼ばれる津波対策も進んでいます。

三重防護とは、高知市にある土佐湾の支湾浦戸湾から高知市中心部に津波が浸水するのを、第一ライン、第二ライン、第三ラインの3つのラインによって防ぐもので、発生頻度の高いレベル1津波に対しては浸水を防ぎ、想定される最大クラスのレベル2津波に対しては、浸水時間を遅らせ避難時間を稼ぐ、という役割を持っています。

第一ラインの防波堤では、基礎捨石が流れ出さないように保護する被覆ブロックを作り、防波堤を粘り強くする工事が進んでいます。



浦戸湾で進む三重防護のラインについて



実際に現場で作られている被覆ブロック

番組紹介④ まとめ

土佐の大地が生まれ、人々が暮らしはじめてから長い年月をかけて発展してきた現代。そのかげには、幸せな生活を営むために、そして災害から人命や財産を守るために、努力を重ね経験を伝え続けてきた先人たちの歴史がありました。この安全・安心な土佐の国づくりの歴史は、官と民、そして今を生きる私達も、一緒になって国土強靱化の理念のもと、未来へとつながっていきます。

視聴者の方からいただいたご意見

視聴者の方からは、「県内で暮らす方の安心・安全のために少しでも役に立ちたいとの姿に感銘を受けた」「たくさんの方が昔から建設業に携わってくれたおかげで、今安心して便利に生活できているのだなと思った」「建設業のイメージは、きつい・汚い・危険の3Kだったが、番組を見てイメージが一新され、同時に技術力の進歩に驚いた」等、たくさんのご感想をいただきました。

一部しかご紹介できないのが残念ですが番組紹介は以上です

結びに、余談になりますがNHKで放送していた連続テレビ小説「らんまん」では、主人公“榎野万太郎”の学友として広瀬佑一郎という人物が登場します。この人物、実は牧野富太郎と同郷で同い年、佐川町出身の土木工学者“廣井勇”がモデルとなっています。（補足：廣井勇＝明治土木工学の第一人者で北海道小樽の防波堤工事に携わり、橋梁、築港のほかダムや水力発電、波力発電等幅広い分野で足跡を残すとともに、東京帝大教授として多くの優れた土木工学者を育てました。）

* * *

高知県にお立ち寄りの際は、坂本龍馬、中岡慎太郎だけでなく、牧野富太郎や廣井勇等々、様々な歴史・偉人に触れていただけると幸いです。

1. はじめに | 取り組みの背景

砂子組の行うSNSを中心とした企業ブランディング活動は、2017年に行われたWebサイトリニューアルをきっかけとして開始しました。

2016年、弊社でi-Construction対応型第1号現場を施工し、社内全体で砂子組の特色である「ICT」「技術力」を強くアピールしていく必要を感じたことが、時代を中心となっているWeb上での企業アピールを改めて見直す機会になったと感じています。

Webサイトをリニューアルしたことにより「まず、やってみる」という砂子組の社風や、技術面を中心として新しいことを絶えず続けていく弊社の挑戦を広く知ってもらいたいという思いが生まれたことが大きな転機となりました。

そういった考えのもと、これまで以上に幅広く砂子組という企業、建設業の魅力を見てもらい入り口として選んだのがSNS開設です。

当時入社3年目であった内勤の女性社員3名が中心となり、2019年9月に砂子組公式Instagramを開設しました。これまでになかった視点で様々な取り組みを続け、現在では砂子組の広報活動の一つの柱となりました。

2. SNSを中心としたイメージアップ活動

砂子組公式Instagram

砂子組公式Instagramのアカウントは2019年9月に開設し、2024年1月時点で1,380名の皆様に見えていただけるようになりました。SNS運用担当者は、開設当時入社3年目の女性内勤社員のみでしたが、若手の意見を取り入れ、より活発な更新を行うことを目的としてメンバーを増員し、現在は20代の若手内勤社員8名で更新や写真撮影を行っています。

Instagramの開設に至ったのは、時代の変化に伴った採用活動状況の動きから、興味を持った方に情報を見に来ていただくのみではなく、こちらから次々に発信する新たな情報媒体を活用する必要があると感じたことにあります。若年層へ向けた人材確保のための認知度向上の手段として、建設現場で働く社員の姿、雰囲気を感じ取ってもらうため「現場で働く人」にフォーカスした投稿を意識しています。またInstagramの主な利用者層である10～20代へのアピールとして更新担当者の姿も定期的に投稿することで「顔の見える広報」を目指しています。

SUNAGO流デザイン戦略

砂子組で行っている情報発信は、Webサイト・Instagram・採用特設サイト・写真紹介を主にしたPORTFOLIOページを中心としています。ターゲットの異なる各媒体から「人、会社、業界」の魅力をアピールするとともに、各媒体間をリンクで繋げて双方向に行き来できる媒体間連携を構築することに重きを置いており、Webサイトの訪問者のみに届く受け身の情報発信に限定することなく様々な面からのアプローチを試みています。

今後も媒体間のみならず、積み重ねてきた取り組みすべてがそれぞれにつながりを持ち、また新たに展開していくという体制を推進していく所存です。

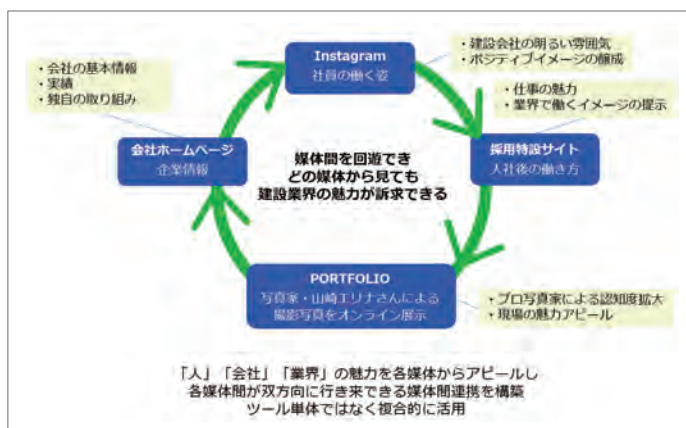
また、弊社のデザイン戦略のひとつとして、2020年に企業認知度の向上・理解度を深めるためコーポレートアイデンティティ（CI）を見直し会社ロゴマークのリブランディングを行いました。創立60周年を目前としたタイミングで、それまで長きにわたり使用してきた砂子組ロゴマークに込められた想い、親しみあるアイコン自体はそのままに、より洗練された形でシンボルを一新しています。

規格を統一したロゴマークはWebサイトやInstagramはもちろん、現場で使用する安全用品や着用物、ポスターへの掲示など各所で幅広く活用することで視覚の統一を図り、各ツールに一貫性を持たせることで企業の特性、独自性を強調し浸透させていくCI戦略を進めています。

統一的なイメージの定着に向けて



SUNAGO 流イメージ戦略概念図



Web媒体を利用した取り組みと創意工夫

技術力のアピール

砂子組の技術力をより広く知ってもらうためInstagramにて「現場リポート」という企画投稿を不定期に行っています。更新担当者は現在、内勤社員のみで構成されているため、現場社員とは違った視点で業界外の方にもわかりやすく建設業の面白さや魅力を伝えることができるのではないかと考え企画を開始しました。

ICT建機を使用して作成した雪の滑り台や雪上アートの作成過程、ハーフプレキャストの開発実験など普段一般の方の目に触れる機会の少ない部分を写真、漫画形式などを用いて紹介しています。

安全面のアピール

写真撮影を兼ねた現場の品質・安全性向上の取り組みです。写真撮影と共に内勤社員の視点で現場の安全管理に関する項目を作成し、現場の印象や安全性をチェックしています。「インスタパト部」として活動に名前を付け、オリジナル腕章を着用することで撮影に行った際の現場社員の安全面の意識の向上も感じられています。現場業務を行っていない更新担当メンバーにとっても、土木・建築現場の違いや現場で注目すべきポイントを学び知識、安全意識を身に着ける良い機会となっております。

認知度拡大に向けて

国土交通省インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞し、国内外の第一線で活躍している写真家・山崎エリナ氏に砂子組施工現場の撮影協力を依頼しプロ写真家による認知度拡大を目的に現場の魅力を最大限に訴求しました。撮影していただいた写真はInstagramへの投稿に使用するだけでなく、Web上に写真を展示する「PORTFOLIO」ページを作成することで、Webサイトのコンテンツ拡充を図りました。

そのほか、Instagramを更新していく中で生まれた企画として、同じくSNSを用いた活動を行っている他社広報担当者様と「SNS向上委員会」を立ち上げ異業種間での広報課題の共有や情報交換を行い、視野を広げるとともに情報発信力の強化に努める取り組みを行っています。双方のユーザー層へのPRとしてコラボ投稿を行い、互いの企業としての取り組みを見学するなど現在も委員会活動の展開を進めています。

また、2022年度からは地元プロバスケットボールチームとInstagramを活用したタイアップキャンペーンを企画・実施しており、ハッシュタグを利用した情報拡散を試行するなど新たな属性を持つユーザー層へのアプローチにも挑戦を広げています。

仕事内容や技術を
わかりやすく紹介



近隣住民の方々に
近い目線で
パトロールを実施



他社コラボによる
認知度拡大を
目指して



3. 取り組みの効果・反響

これらの取り組みを続けてきた中で感じられる変化や反響も増えていきました。最初にはっきりとSNSによる広報活動の影響が感じられたのは入社希望者からの弊社の志望理由のひとつとしてInstagramについての意見があったことです。

『貴社のInstagramを拝見して、職場の温かな雰囲気を感じ建設業の印象が大きく変わった。このような取り組みをしている企業を今まで見たことがなく、貴社の“まずやってみる”という言葉と社員の笑顔がとても印象的だった』

といった声をいただき、Instagramを始めるきっかけとなった「人材確保のための認知度向上」という目的に手ごたえを感じることが出来ました。また、様々な取り組みを経て社内での広報活動への視線も変化することが感じられています。

SNSの取り組みを始めた頃は社内でSNS活用が浸透していなかったこともあり、現場に写真撮影に行くと言った消極的な態度の社員がいたことや、現場対応で相手にしてもらえないなど導入初期の苦労が多々ありました。

Instagramの取り組みを無理なく自然に、かつ長く継続できるものにしていくためには社員の積極的な関わりが必要不可欠と考えました。

そこで社内に取り組みを浸透させるため、グループウェアの掲示板機能を使い、毎回の投稿通知のほか、撮影現場への訪問報告や取材のお礼、その際撮影した写真を都度添え、こまめな社内周知を今日まで徹底し「取り組みの可視化」に注力してきました。社内周知のほか、Webサイト内でのアピール、投稿内容の工夫を続けていった結果、開設から2年経過したことを機に社内でSNS広報の印象についてアンケートをとったところ以下のような反応をもらうことができました。

- 砂子組の魅力の一つになっている、毎回の投稿が楽しみ
- 現場でもお客様、業者さんなどから見たよという声があって会話の糸口にもなる
- 普段分からない会社内部の表現としてよいイメージアップコンテンツになっている

等々、好意的な反応が大半を締めるようになりました。現在では現場側から取材の声を掛けてもらえるようになったことや、広報に興味を持った若手社員が自ら手を挙げInstagram更新担当者としてメンバー入りするなど、社内への着実な浸透を実感しています。

4. おわりに | 今後の展望

広報においては、外部への発信はもちろんのこと、社内での協力体制の構築や皆で会社を一緒に盛り上げているといった空気感の醸成が非常に重要であると考えています。

この約4年間、Instagram更新担当メンバーを増員しながら取り組みを進める中で見えてきた課題が大きく2つあります。

- ① 奈井江本社、札幌本店のメンバー間の拠点（物理的距離）による意識格差
- ② メンバー以外の社員が本活動へ干渉しにくい状況

本課題の対策として、①については対面でなくともやりとりができるよう社内ネット上でのやり取りの仕方を見直すことでメンバー間の接触回数を増やしています。また、メンバー間での活動のフィードバックの実施を月に一度に定め、Web会議システムなどを活用して、毎月言葉を交わす意見交換の場を設けています。②については、今後定期的に全社アンケートを実施し、所属に関わらず社員それぞれが持っている活動に対する意見や所感を聞きとり、更新体制に反映していく予定です。

課題①・②ともに社員の意見を吸い上げる仕組みと場づくりに努め、社内の誰もが広報に参加し、一緒に会社や建設業界の魅力を発信し、取り組みに自分たちも参画しているという空気感の醸成をさらに進めていきたいと思っています。外部へのアピールはもちろんですが、新たな取り組みを行うには内部で広報面の重要性を共有することも企業の姿勢として必要であると感じています。そのほか、今後の姿勢としては積極的に社外とも取り組みを広げ、自社のみの活動にとどまらず、周囲を巻き込んだ建設業界における広報的な取り組みの活性化を目指します。また、企業ブランディングの展望としては、定期的な情報発信を引き続き継続し、ユーザーへ安定した情報を発信し続けることで信頼の獲得、ひいてはロイヤルカスタマーの獲得にもつなげていきたいと考えています。

これらの目標を実現するために、この先も社風である「まず、やってみる」という意識を掲げ、立ち止まることなく試行錯誤を続けていきます。

最後に、私たちが広報活動を継続しつつ、新たな取り組みへ挑戦を続けることができているのは、発信した情報に興味を持ってご覧くださっている皆様あつてのことです。SNSで発信を続けている中では特に、コメントや「いいね」などの反応をいただけることが活動を続けていく中での励みとなっています。自分たちの伝えたいことだけでなく、ご覧くださっている皆様の知りたいことをリサーチしながら、今後も継続して情報を発信し、楽しんでもらえる広報を続けていきたいと思ひます。



QR より各種コンテンツをぜひご覧ください

2-2 協会・支部・会員企業の活動事例

令和5年度 社会貢献活動中央行事で顕彰した事例のうち、前項で紹介した事例の他、ここでは次の47の社会貢献・SDGs活動事例と6の広報活動事例を紹介します。

社会貢献・SDGs 活動事例

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
1	新潟県	一般社団法人 新潟県建設業協会村上支部	新潟県北部豪雨の災害復旧活動／鳥インフルエンザ防疫活動
2	山梨県	一般社団法人 峡北地区建設業協会	令和4年8月の局地的豪雨における災害復旧活動
3	静岡県	一般社団法人 島田建設業協会	令和4年9月の台風15号における災害復旧活動
4	滋賀県	一般社団法人 滋賀県建設業協会伊香支部	令和4年8月の豪雨における災害復旧活動
5	和歌山県	株式会社 小森組	土砂災害による国道閉鎖時の災害復旧活動
6	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会奥州支部	鳥インフルエンザ防疫活動
7	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会千厩支部	鳥インフルエンザ防疫活動
8	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会太田支部	CSF（豚熱）防疫活動
9	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会桐生支部	CSF（豚熱）防疫活動
10	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会前橋支部	鳥インフルエンザ防疫活動
11	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会館林支部	CSF（豚熱）防疫活動
12	埼玉県	一般社団法人 埼玉県建設業協会大里支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会川越支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会北埼玉支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会飯能支部	鳥インフルエンザ防疫活動
13	岡山県	一般社団法人 岡山県建設業協会及び関係する8岡山県建設業協会	鳥インフルエンザ防疫活動 （及び放送メディアによる広報活動）
14	宮崎県	高鍋地区建設業協会	鳥インフルエンザ防疫活動
15	宮崎県	日向地区建設業協会	鳥インフルエンザ防疫活動
16	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会	KAMIKABEによる防災支援活動
17	山梨県	一般社団法人 甲府地区建設業協会	防災無線機の貸与および被災情報伝達訓練
18	山梨県	一般社団法人 市川建設業協会	テロ未然防止協定に関する活動
19	奈良県	一般社団法人 奈良県建設業協会	防災総合訓練
20	北海道	丸彦渡辺建設 株式会社	本社ビルロビーを利用した地域活性化
21	福島県	渡富建設 株式会社	地域小中学校の教育活動への支援
22	静岡県	株式会社 小原組	～未来の担い手の為に～「ふるさと未来塾」の開校
23	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会一関支部	重要文化的景観地区内の「春・夏水路整備」活動
24	宮城県	宮城県建設業協会仙南支部	県道花壇への季節の花植えの美化活動（スマイルロードサポーター）
25	宮城県	宮城県建設業青年会	みやぎスマイルロード・プログラムにおける清掃活動
26	富山県	富山県建設業協会砺波支部青年部会	指定史跡増山城址遊歩道の草刈り、清掃、側溝清掃

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
27	佐賀県	一般社団法人 建設業協会佐賀	佐賀県庁周辺道路の清掃活動
28	北海道	岩田地崎建設 株式会社	豊平川清掃活動
29	北海道	不二工営 株式会社	サイクリングロードの清掃活動
30	岩手県	宮城建設 株式会社	清掃活動「宮城の日」
31	宮城県	伸和興業 株式会社	地域に調和した環境活動
32	宮城県	株式会社 春日部組	河川清掃美化運動へ参加と月1町内美化自主活動
33	福島県	佐藤工業 株式会社	福島市泉地内泉地下歩道清掃活動
34	福島県	藤田建設工業 株式会社	町の中心「亀ヶ城公園」の清掃奉仕活動
35	福島県	石川建設工業 株式会社	多年にわたる地域清掃活動
36	群馬県	田畑建設 株式会社	地域の環境美化ボランティア
37	神奈川県	株式会社 小島組	公園の清掃・美化活動
38	長野県	株式会社 小宮山土木	国道ゴミ拾いボランティア活動
39	静岡県	株式会社 小松組	ため池（蛭沢池）の魚の保護と移設についての課外授業
40	富山県	株式会社 牧田組	六渡寺海岸の清掃活動
41	富山県	安達建設 株式会社	道路愛護ボランティアで地域を美しく
42	石川県	池田建設工業 株式会社	千鳥ヶ浜海岸清掃活動
43	鹿児島県	株式会社 常盤建設	川尻海岸の美化作業
44	宮城県	寺嶋建設工業 株式会社	献血推進活動
45	富山県	株式会社 ミヤマサ建設	地域の防犯パトロール
46	兵庫県	株式会社 秋山組	租税教室を通じ建設業の重要性を発信
47	愛知県	株式会社 加藤建設	『自然観察会』を通じた次世代への自然環境教育

広報活動事例

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
48	青森	青森県建設業協会青年部会東青支部	作業服アップデートと交流会でのファッションショー（新4Kを目指して）
49	和歌山	有田建設業協会和歌山有田建有会	建設業のイメージアップのために
50	栃木	永野川改良復旧工事等安全協議会	一級河川『永野川』災害復旧事業での広報活動
51	滋賀	有限会社 竜王興産	現場見学会や試乗体験の日常的な開催 SNS・メディアを活用した広報活動
52	栃木	一般社団法人 栃木県建設業協会	フォトコンテスト（Instagram）
53	岡山	蜂谷工業 株式会社	写真集の発刊ならびに写真展の開催

事例

1

新潟県

新潟県北部豪雨の災害復旧活動／鳥インフルエンザ防疫活動（一般社団法人 新潟県建設業協会村上支部）

令和4年8月3日から4日にかけて、前線が停滞し、新潟県の北部地域では非常に激しい雨が降り、記録的な豪雨となった。この豪雨により、村上市や関川村では家屋の浸水や、国道113号等への土砂・流木が流出堆積する災害が発生した。北陸地方整備局、新潟県から当協会に災害協定に基づく災害支援要請があり、迅速に応急対応を行うため、現場に近い被災地である村上支部の会員は昼夜を問わず、懸命な作業を実施し、早急の災害復旧を図った。

また、令和5年1月5日、村上市の養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。新潟県では鳥インフルエンザ対策本部を設置して、対象施設の鶏（130万羽・県内過去最大）の殺処分や消毒ポイントの設置等の防疫措置を決定した。新潟県との災害協定に基づく応援要請を受け、直ちに会員会社らが施設敷地内に設けられた埋却予定地で殺処分鶏の運搬・埋却作業の体制を整えた。作業には会員16社が従事し、建設機械等をはじめ多くの資機材を投入して、24時間体制で埋却作業に努めた結果、1月19日には全埋却物の投入及び埋戻しが完了した。



新潟県北部豪雨災害支援活動



鳥インフルエンザの防疫支援活動

事例

2

山梨県

令和4年8月の局地的豪雨における災害復旧活動（一般社団法人 峡北地区建設業協会）

令和4年8月24日午後7時頃、北杜市大泉町が局地的な集中豪雨に見舞われ、1時間に130mm～150mmの記録的な大雨となった。この大雨により、県道11号・北杜富士見線の複数箇所、土砂崩落を引き起こし山梨県内でも前例のない大規模災害となった。翌日、山梨県から災害応急復旧の要請を受け、現地の確認を行ったところ大量の土砂と流木が道路を覆いつくし、土砂崩落量は約8,000㎡、道路面より70mの高さから崩れ落ち落石防護柵や擁壁、転落防止柵がなぎ倒されていた。

被害箇所は9箇所及び、まずは作業車1台分が通行できるよう土砂や流木を撤去後に本格的な応急復旧作業に入った。作業には当協会員18社によるローテーションで行い、土砂・流木・転石・壊れた落石防護柵等の撤去・搬出作業に追われた。その後、山側土留め部への仮設防護柵の設置（5カ所）と谷川路側部へのボトルユニット（4カ所）の設置等を行い約2週間で作業を完了させた。全面通行止めで作業を実施し、山梨県等の点検後、約1か月後の9月29日に全面開通となった。



作業中



復旧後

事例
3

静岡県

令和4年9月の台風15号における災害復旧活動（一般社団法人 島田建設業協会）

台風15号は、令和4年9月23日（金）～24日（土）に島田市内の24時間最大雨量が500ミリを超えるなど、記録的な大雨をもたらした。静岡県内では中西部を中心に、死者3人、軽傷6人、住家被害が全壊9棟、半壊2,366棟、一部損壊3,292棟、床上浸水5,705棟、床下浸水4,438棟の被害があり、崩土による孤立集落の発生や停電、通信障害、断水、鉄道や道路の通行止めなどライフラインに大規模な影響があった。（令和4年11月28日静岡県危機報道官発表）

島田建設業協会の会員企業は、災害協定に基づき、地域住民の一刻も早い「安心・安全」を確保するため、災害の応急復旧に迅速に全力で対応した。



(国) 473号線島田市福用での碎石流出土砂等を撤去



5.3.1 (水) 建通

事例
4

滋賀県

令和4年8月の豪雨における災害復旧活動（一般社団法人 滋賀県建設業協会伊香支部）

令和4年8月4日からの豪雨によって伊香支部管内では河川の氾濫、道路への土砂流出が発生したため、滋賀県長浜土木事務所木之本支所からの応援協力要請を受け、伊香支部は会員のパトロールにより各地域の被害状況を把握し、会員を被害箇所へ派遣した。

長浜市余呉町菅並では、県道中河内木之本線が高時川の氾濫により一時通行不能に陥ったものの、会員の迅速な復旧作業により5日午後には片側通行が可能になるまで回復した。

この他の被害箇所でも地域の日常生活の早期回復に向けて復旧作業に尽力した。



事例

5

和歌山県

土砂災害による国道閉鎖時の災害復旧活動（株式会社 小森組）

令和4年6月26日午後6時50分頃、大雨によりライフラインである国道42号線沿いの法面が崩壊し、完全に国道を塞いだ。日曜日の夕方であったが、小森組従業員が偶然居合わせたため、同社専務に連絡をとり、そこから社内連絡網を使ってすぐに作業に参加できる従業員と重機の確保、残土と倒木を仮置きするための自社所有地の開放を実施し、紀南河川国道事務所と連携しながら全員が一丸となってライフラインの早期規制解除を目指し、夜を徹しての土砂の撤去を行い、翌朝には土砂の撤去が完了した。

今回、迅速に災害対応できたのは、日曜日の夜にもかかわらず多くの同社社員が各々に緊急性を理解し同じベクトルに向かって、作業を進めていったからである。

上記の災害対応が評価され、同社は令和4年12月12日 国土交通省近畿地方整備局長から「局長感謝状」を贈られた。



発生現場



事例

6

岩手県

鳥インフルエンザ防疫活動（一般社団法人 岩手県建設業協会奥州支部）

令和5年3月13日、岩手県胆沢郡金ケ崎町で高病原性鳥インフルエンザの疑いが発生し、14日に鳥インフルエンザが確定。岩手県と岩手県建設業協会が締結している「家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定」に基づき、奥州支部に対し埋却処分に関する要請があった。鳥インフルエンザ等発生時対応要領に基づき、人員の確保や重機の手配を行うとともに埋設溝を掘り、殺処分した鶏の運搬・埋却を行うなど防疫対策に大きく貢献した。



殺処分した鶏の埋却作業



夜間の埋却作業

事例
7

岩手県

鳥インフルエンザ防疫活動（一般社団法人 岩手県建設業協会千厩支部）

令和4年5月11日、岩手県一関市藤沢町内で高病原性鳥インフルエンザの簡易検査で陽性が確認された。翌12日に疑似患畜の決定を受け、岩手県建設業協会千厩支部は県との「家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定」に基づき、防疫対応における埋却作業などに従事した。

事案発生から感染拡大防止のために迅速な対応が求められ、第一報を受けた直後から人員の確保や重機の手配を実施。埋却作業では現場の状況に即した掘削を行うなど、防疫対応に大きく貢献した。



殺処分した鶏の埋却作業



殺処分した鶏埋却作業(石灰散布)

事例
8

群馬県

CSF（豚熱）防疫活動（一般社団法人 群馬県建設業協会太田支部）

令和4年4月21日、太田市内の養豚農家から群馬県にCSF疑いの通報があり、県と国による検査を経て4月22日に陽性が確定。群馬県と本会は「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」とそれに基づく細目協定を締結しており、協力依頼の連絡を受け作業を開始した。翌日から埋却場所の仮囲いと掘削を開始。当面24時間体制3交代制で作業を実施し、従事企業23社、作業員延べ221名を動員。全9日間作業を継続し、5月2日に全ての作業を完了した。

本支部では、社会的責任において群馬県との協定に基づき、会員企業は懸命な防疫業務に従事した。本会行動指針で「地域を守る建設業の3つの備え」として、災害対応組織力の強化を掲げ様々な体制を築き、今回の豚熱発生に対する防疫作業においても、会員企業は使命感により連日連夜作業に取り組んだ。

こうした取り組みが認められ、令和4年7月1日、群馬県知事から協会本部及び群馬県農村整備建設協会に、群馬県農政部長から太田支部及び群馬県農村整備建設協会太田分会にそれぞれ感謝状が贈られた。



作業状況



群馬県農政部長から太田支部長に感謝状贈呈

事例

9

群馬県

CSF（豚熱）防疫活動（一般社団法人 群馬県建設業協会桐生支部）

令和4年5月9日、桐生市内の養豚農家から群馬県にCSF疑いの通報があり、県と国による検査を経て5月10日に陽性が確定。群馬県と本会は「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」とそれに基づく細目協定を締結しており、協力依頼の連絡を受け作業を開始した。翌日から埋却場所での掘削を開始。従事企業7社、作業員延べ94名を動員。休工日1日をはさみ全7日間作業を継続し、5月18日に全ての作業を完了した。また、同年6月14日には再び桐生市内の養豚農家から通報があり、6月15日に陽性が確定。翌日から作業を開始し21社、延べ165名を動員し休校日をはさみ全11日間作業を実施し、6月28日に全ての作業を完了した。

本支部では、社会的責任において群馬県との協定に基づき、会員企業は懸命な防疫業務に従事した。本会行動指針で「地域を守る建設業の3つの備え」として、災害対応組織力の強化を掲げ様々な体制を築き、今回の豚熱発生に対する防疫作業においても、会員企業は使命感により連日連夜作業に取り組んだ。

こうした取り組みが認められ、令和4年7月1日、群馬県知事から協会本部及び群馬県農村整備建設協会に、群馬県農政部長から桐生支部及び群馬県農村整備建設協会桐生分会にそれぞれ感謝状が贈られた。



作業状況



群馬県農政部長から桐生支部に感謝状贈呈

事例

10

群馬県

鳥インフルエンザ防疫活動（一般社団法人 群馬県建設業協会前橋支部）

令和5年1月18日、前橋市内の養鶏場から群馬県に鳥インフルエンザの疑いの通報があり、県と国による検査を経て1月19日に陽性が確定。群馬県と本会は「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」とそれに基づく細目協定を締結しており、協力依頼の連絡を受け作業を開始した。

翌日から埋却場所での仮囲いと掘削を開始。従事企業20社、作業員延べ250名を動員。また、同月1月26日には別の養鶏場から鳥インフルエンザの疑いの通報があり、県と国による検査を経て1月27日に陽性が確定。重複して対応することになり、11社延べ82名が対応にあたり、それぞれ2月3日に作業を完了した。

本支部では、社会的責任において群馬県との協定に基づき、会員企業は懸命な防疫業務に従事した。本会行動指針で「地域を守る建設業の3つの備え」として、災害対応組織力の強化を掲げ様々な体制を築き、今回の豚熱発生に対する防疫作業においても、会員企業は使命感により連日連夜作業に取り組んだ。

こうした取り組みが認められ、令和5年3月17日、群馬県知事から協会本部及び群馬県農村整備建設協会に、群馬県農政部長から前橋支部及び群馬県農村整備建設協会前橋分会にそれぞれ感謝状が贈られた。



作業状況



群馬県農政部長から前橋支部に感謝状贈呈

事例
11

群馬県

CSF（豚熱）防疫活動（一般社団法人 群馬県建設業協会館林支部）

令和4年9月20日、板倉町内の養豚農家から群馬県にCSF疑いの通報があり、県と国による検査を経て9月21日に陽性が確定。群馬県と本会は「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」とそれに基づく細目協定を締結しており、協力依頼の連絡を受け作業を開始した。翌日から埋却のための掘削作業を開始。従事企業11社、作業員延べ114名を動員。全6日間作業を継続し、9月27日に全ての作業を完了した。

本支部では、社会的責任において群馬県との協定に基づき、会員企業は懸命な防疫業務に従事した。本会行動指針で「地域を守る建設業の3つの備え」として、災害対応組織力の強化を掲げ様々な体制を築き、今回の豚熱発生に対する防疫作業においても、会員企業は使命感により連日連夜作業に取り組んだ。

こうした取り組みが認められ、令和4年11月17日、群馬県農政部長から館林支部及び群馬県農村整備建設協会館林分会にそれぞれ感謝状が贈られた。



群馬県農政部長から感謝状贈呈

事例 12

埼玉県

鳥インフルエンザ防疫活動

(一般社団法人 埼玉県建設業協会大里支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会川越支部
一般社団法人 埼玉県建設業協会北埼玉支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会飯能支部)

令和4年12月から令和5年1月にかけて、埼玉県内では高病原性鳥インフルエンザが県内4か所で発生し、埼玉県と埼玉県建設業協会が締結している「口蹄疫等家畜伝染病発生時における緊急対策に関する基本協定書」に基づき、埼玉県より大里・川越・北埼玉・飯能の4支部に対して防疫措置の要請があった。

4支部ともに県からの要請に即座に対応し、高度な警戒を伴う中で、影響をできる限り封じ込める防疫措置に貢献した。

特に、令和4年12月16日に深谷市内で発生した鳥インフルは、当季県内で初めてであり、殺処分数としては県内過去最大規模であり、大里支部においては休日返上で防疫措置に貢献した。

また、その後も12月30日に狭山市内で発生し、県からの要請を受けて川越支部が年末年始休み返上で防疫処理の作業を行った。

さらに、令和5年1月25日に行田市内で、1月31日には日高市内で発生し、それぞれ北埼玉支部と飯能支部が防疫措置に貢献している。

いずれにしても、当季は、国内で猛威を振るっている高病原性鳥インフルエンザに備えて、4支部ともに迅速な初動体制が執れるよう、体制強化に努め、影響を最小限に食い止める防疫措置に、大きく貢献した。



R 5.1.10 埼玉建設新聞掲載



R 5.1.27 埼玉新聞掲載

事例
13

岡山県

鳥インフルエンザ防疫活動(及び放送メディアによる広報活動)

(一般社団法人 岡山県建設業協会及び関係する8岡山県建設業協会)

令和4年10月27日に、倉敷市の養鶏場で国内今季初の高病原性鳥インフルエンザが発生した。協会は直ちに対策本部を設置し、発生農場における餌や汚染物品の埋却をはじめ、消毒ポイントにおける施設設営・消毒業務等多岐にわたる防疫活動を開始した。その後県内の4か所で鳥インフルエンザが続発したが、いち早く防疫措置を行い消毒作業に取り組んだことで、周辺地域への感染拡大を封じ込めることができ、一連の防疫業務は年内には終了することができた。

この間、128社の協会員が日常の社業を抱えながら、地域の安全・安心のために24時間態勢で防疫業務に従事し、73.5万羽に及ぶ家禽の処分を行った。

こうした中、消毒ポイントでの作業で近隣住民から苦情が出ないように周知広報を実施することなどを、県農林水産部に対し緊急要請した。その結果、トラブルもなく早期の防疫措置を完了し、畜産業者等から感謝されたところである。

また、これらの活動に対して、知事から協会本部と防疫活動に従事した8支部に感謝状が贈呈されることとなり、贈呈式には協会をPRするために新たに制作した「建設業協会 岡山」のロゴ入りの防災服を全員が着用して出席し、その模様は夕方のニュースなどで報道されたところである。



埋却



知事感謝状贈呈式



消毒作業



防災服

事例 14

宮崎県 鳥インフルエンザ防疫活動（高鍋地区建設業協会）

令和4年11月19日・新富町で発生した宮崎県内今季1例目及び、令和5年1月10日・川南町にて発生した県内3例目の高病原性鳥インフルエンザについて、発生箇所管内を所管とする高鍋支部が、迅速に防疫を務めた。1例目については19日から23日の5日間で約16万羽を延べ25社（41人）、3例目については9日から12日の4日間で約10万羽を延べ27社（44人）で埋却作業を実施。



作業状況(新富町)



作業状況(川南町)

事例 15

宮崎県 鳥インフルエンザ防疫活動（日向地区建設業協会）

令和4年12月21日・日向市にて発生した宮崎県内今季2例目の高病原性鳥インフルエンザについて、発生箇所管内を所管とする日向支部が、迅速に防疫を務めた。21日から22日の2日間で約15万羽を延べ35社（71人）で埋却作業を実施した。



作業状況(埋却)



作業状況(消石灰散布)

事例
16

群馬県

KAMIKABE による防災支援活動（一般社団法人 群馬県建設業協会）

群馬県建設業協会は、新型コロナウイルスのまん延を受け、感染症と自然災害が同時に発生する複合災害に対し、乱雑になりがちな避難所のかたちを整え、避難所に求められるポイントを整理。建設業ならではの提案として、安心なスペース、3密対策、仮住まいの生活の質を高めることを目的に「KAMIKABE」を提案、製作した。

令和2年6月16日に群馬建設会館で行った記者発表時には、実際にKAMIKABEを展示し、多くの関心を集めて一般紙で大きく取り上げられた。また、群馬テレビのみならず、テレビ朝日「スーパーJチャンネル」においても特集が組まれるなど、その関心の高さは大きいものがあつた。

群馬県内の各自治体において組立訓練を行い、実際の製品を寄贈するほか、令和2年7月の九州における豪雨災害に対し、全国道の駅連絡会の協力を得て福岡、熊本、鹿児島各県内にある道の駅7カ所に計100セットを支援した。

その後も継続して備蓄し、令和3年12月には県立沼田高校において訓練を実施し、高崎市立金古小学校では2年続けて展示を行い、太田支部においては太田市と連携して令和4年12月に組立訓練を行った。



KAMIKABE 組立実演及び訓練の様子



R2.7.18 上毛新聞

事例
17

山梨県

防災無線機の貸与および被災情報伝達訓練（一般社団法人 甲府地区建設業協会）

甲府地区建設業協会では、平成24年より毎年「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、4市1町（甲府市、南アルプス市、甲斐市、中央市、昭和町）、山梨県中北建設事務所、会員企業91社に対して無線機を使用した被災情報伝達訓練を実施している。

東日本大震災時においては、通信手段が機能せず、安否確認・災害復旧要請などが大幅に遅れるという問題が生じた。この経験から、災害時の安否情報を素早く集め、円滑な復旧活動を実施するべく、協会内に無線基地局を配備し、上記4市1町および山梨県中北建設事務所、および会員企業に無線機を無償貸与した。さらに、実際の災害発生に備え、毎年訓練を実施している。



防災無線



情報伝達訓練の様子

事例 18

山梨県

テロ未然防止協定に関する活動（一般社団法人 市川建設業協会）

令和元年の協定締結以降、地域の花火大会会場、2020東京オリンピック聖火リレー会場にて、国際テロリズム未然防止を目的に、重機等で車両突入や人的な妨害活動に協力。

地域の建設業者の協力により、地域を守るための社会貢献を行っている。



聖火リレー テロ防止協力



神明の花火 テロ防止協力

事例 19

奈良県

防災総合訓練（一般社団法人 奈良県建設業協会）

奈良県建設業協会及び会員各協会では、県や市と締結している災害協定に基づいて要請があったという想定のもと、防災総合訓練を国、県や市町村等協力し実施している。

訓練では道路上の倒木や崩土の除去・撤去作業の訓練にあたり、実際の災害発生時にも機敏に動けるよう、関係機関との連携を深めた。



道路をふさいだ土砂や倒木を取り除く



令和4年度は中和建設業協会が参加した

事例
20

北海道

本社ビルロビーを利用した地域活性化（丸彦渡辺建設 株式会社）

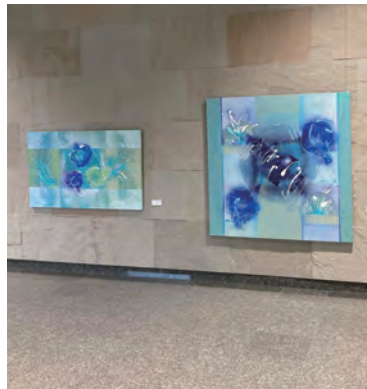
2016年より創業100周年事業として、本社ビルの1階ロビーを利用し、近隣の住民や学生が作成した写真、絵画、陶芸、手芸等の作品の展示、コンサート等を自由に開催できる場として、「まるひこアートスペース和（なごみ）」を開設し、地域活性化や社会福祉などの活動を実施した。



2016.11.01 北海道新聞夕刊



2020.07.29
サマーコンサート風景



2021.10.18～12.17
四人展 明日への歩み



2022.02.01～02.28
いしかり縄文パネル展(石狩振興局主催)



2022.9.1～9.16 こども・アールブリュット展



2022.11.29～12.9 北海道盲導犬協会写真パネル展

事例

21

福島県

地域小中学校の教育活動への支援（渡富建設 株式会社）

渡富建設は、全国に先駆けて小中一貫校としてスタートした郡山市立湖南小中学校の教育活動を支援している。平成24年から毎年、生徒たちが冬季スキー授業に使用する学校の裏山のスキー場ゲレンデを建設機械を使い整備をしている。また、10月に行われる学校の文化祭「水芭蕉祭」においても、体育館における音響設備の貸し出し、設置・撤去、及び当日の音響機械操作を同じく平成24年から毎年、支援している。

この他にも、平成30年度から毎年、建設機械を使用しソフトテニス部のコート整備を行っている。

同社は、創業地である湖南町で子どもたちが元気に成長できるよう自分たちが出来ることを貢献していきたいと活動している。



スキー授業のために毎年ゲレンデを整備



テニスコートの整備も行っている

事例

22

静岡県

～未来の担い手の為に～「ふるさと未来塾」の開校（株式会社 小原組）

令和4年10月5日菊川東中学校の2年生117名を対象に、ふるさと未来塾を開催した。本学習は、菊川市内の地域に密着する各業種の代表企業が、子どもたちに自分たちの住む地域に愛着を持ち、生まれ育った菊川市で暮らし、働くことの良さを考える機会とすることを目的としている。

小原組は、平成27年の本学習の発足当初より、古くから地域に根づく土木建設企業として、市内の建設業者を代表し、子どもたちに地元の建設企業として働く事の魅力を伝えてきた。

令和4年は営業部の社員が講師を担当。より生活に密着した民間工事に多く携わる営業部ならではの視点で、生徒達にいかに建設業が身近で、自分たちの生活の中に息づいているかを、写真を見せながら話した。生徒たちは、時折メモを取りながら真剣に話を聞いてくれた。

講話後は、「いつも使っている道が大雨で水が溜まって通れないのを直してくれたのは、地元の建設業者だったんだと初めて知った」「今までは土木建築という分野に興味がなかったが、今日の講話を聴いて、かつこいいと思った」「建設業はいろいろな場所で活躍していることがわかった。僕も将来は、建設業で働いてみたい」など多くの感想をいただいた。

今後も、土木建設業が如何に人々の生活に密着し、地域を作り守っているかを伝え、一人でも多くの「未来の作り手」が増えるよう、この活動を続けていきたいと考えている。



事例
23

岩手県

重要文化的景観地区内の「春・夏水路整備」活動（一般社団法人 岩手県建設業協会一関支部）

一関市厳美町本寺地区にある骨寺村荘園遺跡一帯は国の重要文化的景観に選定され、世界文化遺産に登録された「平泉の文化遺産」の構成資産に追加する拡張登録も目指している。

骨寺村荘園遺跡の景観保全の観点等から、岩手県建設業協会一関支部では、平成20年3月に土水路等の保全や整備に関してボランティアでの実施を内容とした、骨寺村荘園遺跡水路等の整備に関する協定を締結した。同年から年2回春・秋と継続し令和4年度で15年目の活動となっている。

田園風景を後世に残すお手伝いをしたいとの思いからの活動で、これからも貢献を続けていく。



R 4 重要文化的景観地区内の「春季水路整備」



R 4 重要文化的景観地区内の「秋季水路整備」

事例
24

宮城県

県道花壇への季節の花植えの美化活動（スマイルロードサポーター）

（宮城県建設業協会仙南支部）

宮城県建設業協会仙南支部では県合同庁舎前から柴田農林高校までの3か所県道花壇に毎年2回、花苗の植栽を支部会員企業社員と土木事務所職員と共同で実施している。

花壇の除草と一緒にゴミ拾いも会員企業社員が輪番で行って美化に努め、県道を走行する車のドライバーや歩行者、県合同庁舎来庁者を和ませている。

植栽する花の種類は、夏秋はマリーゴールドとサルビアで約1,300本、冬春はパンジーとチューリップで約2,800本で、花苗は近くの柴田農林高校の生徒が実習で育てたものを購入している。農林高校からも立派な花が間近に見られることで、生徒の実習成果が見られると感謝されている。

このスマイルサポーター道路美化活動に対して、令和4年11月に宮城県知事から感謝状が贈られた。



スマイルロードサポーター花壇除草・清掃活動実施状況 (R4.9.27)



事例 25

宮城県

みやぎスマイルロード・プログラムにおける清掃活動（宮城県建設業青年会）

全国建設青年会議で制定した「全国建設青年の日」事業として行う社会貢献活動を通じ、地元建設業の役割や公共事業の必要性などを広く県民にアピールしながら、地域のニーズを的確に把握するとともに建設業に携わる者が、それぞれの地域の人々や社会と良好なパートナーシップを築き、豊かな自然と共生しながら住みやすい環境づくりに貢献することを目的に実施。

平成26年2月に「スマイルサポーター」の認定を受け、「みやぎスマイルロード・プログラム」として9月～10月の間の年1回、道路美化活動を宮城郡利府町にある宮城スタジアム付近の県道260・270号線の歩道、路肩等において実施。青年会会員企業が、清掃作業を実施し、地域の安全・安心な道路環境づくり等を積極的に取り組んでいる。

その実績が認められ、令和4年1月25日に宮城県知事より感謝状の授与を受けた。



「全国建設青年の日制定事業」活動状況 (R4.10.6)



事例 26

富山県

指定史跡増山城址遊歩道の草刈り、清掃、側溝清掃（富山県建設業協会砺波支部青年部会）

富山県建設業協会砺波支部青年部会では、毎年「全国建設青年の日」に合わせて、支部管内の砺波市、南砺市の街路や公園の環境美化活動を建設業のPRと地域貢献活動を兼ねた行事として平成16年度から実施している。

令和4年度は8月3日に、国指定史跡である増山城址の遊歩道の草刈り、清掃、側溝清掃を行った。この遊歩道は地元有志で管理されていたが、高齢化に伴い十分な管理ができなくなっていたところでもあり、砺波市からの要請もあって実施したものである。

当日は青年部会員19人が参加し、和田川ダム右岸の登山口から増山城二の丸跡までの延長約500mの区間の遊歩道、公園などの草刈り、側溝清掃などをボランティア活動として行った。

青年部会では、建設業は地域に根ざした産業であり、建設業のイメージアップと地域に貢献できるこの活動は今後も継続したいとしている。



砺波市 X (旧 Twitter)



富山新聞 (R4.8.3)

事例
27

佐賀県

佐賀県庁周辺道路の清掃活動（一般社団法人 建設業協会佐賀）

平成28年から毎年実施している本活動は、令和4年で7回を数える。

同協会は、佐賀市に本社所在地がある会社で構成されており、北は福岡市に隣接し、南は有明海までを望むという広い地域で、山から海まで地域の実情に合わせた活動を行っている。

その中でも、佐賀市中心地域で実施する「道路清掃活動」は、永年続けている奉仕活動であり、年2回県庁前周辺地域や佐賀バルーンフェスタ会場周辺で実施していたが、新型コロナの影響で、現在は秋の1回実施に変更している。

県庁周辺は、元々佐賀城内に位置しており、周辺部には公園や文化施設等が多いこともあり、桜やツツジ、県木である楠など自然豊かな景観をなしている。

週末には公園などで各種イベントが実施され、来訪者も増えていることから、周辺を綺麗にして気持ちよく過ごしてほしいとの思いから本活動を行っている。

同協会役員並びに協会員各社が主導して積極的に行っており、今後も活動を続けていくこととしている。



貫通道路沿線



集合写真

事例
28

北海道

豊平川清掃活動（岩田地崎建設 株式会社）

岩田地崎建設は札幌のより良いまちづくりに協力する活動を継続したことが評価され、札幌市より「令和4年度さっぽろまちづくりスマイル企業・シルバー企業」に認定され表彰を受けた。

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度では、一年度間に一定基準以上の地域のまちづくり活動に積極的に協力した企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」として認定している。そして、認定企業のうち、特に積極的にまちづくり活動に取り組み、その功績が顕著であると認められ、3年以上一定基準の活動を継続している企業は「ゴールド企業」「シルバー企業」に認定される。

表彰された一例を挙げると、2007年度から会社周辺市道および豊平川左岸（上白石橋～平和大橋～東橋間）の清掃活動を毎年、年3回行っており、河川敷や草むらの中に捨てられていた、たばこの吸い殻や空き缶などのゴミ拾いを行っている。



豊平川清掃活動



令和4年度さっぽろまちづくりスマイル認定企業表彰式

事例 29

北海道

サイクリングロードの清掃活動（不二工営 株式会社）

不二工営は、平成19年から16年連続で、毎年4月に道内マラソン大会のトップを切って行われる「春一番伊達ハーフマラソン大会」のコース一部を、開催前に環境美化の一環として清掃活動を行っている。

マラソンコースは、サイクリングロード5.4kmで、マラソン大会以外にも桜の名所として市民の散歩コースなど、広く市民に利用されているサイクリングロードである。

清掃活動は、同社と協力会社を含む約30人が参加し、2班に分かれてごみ袋片手に、沿道の空き缶・ペットボトル・木切れなどのごみを拾い、軽トラック2台に積み込み清掃活動を行っている。

なお令和5年度からマラソンコースが変更となり、このコースは使用されないが、市民が今後も気持ちよく利用していただくため、これからも継続して活動する計画である。



事例 30

岩手県

清掃活動『宮城の日』（宮城建設 株式会社）

宮城建設では地域社会と協調するための活動として、平成30年より6月と10月の年2回『宮城の日 清掃活動』と名づけ、全社を挙げて地域の清掃活動を継続して実施している。

令和4年度は6月17日に本社、支社、市内各所の各部社屋周辺の道路、歩道、河川などを清掃し、10月6日には久慈港及び小本港の海岸清掃を行った。これらの活動を通じ、経営理念である「わが社に関わる全ての人々が幸せになる会社を作り、それを通じて社会に貢献する」を具現化するため、全社員が一つとなり積極的に実施している。



久慈港での海岸清掃



小本港での海岸清掃

事例
31宮城県
地域に調和した環境活動（伸和興業 株式会社）

伸和興業は、平成23年1月に宮城県仙台土木事務所のスマイルサポーターに認定され、梅田川の扇町橋から福田橋の両岸（延長1,100m）を年に2回、美化清掃を実施している。

同社で取り組んでいるSDGsに地域社会への貢献を掲げ、地域に調和した環境活動に取り組んでいる。



スマイルリバー・プログラム活動実施状況(R4.6.4)

事例
32宮城県
河川清掃美化運動へ参加と月1町内美化自主活動（株式会社 春日部組）

春日部組はボランティア活動を積極的に行っており、「阿武隈川清掃美化運動」には平成10年の第1回目から毎年参加している。その他にも、平成25年から毎月1回、町内ゴミ拾い活動を実施し、清掃活動してから通常の仕事に就くこととしており、社員一同が積極的に環境美化・保全活動を行っている。

また、「企業は社会と切っても切り離せない関係にあり、広くコミュニケーションを図り、良き企業人として連携と協調を持って社会に貢献する」をモットーに法人会や丸森町観光物産振興公社理事・観光物産館「八雄館」副理事長として地域振興にも貢献している。コロナ禍で丸森町へのインバウンドも減少したことから、放置竹林を活用し、冬の観光スポットとして創出すべく、春日部組が企画し町観光物産振興公社等の協力を得て「竹灯り回廊」を開催した。約2千人を超える見物客が寒い夜の幻想的風景を楽しみ、次年度も開催し、「冬の丸森」観光スポットとして定着させたいと願っている。



阿武隈川清掃美化運動実施状況



竹林に並ぶ竹灯り「竹灯り回廊」を企画

事例 33

福島県

福島市泉地内泉地下歩道清掃活動（佐藤工業 株式会社）

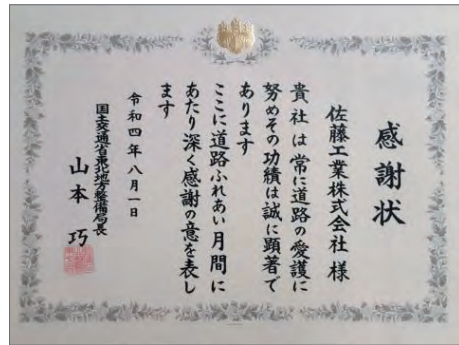
佐藤工業では、会社周辺の福島市泉地内（国道13号福島西道路）にある泉地下歩道の構内、階段、手すり、照明、案内板の清掃を毎月1回実施している。この地下歩道は、近隣の学校の学区内であり、子供からお年寄りまで通行も多い箇所である。

2014年9月から始めた泉地下歩道清掃も2023年3月で101回目を迎えた活動となった。

地元の環境美化・保全に取り組むと同時に、清掃活動中や移動中にお会いする地域住民の方々に挨拶することでコミュニケーションを図り、建設業に対するイメージアップにもつながっていると考えている。



清掃活動実施状況



感謝状

事例 34

福島県

町の中心「亀ヶ城公園」の清掃奉仕活動（藤田建設工業 株式会社）

町の中心部にある棚倉城の跡地は、亀ヶ城公園として町民に親しまれている。梯郭式の平城は残っていないが160mに渡る石垣と270本の桜があり、4月の開花時期には春のお祭り「たなぐらsakuraマルシェ」で賑わう。また、追手門の跡地近くには樹齢600余年の大ケヤキがあり棚倉町のシンボルとなっている。

2014年以降、毎年4月に女性社員互助会「藤の会」を中心に、関連グループ会社も含めた「SDGs委員会」と共に清掃活動を行っており、花見、祭事、散歩、ジョギング等に来園される方々が気持ちよく過ごしていただけるようにしている。

定期的に公園を清掃し綺麗にしていることで、住民や来園される皆様に評価をいただいている。

また、同社も参加している「たなぐらsakuraマルシェ」は毎年4,000人以上が訪れ、大変な賑わいとなる。公園の近くにある同社の駐車場を無料で開放し、町民はもとより来園者の皆様から感謝の言葉をいただいている。



清掃の様子



東白日報 (R4.4.9)

事例
35

福島県

多年にわたる地域清掃活動（石川建設工業 株式会社）

石川建設工業では、これまで長きにわたり本社所在地である「南相馬市原町区大町地区」の清掃活動に努めてきた。日頃から地域のゴミ集積場周辺の清掃等の環境美化に取り組むと共に、地元である相馬地方の伝統の「相馬野馬追」（※国の重要無形民俗文化財）が開催される時期に合わせ毎年祭りが開催される前に社員全員で清掃活動も行ってきた。

このことが地域の環境美化及び衛生向上に貢献したということで、区長をはじめ地域からの推薦もあり、南相馬市より令和4年度の環境美化運動推進協力者団体表彰を授与された。



南相馬市から表彰

事例
36

群馬県

地域の環境美化ボランティア（田畑建設 株式会社）

田畑建設は、平成14年より市道の拡幅改良工事によって発生した藤岡市管理の遊休地に花壇を設置し、毎年花を植えて環境美化を図ることにした。

ボランティア団体名を「田互作」（吾ではなく互）として、社員の中から毎回10～20名の者が入れ替わりながら土地を耕し、肥料を入れ、季節の花を植えている。最近では冬期はパンジー、ビオラを主体とし、夏期から秋頃まではコキアを植えて緑から赤へ変化する彩りを添えている。定期的な水やりと手間のかかる草取りには手を焼いているが、通行する人達や車の方達から「きれいだね」「毎年ありがとう」と言われ、やりがいと張り合いを感じている。

平成27年10月には群馬県知事から、令和元年5月には国土交通大臣から、それぞれ感謝状をいただいた。今後も環境美化に努力して活動していきたい。



花壇の除草、水やり（R4.3.18）



国土交通大臣感謝状

事例

37

神奈川県

公園の清掃・美化活動（株式会社 小島組）

小島組は、株式会社コジマホールディングスグループの傘下で（株）小島組、（株）アーバン、（株）プロミティ、（株）ケッセル、（株）プティティール）の有志女性社員で「すずらん会」を結成し、地域ボランティア活動を行っている。

2006年5月からは厚木市の市民活動である花未来事業に参加し、厚木公園1区画の花壇の手入れや清掃、年2回の花植え作業などを行っている。

厚木公園は市民の方から「はとぼつぼ公園」として親しまれている公園で、作業を行っていると公園で遊んでいる子供達がお花を見て「かわいいお花だね」とか、通行人の方からも「ご苦勞様」や「いつも綺麗にしてくれてありがとう」「綺麗な花だね」と労いの言葉があり、とても励みになっている。また、毎年5月に行われる相模川クリーンキャンペーンやあつぎ鮎祭り早朝清掃にも参加している。

すずらん会の発足は2003年4月で活動を始めて20年を越えた。今後も地元企業として地域に貢献できるように継続して地域美化に努めていきたいと考えている。



年2回の花の植替えの様子



毎月の定期清掃の様子

事例

38

長野県

国道ゴミ拾いボランティア活動（株式会社 小宮山土木）

小宮山土木では、県道の美化清掃をボランティア活動として継続的に取り組んでいる。2006年からは立科町社会福祉協議会と協賛し、国道142号線のゴミ拾いボランティア活動を毎年開催している。

また、他にも企業活動を通じてSDGsの達成に向けた様々な取り組みを進めている。

◆社会福祉活動

- ・立科町社会福祉協議会を通じて就労移行支援の必要な方（障害をお持ちの方・難病のある方等）が一般企業に就職するために必要な訓練の提供などの支援を続けている。

◆SDGsへの取り組み

- ・長野県SDGs推進企業登録（第3期【2023年1月】）後、SDGsの目標達成を目指し活動を継続している。

【省エネ・温暖化対策の計画・取り組み】

自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。エコアクション21 CO₂削減プログラム（Eco-CRIP）に基づき、2008年よりCO₂排出量削減計画を策定し活動している。また、事業活動で必要な電力の一部を太陽光発電の電力で賄うことで、自社のCO₂排出量を削減する取り組みをしている。



ゴミ拾いボランティア活動の様子



太陽光発電で自社のCO₂を削減

事例
39

静岡県

ため池(蛭沢池)の魚の保護と移設についての課外授業(株式会社小松組)

令和4年度ため池群整備事業(ため池緊急整備)ため池群馬込川地区堤体改修2工事において、池の水を抜く際に(池内の耐震工事のため)、池の中の生き物の移設と特定外来種の駆除作業を行った。この活動は、もともと生物好きな現場代理人がため池の生態系に配慮したものだが、なかなか機会のないこともあり、誰かに見てもらいたいという思いから、現場近くの小学校生徒(亀玉小学校)を招き、魚の保護と移設についての課外授業を企画したものである。当日は、全校生徒と先生合わせて300人がクラスごとのローテーション形式で、1日を通してため池に came した。桶に移された魚を見せながら特定外来種が及ぼす問題やため池の役割・工事の必要性を伝え、生徒からは「大きな魚がたくさんすんでいることに驚いた」「池の底が深くて意外だった」「いつもの授業と違った雰囲気楽しかった」などの感想をいただき、先生からも「生徒の反応が良かった」「貴重なものが見れた」「大切な工事だとわかった」など感謝の言葉をいただいた。その反響から、人のためになった、成果があったと感じており、工事をしながら自然を守る取り組みを、学びの場として提供したことは、評価したいところである。それ以外にも期間中は、近隣の小・中学校生徒に建設業の魅力を伝える取り組みを積極的に実施した。



施工前にため池にいる生物を保護



子どもたちに実際に目で見て触れて考えてもらう



ため池のゴミ等を処分し、保護した生物を新池へ移設

事例 40

富山県

六渡寺海岸の清掃活動（株式会社 牧田組）

牧田組では、環境保全活動として8年前より、年1、2回六渡寺海岸の清掃活動に参加している。射水市庄西町に位置する六渡寺海岸は、両側を庄川と小矢部川に挟まれた海岸となっており、富山湾でも多くのゴミが流れつく海岸である。

令和4年度は、7月3日に富山県、各市町村等が主催する「民できれいにせんまいけ大作戦」の一環となる清掃活動、9月18日にFMとやまが主催する清掃活動「FMとやま清掃キャンペーン～六渡寺海岸からゴミをなくすには～」に参加した。

本社にほど近い海岸の清掃美化活動を通じて、社員の環境保全・社会貢献の意識を高め、地域に貢献する建設企業を発信している。



清掃活動の様子

事例 41

富山県

道路愛護ボランティアで地域を美しく（安達建設 株式会社）

安達建設では約15年前より年3回、5月・7月・9月に道路愛護ボランティアを行っている。

これは建設業としての使命である地域貢献活動の一つで、地域住民の方々がより過ごしやすい環境で生活してもらおうと続けている活動である。

城端地域では毎年、5月4・5日に約300年前から続いている曳山祭り、9月15日には城端の町がむぎや一色に染まる秋のむぎや祭りが開催されるため、地元住民の方々や祭りを楽しみに来た方に、より城端という地域を魅力に感じてもらいたく、祭りが開催される前に地域清掃を社員一同で取り組んでいる。

本社のある城端地域では、一般国道304号 城端駅～細木交差点はじめ約2Kmを2班に分け清掃活動を積極的に行っている。

また、支店のある上平地域では一般国道156号・道の駅ささら館前から旧上平小学校までを中心に清掃活動を行っている。

このボランティアは2009年の5月以降より5月、7月、9月の年に3回以上を目標に継続して行っており、令和4年はコロナ禍ではありながらも年3回実施することができた。

約15年続いている社内行事として社員の人からも地域住民の方々からも認められている。



平成 28 年 9 月 1 日 道路愛護ボランティア



平成 26 年 5 月 1 日 道路愛護ボランティア

事例
42

石川県

千鳥ヶ浜海岸清掃活動（池田建設工業 株式会社）

池田建設工業では、SDGs活動をきっかけに自社で何かできることがあるのではないかと、自社目標のひとつでもある社会貢献に関する活動として令和2年より取り組んでおり、ゴミ集めに関しては会社職員の有志だけで平成28年ごろから取り組んでいる。

千里浜（千鳥ヶ浜）の海岸では漂着ゴミが多く、夏の行楽シーズンには海水浴客が多く訪れる観光地であるためピーク時にあわせ活動を行っている。

また令和4年の活動では社員20人が2t近くの漂着ゴミを集め、当時地引網体験で訪れた海水浴客から“ありがとう”と声をかけてもらったなど観光地の美化だけでなく、おもてなしにも大いに貢献している。



千鳥ヶ浜海岸の清掃活動



令和4年度の清掃では多くの漂着ゴミを集めた

事例
43

鹿児島

川尻海岸の美化作業（株式会社 常盤建設）

指宿市開聞川尻地区にある川尻海岸の海岸線は、800m以上ある。

川尻漁港が隣接していて、砂浜はアカウミガメの産卵地でもあり、南薩地区の貴重な水産資源・観光資源の地域となっている。

しかし、川尻漁港が外海に面していることもあり、流木などのゴミが砂浜に流れ着き溜まってしまい、景観を悪化させるだけでなくアカウミガメの産卵を困難にしてしまう。

常盤建設は、素足で歩ける砂浜と貴重な水産資源を次世代を担う子供たちに残したいとの思いで、15年以上前から地元の住民やスポーツ少年団などの200名以上のボランティアと一緒に、川尻海岸美化清掃をしている。

清掃にあたり、流木などかなりの量になるため、同社はフォーク付バックホウやキャリアダンプなどの重機やダンプトラックを出動して、大きく貢献している。



開聞岳をバックに川尻海岸清掃活動状況



鹿児島建設新聞の紹介記事

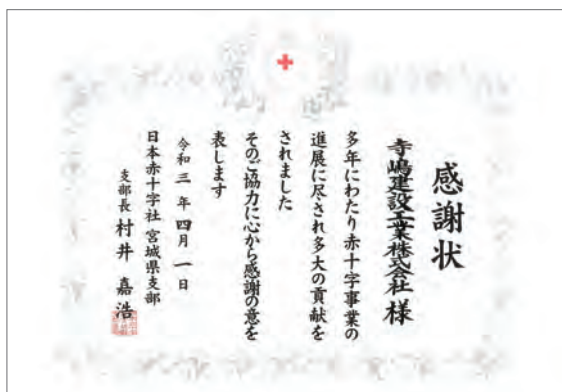
事例

44

宮城県

献血推進活動（寺嶋建設工業 株式会社）

寺嶋建設工業では、平成22年より献血活動をはじめ、これまで17回の献血活動を実施している。
令和3年4月1日に日本赤十字社宮城県支部長より感謝状を拝受した。
また、令和4年2月8日宮城県知事より褒状を拝受した。



献血感謝状



献血褒状

事例

45

富山県

地域の防犯パトロール（株式会社 ミヤマサ建設）

ミヤマサ建設は、地域貢献の一環として、平成24年から砺波営業所がある砺波市柳瀬防犯組合に参加し、青色回転灯搭載車（同社所有パトロール車）を導入し、毎月20日防犯パトロール活動を行ってきた。また、当地域で行われる防犯活動へも積極的に参加している。

これらの経験を活かし、令和4年4月から、工事事務所のある富山市古沢地区防犯組合にも参加し防犯パトロール活動を開始した。毎月10日、当地域をパトロール車で巡回している。

また、古沢地区防犯組合と連携して地域開催の防犯イベントへの積極的に参加し、地域住民の方々とのコミュニケーションを図ることにより、地域に根差した事業所として活動している。



防犯パトロール活動



表彰新聞記事

事例
46

兵庫県

租税教室を通じ建設業の重要性を発信（株式会社 秋山組）

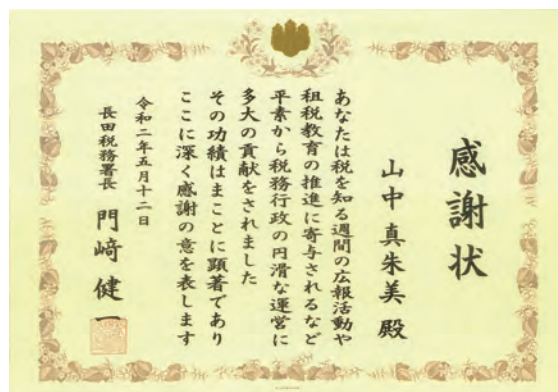
秋山組は、兵庫県神戸市・長田税務署からの依頼を受け、地元長田区内の小学校6年生の生徒を対象に令和元年から租税教室の講師を社員が務めている。

税金はなぜ必要なのか、どのような事に使われているのかを、施工している災害復旧工事や公共下水道工事の説明を交えて授業を行っている。

建設業の必要性や重要性について、建設業を身近に感じてもらえるように説明し、子どもだけでなく、先生をはじめ関係者の方々も大変興味深く話を聴いていただいております。令和5年は、2月9日に神戸市立駒ヶ林小学校で64人の生徒を対象に実施した。この取組に対し、令和2年に長田税務署長より感謝状をいただき、令和3年には大阪ガス株式会社より地域貢献表彰をいただいた。



神戸市立駒ヶ林小学校租税教室風景



令和2年感謝状

事例
47

愛知県

『自然観察会』を通じた次世代への自然環境教育（株式会社 加藤建設）

加藤建設では人と自然の共生を目指し、会社独自で取り組む環境配慮活動「エコミーティング」を2009年より推進している。自然との関りが希薄になりつつある昨今において、豊かな自然を未来に継承するためには、次世代の育成が不可欠である。

そこで、子供たちが自然と親しみ、生き物の魅力を感じ、自然環境の尊さについて学んで頂く“環境教育”の場を『自然観察会』という形で提供している。

＜なごや環境大学共育講座＞

NPO、企業、行政等が分野を越えて協働で運営する“なごや環境大学”共育講座の一環として本社のある愛知県海部郡蟹江町にて自然観察会を開催している。

【対象】保育園・幼稚園、小学生、中学生。親子が対象。

【内容】2017年より開始し、夏と冬の年2回、通算計10回実施している。

夏は昆虫採集や水辺の生き物観察、草木の紹介など。開催にあたっては、学生団体“命をつなくPROJECT”と連携し、学生が目線を取り入れた企画、運営を行っている。

冬は水辺に飛来する野鳥を双眼鏡で観察するバードウォッチングを開催。季節を感じられる内容を心がけ、参加者の方々にも満足していただいている。

＜小学校の課外授業＞

地域の小学生を自社ビオトープへ招き、自然と親しむ“課題授業”を開催している。

【対象】2年生39名、6年生41名。（2022年度実績）

【内容】2年生までは“春と秋の生き物探し”として年2回授業を行い、水辺、草地、森林の3つのエリアで生き物がどういった場所に生息しているのか、季節の違いによる生き物の変化などを学んでもらった。

秋には旬の木の実を用いて、児童一人一人がオリジナルの苗木を作成。

6年生には建設業による自然環境配慮への取り組みや生物多様性を高めるための工夫、また日常生活における自然との繋がりを伝えることにより、自らが環境について考え、行動するきっかけとなるよう心がけた。

陸の豊かさを守る役割のビオトープを通じて、子供たちへ質の高い環境教育を提供することができ、海や陸域の自然を守る将来の担い手づくりにも貢献できた活動であったと感じている。



なごや環境大学共育講座 バードウォッチング



苗木の作成

事例
48

青森県

作業服アップデートと交流会でのファッションショー（新4Kを目指して）

（青森県建設業協会青年部会東青支部）

1 建設業への若手層の入職促進策の一つとして、当会では平成30年より「高校等との交流会」開催や企業紹介「建設業者ガイドブック作成」等により“建設業の魅力発信”に取り組んでいます。そして今回、令和3年に始めた「建設業のイメージをアップデート」する試みを事業化した。

現状の作業服の課題を踏まえ「デザイン性が高い」「着たくなる」「便利な」「快適な」をキーワードに、新しい作業服をデザイナーの協力のもと、各会員によるワークショップを経て製作し、そのお披露目を地元高校生等を対象に行った。

地元の就職促進を図る上で「新3K（給与・休暇・希望）」は勿論大事だが、協会の若手と話して感じるのは物事の内容・本質はさておき、恰好や雰囲気など形にこだわる傾向がある様なので、あえて「新4K（感動・カッコいい・結構モデル・稼げる）」を目指して」をキーワードに、建設現場が魅力的なものになっていくための一つ的手段として「作業服アップデート」を試みたものである。

2 その作業服お披露目（ファッションショー）は、以前より“建設業の魅力発信”の一環で開催している「高校等との交流会」で行った。会場の席は、生徒が参加した全ての企業と対話ができるようにと各丸テーブルに1名着席する会員が10分交替で移動し、自己紹介～ポーズをとり作業服披露～ものづくりの魅力などを語り意見交換して盛り上げ、企業PRも行った。参加者からは盛んに喝采を浴び、アンケートでも楽しかった、各企業の良さも知って貴重な体験だった、との意見が多数で好評であった。

当日の写真などは冊子にして協会HP等で情報提供しており、高校、大学ほか県・市の東京事務所などには毎年配布している企業紹介集と併せて配布している。

3 今回の取り組みを振り返ると、目的は若手層の入職促進のためのイメージアップであるが、会員ワークショップによるデザイン検討を通じてお互いが共通の話題でコミュニケーションができたことや、社の服デザイン検討で社長以下みんな楽しく会話が弾んだ、などの声が聞こえてきたので、これも成果の一つと思っている。

今後も作業服の製作は継続し、さらに建設現場事務所の掲示板、休憩所スペース、トイレ等についても建設業のイメージをアップデートする試みに取り組んでいきたい。



作業服おしゃれ一新



建設業 新4K を PR

事例 49

和歌山県

建設業のイメージアップのために（有田建設業協会和歌山有田建有会）

地域の建設業は、地域の雇用を支え、自然災害等の発生時には危険を顧みず被災箇所の応急対応を行い、地域の安全・安心を守るなど地域を担う重要な産業であるが、若年人口が減少する中、建設業の就業者数の減少が大きな問題となっている。そのような中で、なんとかせなあかんと平成30年度に有田建設業協会に建設業に従事する後継者などで構成した「和歌山有田建有会」（青年部会）を設立した。

和歌山有田建有会では、建設業の後継者育成や地域を活性化するために毎年計画を立て建設業のイメージアップ活動やボランティア活動を実施している。

令和4年11月20日に、有田川町で開催されたイベント「第1回ありだがわ楽市」を共催し、来場した子供たちやその保護者に対し、建設業のイメージアップを図るため建設機械を使ったブースを出展した。建設機械を体験していただくことで、子ども達とその保護者の方は大変興味を示し、建設業の魅力を発信することが出来た。



建設機械を使ったボールすくい体験



建設機械で書いた文字の前で(建有会メンバー)

事例 50

栃木県

一級河川『永野川』災害復旧事業での広報活動（永野川改良復旧工事等安全協議会）

令和元年東日本台風19号に伴う豪雨により、特に被災の大きかった永野川の市街地区間では、5か所の堤防決壊により甚大な被害が発生した。このため栃木県では、被害の大きかった延長10.6kmの区間を「災害復旧助成事業」を国に申請し採択された。同一河川を工区が多数になり、多くの受注業者となることから、業者間の情報共有化や発注者からの情報の一元化を受けるため「永野川改良復旧工事等安全協議会」を設立した。協議会では、毎月定例的に発注者を含めて、現場代理人との打ち合わせをしており、市民へのPRとして、工事の進捗状況を掲載する【かわら版】を発行し、すでに3回発行している。

また、現場見学会として、堤防ウォーキングを2回開催し、多くの市民の参加をいただいた。さらに、ホームページを開設し、護岸工事の施工前、施工後の状況を閲覧できるようにし、河川の上空から、ドローンにより撮影しホームページへ掲載した。現場安全パトロールを実施して、現場代理人には他の現場のパトロールを通じて、参考になるようすでに8回実施している。

【未来に安心を】「永野川が変わる」「強くなる永野川」を合言葉に協議会一丸となり完了まで事故なく進んでいきたい。



事例
51

滋賀県

現場見学会や試乗体験の日常的な開催、SNS・メディアを活用した広報活動

(有限会社 竜王興産)

竜王興産では、近隣保育園やこども園を対象に現場見学会や重機の試乗体験を継続的に行っている。また、工事現場に重機試乗体験を募集する、オリジナルの看板を設置し、いつでも試乗体験できるような体制を整えている。

また、同社施工工事（橋撤去、杭基礎工）のタイムラプス動画をSNSで掲載し、担い手確保を目指し情報発信も行っている。



日常的な重機試乗体験実施状況



重機試乗体験募集看板の設置状況

事例 52

栃木県

フォトコンテスト(Instagram) (一般社団法人 栃木県建設業協会)

栃木県建設業協会では、創立100周年を迎え、若者に人気のSNS「Instagram」にてフォトコンテストを開催した。青少年から高齢者までの幅広い世代から、予想を遙かに上回る約6,000名以上から応募があり、協会の100年の歴史と建設業の魅力・やりがいを広く県民に発信した。

また、100周年を機に様々な広報活動を行い、次の100年に向け建設業のイメージアップを図った。

◆シンボルマークの刷新・地元新聞への広告掲載

創立100周年を機に、シンボルマークを刷新。栃木 (Tochigi) の「T」、建設 (Construction) の「C」の間に、古来の建築にまつわる「千木」をモチーフに交差する形状をアルファベットの「X=Trance (変える・超える)」に見立てたロゴとした。また、これを活用し「次の100年へさらなる「進化」を目指して」とした新聞広告を掲載した。



シンボルマークを刷新

◆足場シート・仮囲いのペイントを施工現場に設置

創立100周年の足場シートと仮囲いのペイントデザインを会員企業へ頒布し、会員企業の施工現場等に設置。一般の方々に建設業の活動について、イラストを通じて目に触れ感じて頂くよう魅力発信を行った。



施工現場に設置しPR

◆42年ぶりに開催された国体にて建設業のPR活動

令和4年10月に、栃木県で42年ぶりに開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 (国体・障スポ)」において、専用ブースを設置し、建設業の魅力をPRすべく、会員企業施工の会場施設写真入り「缶キャップ」の配布や、栃木県の“ゆるキャラ”「とちまる君」と建設作業員がコラボレーションした顔抜き特設パネルを設置し、来場者の記念に残る写真撮影ブースを設けた。



思い出に残る記念撮影

◆「建FESGO」～建設のお仕事体験～

令和4年11月27日、宇都宮市 道場宿緑地公園にて「建FESGO！～建設のお仕事体験～」を開催。職業体験や重機試乗等を行った。小学生、保護者の皆様方など延べ4,000名の参加者に建設業の楽しさや重要性への理解を深めていただき、将来一人でも多くの子どもたちが建設業に入職してくれることを目的として実施した。



重機に試乗

事例
53

岡山県

写真集の発刊ならびに写真展の開催（蜂谷工業 株式会社）

災害復旧、日常生活を支える学校や病院の建築、道路や橋梁などの社会基盤整備など、我々建設業の仕事は地域社会の発展になくてはならない仕事である。しかしその仕事ぶりは多くの人の目にふれるものではないのが現状である。今回の写真集発刊や写真展の開催は、われわれ地域建設業のありのままの姿を知ってほしい、建設現場でどんな笑顔が飛び交い、どれほど真剣な眼差しにあふれているかを一人でも多くの方に見ていただきたい、そのような思いから蜂谷工業が企画したものである。写真集の発刊ならびに写真展の開催が地域建設業に対する理解や、イメージアップの一助になると確信している。



トークイベントも開催



ギャラリーにて写真展を開催



書店にて販売



50点の作品を展示

誰かの記憶に残る カタチをつくりたい！



豊かな社会を創造し、
地域とともに歩む建設業を目指して

社会から愛される企業になろう

価値あるものをつくれる企業になろう

ルールやプロセスを大切にする企業になろう

一般社団法人 全国建設業協会／47都道府県建設業協会

最近、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たすことが求められており、経済的利益を追求するのみではなく、法令順守、環境、社会貢献など幅広い分野で社会的責任を重視し、企業の持続的発展を図ることが重要です。

全国建設業協会では建設業が果たすべき役割と重要性を再認識するため、ポスターを活用してCSR活動を推進しています。

都道府県建設業協会・支部、 地区協会が実施した活動



3. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した その他社会貢献活動

(実施期間：2022年11月～2023年10月)

北海道

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
令和4年度建設産業ふれあい展（主催：北海道、札幌市） （北海道建設業協会）	1月7日～8日	札幌駅前地下歩行空間	847人
第44回建設産業交通安全全道大会（北海道建設業協会）	9月27日	札幌市（ホテル札幌ガーデンパレス）	393人
「建設産業ふれあい展」へ参加 ICT施工機器の紹介コーナーへの出展 （主催：北海道） （札幌建設業協会）	1月8日	札幌駅前地下歩道空間	10,534人
「札幌協の日」530（ゴミゼロ）クリーンアップ事業及び交通安全街頭啓発活動 毎年5月30日を「札幌協の日」と定めていることから、530（ゴミゼロ）にちなんで、ゴミ清掃活動を実施するとともに、 交通安全運動街頭啓発活動を実施（札幌建設業協会）	5月30日	道庁赤レンガ前庭、北海道建設会館周辺、札幌市中央区	105人
現場見学会（高校生対象） 札幌工業高校 土木科2年生（札幌建設業協会）	7月14日	・北海道新幹線札幌トンネル（銭函）（鉄道建設・運輸施設整備支援機構発注） ・屯田・茨戸通仮称東屯田川橋（下部工）新設工事（その）（札幌市発注）	54人
夏休み親子現場見学会 （主催：札幌建青会）（共催：札幌建設業協会）	8月7日	山本通山本跨線橋下部工新設工事（札幌市発注）	36人
現場見学会（大学生対象） 北海学園大学 工学部 社会環境工学科2年生 （札幌建設業協会、札幌市）	9月15日	・山本通山本跨線橋下部工新設工事（札幌市発注） ・屯田・茨戸通（屯田東工区）道路新設工事（札幌市発注）	19人
交通安全運動街頭啓発（札幌建設業協会）	9月27日	札幌市中央区北1条西6丁目	98人
現場見学会（大学生対象） 北海道科学大学 工学部 都市環境学科2年生 （札幌建設業協会、札幌市）	9月28日	・屯田・茨戸通（屯田西工区）屯田みどり橋架換工事（札幌市発注） ・屯田・茨戸通（屯田東工区）道路新設工事（札幌市発注） ・北海道新幹線札幌トンネル（桑園工区）（鉄道建設・運輸施設整備支援機構） ・エルムの森公園流域貯留施設整備工事（札幌市発注）	41人
現場見学会（保護者対象） 札幌工業高校 保護者（札幌建設業協会、北海道開発局）	9月29日	道央圏連絡道路南幌町南13線改良工事（北海道開発局発注）	20人
現場見学会（高校生対象） 札幌工業高校 建築科2年生（札幌建設業協会）	10月27日	・山の手小学校改築工事ほか工事（札幌市発注）	78人
高校生の建設現場見学会 ・北海道函館工業高等学校 建築科2年生 ・北海道函館工業高等学校 環境土木科1年生 （函館建設業協会）	10月12日 10月19日	（仮称）高橋病院移転新築工事現場 北海道新幹線 市渡高架橋工事現場	43人 42人
函館建設業協会建築委員と高校生との意見交換会 ・北海道函館工業高等学校 建築科2年生（函館建設業協会）	10月12日	函館建設業協会 講堂	43人
苫小牧工業高等学校（土木科1年生）工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	9月15日	・日高自動車道新冠町 神山川橋上部工事 ・日高自動車道新冠町 高江改良工事 ・苫小牧港東港区浜厚真複合一貫輸送ターミナル整備事業	53人
建設産業安全大会（室蘭建設業協会）	9月22日	室蘭建設会館	147人
日本工学院北海道専門学校 工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	10月10日	・樽前山火山砂防事業（熊の沢川1号堰堤） ・追直漁港（屋根施設を兼ね備えた岸壁改良事業）	
安全パトロール（室蘭建設業協会）	10月12日	・北進平取線外防交差交付金B（防災）工事外 ・厚真川水系チケッペ川補償道路外工事 ・樽前山火山砂防工事の内 熊の沢川1号砂防堰堤建設外工事	9人
室蘭工業高等学校（建築科）工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	10月17日	・消防本部新庁舎建設（1・2工区建築主体）工事 ・西いぶり広域連合 新中間処理施設建設工事	41人
苫小牧工業高等学校（建築科）工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	10月19日	・令和4年度日新団地市営住宅2号棟（3F24戸）新築主体工事 ・苫小牧市道営住宅新築工事（植苗中央団地D）	51人
室蘭工業高等学校（土木科）工事現場見学会 （室蘭建設業協会）	10月31日	・樽前山火山砂防事業熊の沢1号堰堤 ・追直漁港	24人
北海道倶知安農業高等学校 現場見学会 生産科学科2年生（小樽建設協会 建世会）	7月4日	・ニセコ地区光栄工区区画整理工事	33人
高速道路体験バスツアー2023 後志管内小学校5・6年生（小樽建設協会 建世会）	8月26日	・仁木町 仁木トンネル工事現場 ・余市町 登川地区工事現場	72人
小樽未来創造高等学校 現場見学会 建設システム科1年生（小樽建設協会）	10月16日	・一般国道5号 仁木町 仁木トンネル工事 ・一般国道5号 仁木町 仁木除雪ステーション車庫外新築工事	34人
お仕事体験イベント 「そうだ！体験しよう けんせつのおしごと 2023」 （小樽建設協会 建世会）	8月19日	・倶知安町世代交流センター	約200人来場
地域創生フォーラムXVII（空知建設業協会）	11月15日	岩見沢市民会館 大ホール	220人
建設工事現場見学会（空知建設業協会）	10月13日	①ポントネ川（岩見沢市） ②馬追橋（栗山町） ③道央圏連絡道路（長沼町）	34人
高校生の建設現場見学会（留萌開発建設部との共催） 留萌高校 電気・建築科2年生（留萌建設協会）	10月5日	一般国道239号 苫前町 苫前トンネル工事（苫前町） 留萌港湾施設（留萌市）	総勢 17人
旭川育児院 一ヶ月早いクリスマス（二世会所管） （恵まれない子供に対し希望をと、ケーキとプレゼントを渡している） （旭川建設業協会）	11月25日	旭川育児院を訪問	73人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
酸素欠乏特別講習会（道協会との共催） ①旭川工業高校：土木科2年生	12月9日	旭川工業高校：土木科	生徒 40人 教師 2人
②旭川工業高校：建築科2年生（旭川建設業協会）	12月8日	旭川工業高校：建築科	生徒 38人 教師 2人
旭川冬まつりの会場内に高所作業車の試乗体験コーナーを稼働（「北のけんせつ担い手確保」育成会議との共催）（旭川建設業協会）	2月10日～12日	石狩川河川敷	1日当たり 900人が利用
第91回北海道音楽大行進のスタッフとしての参加及び資材の提供（アフターコンサートの警備他、資材はセーフティコーン・コンバーの提供）（旭川建設業協会）	6月3日～4日	市内買い物公園通りの7つの会場	13社34人
旭川工業高校：建築科の現場見学会 ①建築科3年生	6月2日	旭川市総合庁舎建替新築工事・第2豊岡団地建替新築工事	生徒 40人 教師 3人
②建築科1年生（旭川建設業協会）	8月28日	旭川市リサイクルセンター新築工事	生徒 39人 教師 3人
旭川工業高校：土木課の現場見学会（「北のけんせつ担い手」育成会議と共催） ①土木科2年生 ②土木科1年生（旭川建設業協会）	9月1日	①愛別ダム②鷹栖東神楽線上難波田橋	生徒 37人 教師 4人
	9月6日	①愛別ダム②ツインハープ橋	生徒 35人 教師 3人
小学校の現場見学会（「北のけんせつ担い手」育成会議と共催） ①旭川市立知新小学校6年生と富沢小学校5・6年生合同の見学会	7月18日	旭川市土木事業所	生徒 49人 保護者 3人 教師 6人
②富良野市立扇山小学校6年生（富良野建協と共催）	8月29日	旭川十勝道路 富良野市 日進改良工事	生徒 43人 教師 5人 保護者 1人
③人寄市立人寄東小学校6年生（人寄建協と共催）	9月19日	豊栄川上流遊水地、北海道縦貫自動車道	生徒 29人 教師 3人
④旭川市立永山西小学校5年生（旭川建設業協会）	9月21日	石狩川東鷹栖地区河岸保護工事	生徒 74人 教師 6人 保護者 3人
コンストラクション甲子園 上川地区予選の開催（二世会所管）（旭川建設業協会）	10月14日	旭川建設会館4階大会議室	高校生24チーム 48人の参加
路線バス（道北バス）で交通安全の用語を車内で放送（旭川建設業協会） 車内で当協会近くのバス停車前に1日440回の放送を実施 防災出前講座の開催（二世会所管） ① 人寄産業高校	1年間毎日		
② 美深高校	5月24日	人寄産業高校 全校生徒	生徒 63人 二世会 19人
③ 旭川実業高校	9月22日	美深高校 全校生徒	生徒 70人 二世会 20人
④ 富良野緑峰高校（旭川建設業協会）	10月18日	旭川実業高校 機械システム科1年	生徒 28人 二世会 20人
	10月20日	富良野緑峰高校 1年生	生徒 44人 二世会 17人
就業体験（インターンシップ）の受け入れ 帯広工業高等学校環境土木科2年生（帯広建設業協会）	9月7日～9日	会員企業18社が施工する各建設現場	18人 (1企業1人)
就業体験（インターンシップ）の受け入れ 帯広工業高等学校建築科2年生（帯広建設業協会）	9月6日～8日	会員企業9社が施工する各建設現場	19人
高校生の建設現場見学会 帯広工業高等学校建築科2年生 帯広高等技術専門学院建築科1,2年生（帯広建設業協会）	10月23日	ホクレン十勝地区家畜市場新築移転工事、帯広大谷高等学校校舎改築及び改修工事	生徒 44人 教諭 7人 事務局等10人
高校生の建設現場見学会 帯広工業高等学校環境土木科1年生 帯広農業高等学校農業土木科2年生（帯広建設業協会）	9月5日	十勝エコロジーパーク水景施設外補修工事、十勝川直轄砂防事業の内戸鳶別川第1号砂防堰堤外工事	生徒 75人 教諭 4人 事務局等12人
けんせつ体験フェスタ2023（釧路建設業協会）	9月23日	イオンモール釧路昭和	約1,500人
輸送繁忙期交通安全大会（釧路建設業協会）	10月3日	釧路センチュリーキャッスルホテル	200人
釧路工業高校現場見学会（釧路建設業協会）	10月23日	北海道横断自動車道阿寒～釧路西	27人
令和5年度オホーツク管内建設産業安全大会（（一社）網走建設業協会・建災防北海道支部北見分会・網走地方建設業団体連絡協議会）（網走建設業協会）	4月11日	北見芸術文化ホール 音楽ホール	138人
第19回オホーツク二建会旗兼第20回全道少年U-10サッカー北北海道大会オホーツク地区予選大会（オホーツク二建会）（網走建設業協会）	6月17日～18日	網走市呼人トレーニング フィールド	200人
網走建設管理部と連携して行う北海道北見工業高等学校建設科1年生建設現場見学会（網走建設管理部・（一社）網走建設業協会）（網走建設業協会）	9月1日	網走建設管理部 北見出張所管内事業箇所	47人
北海道北見工業高校建設科1年生へ建設基礎講話（オホーツク二建会）（網走建設業協会）	10月20日	北海道北見工業高等学校	31人
キャリア支援講座（キャリアデザイン科2,3年生）（宗谷建設青年会）（稚内建設協会）	1月27日	育英館大学	17人
現場見学会（稚内南小学校6年生）（宗谷建設青年会）（稚内建設協会）	4月12日	稚内しんきん南支店 移転新築工事現場	57人
出前講座（稚内高校普通科・商業科1年生）（宗谷建設青年会）（稚内建設協会）	9月26日	稚内高等学校	119人
出前講座（稚内大谷高校普通科2年生） 稚内大谷高校普通科2年生（宗谷建設青年会）（稚内建設協会）	10月13日	稚内大谷高等学校	83人

青森県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 県立むつ工業高校 設備・エネルギー科 2年生 県立十和田工業高校 建築科 1年生 県立十和田工業高校 建築科 2年生 (上北支部)	9月5日 10月26日 10月26日	風間浦村街道添 入江橋付近他 七戸町総合アリーナ (仮称) 新築工事現場他 十和田済誠会病院移転新築工事現場他	18人 33人 28人
高校生と若手技術者との意見交換会 (県土整備部との共催) 県立十和田工業高校 建築科 1年生	10月26日	サン・ロイヤルとわだ	37人
体験型現場学習会 (青森河川国道事務所との共催) つがる市立稲垣中学校 3年生 青森県立七戸養護学校	9月14日 10月17日	稲垣中学校七戸養護学校	35人 21人
青森県の建設業元気応援プロジェクト展 (青森県建築士会青森支部との共催)	9月16日～17日	青森県観光物産館アスパム	716人
地元建設業と高校生等との交流会 (東青支部) 首都圏大学生との交流会 (東青支部)	9月15日 9月29日	ホテル青森東京交通会館	164人 28人
MGF (むつグラマラスフェスティバル) 2023への出展 (下北支部)	10月14日～15日	しもきた克雪ドーム	18,000人

岩手県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 一関工業高等学校 土木科 2年生	9月7日	主要地方道水沢米里線館山地区 道路災害防除ブロック (その4) 工事	41人
高校生の建設現場見学会 黒沢尻工業高等学校 土木科 2年生	9月12日	主要地方道花巻大曲線 (仮称) 小倉 山トンネル舗装工事 川舟トンネル非常用設備工事 川舟トンネル照明設備工事	28人
高校生の建設現場見学会 盛岡工業高等学校 建築・デザイン科 1年生	9月28日	岩手日野自動車本社・盛岡支店 移転建設プロジェクト	46人
高校生の建設現場見学会 久慈工業高等学校 建設環境科 1・2年生	10月4日	普代村新魚市場整備事業工事 主要地方道岩泉平井賀普代線 太田名部トンネル補修工事	17人
高校生の建設現場見学会 水沢工業高等学校 インテリア科 3年生	10月16日	(仮称) いさわこども園建築工事	
高校生の建設現場見学会 花巻農業高等学校 環境科学科 2年生	10月20日	農村地域防災減災事業 後藤・横川目地区	32人
高校生の建設現場見学会 種市高等学校 海洋開発科 2年生	10月31日	久慈港湾防波堤整備事業	24人
高校生の建設現場見学会 盛岡工業高等学校 土木科 1年生	R5年11月22日	国道46号 盛岡西バイパス西大橋 整備工事	24人
短大生の建設現場見学会 二戸高等技術専門校 建築科 1・2年生	10月13日	葛巻町立五日市保育園整備工事	20人
短大生の建設現場見学会 産業技術短期大学校水沢校 建築設備科 1年生	10月18日	道の駅もりおか渋民建設工事	19人
短大生の建設現場見学会 産業技術短期大学校矢巾校 建築科 1・2年生	10月26日	(仮称) TDKエレクトロニクス ファクトリーズ北上村崎野社員寮整備計画	53人
2級土木・建築施工管理技術 (第一次検定) 受験準備講習会 ・工業高校 7校 8科 ・短大等 2校	5月17日 9月26日～10月19日	前期: 盛岡工業高校建築デザイン科 後期: 工業高校 7校、短大等 2校	200人
土木・建築施工管理技術検定試験受験に係るバス運行費用の助成 ・工業高校 6校 ・短大等 2校	土木 10月22日 建築 11月12日	試験地 土木 仙台、青森 建築 盛岡	10台
2級土木・建築施工管理技術 (第一次検定) 受験料半額助成 ・工業高校 6校 ・短大等 2校	土木 10月22日 建築 11月12日	試験地 土木 仙台、青森 建築 盛岡	200人
いわて建設業みらいフォーラムの開催 岩手県内の高校生を招待し、建設業の役割や魅力を発信する	11月21日	トーサイクラシックホール岩手	300人
C級会盛岡市内丸地区落葉清掃 (盛岡支部)	11月5日 11月12日 11月19日	国道106号 (盛岡市内丸)	参加企業 26社154人
地元就職ガイドブック作成及び配布 支部管内の国・県・市町・大学・短大・各種学校 高校・中学校等に配布 (2,000部作成) (盛岡支部)	R4年11月～ R5年4月	建設会館会議室	作成委員会 委員 11人
献血運動 (盛岡支部)	R4年12月～ R5年9月	盛岡管内献血場所 (ルーム及びバス)	献血者106人
盛岡工業高校生の合同就職説明会 (盛岡支部)	2月21日	盛岡グランドホテル	支部会員 30社 盛岡工業高校 土木科 24人 建築・デザイン科35人
北上川流域一斉清掃 (盛岡支部)	4月15日	北上川、雫石川、中津川等清掃	51社 282人
ふれあい事業 (青年部) 重機試乗体験等 (盛岡支部)	6月6日	日詰小学校	生徒 83人
B・C級会災害調査 (盛岡支部)	6月1日～30日	盛岡支部管内の道路・河川	盛岡土木管内 47人 岩手土木センター管内 32人
中学生体験学習 重機試乗体験等 (盛岡支部)	7月5日 9月5日 10月30日	盛岡市立玉山中学校 盛岡市立大宮中学校 盛岡市立土淵中学校	生徒 5人 生徒 33人 生徒 61人
B級会道路清掃 (盛岡支部)	7月28日	国道396号	34社 109人
イベント「森と湖in綱取」2023 (盛岡支部)	7月28日	綱取ダム	青年部 29人 女性協議会5人

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
「道の日」清掃活動	(盛岡支部)	8月1日～31日	支部管内の行動、県道、市町村道	91社 481人
教材提供 (常温合材、柱材)	(盛岡支部)	8月18日	盛岡工業高校	支部 2人 教師・生徒 4人
高校生インターンシップ	(盛岡支部)	10月3日～5日	支部会員事務所、現場	支部会員36社 生徒 77人
盛岡工業高校「匠祭」 重機試乗体験等	(盛岡支部)	10月14日～15日	イオンモール盛岡	支部会員延50人 一般入場者数1,901人
C級会盛岡市内丸地区落葉清掃	(盛岡支部)	10月28日	国道106号(盛岡市内丸)	支部会員30人
北上川流域清掃活動	(花巻支部)	4月13日	北上川朝日橋・豊沢川豊沢橋周辺	69人
建設業ふれあい事業(花巻市立新堀小学校)	(花巻支部)	6月6日	花巻市 新堀小学校	生徒(4・5・6年生)33人 青年部会 27人 女性協議会 4人
建設業ふれあい事業(花巻市立湯本中学校)	(花巻支部)	7月10日	花巻市 湯本中学校	生徒(2年生)29人 青年部会28人 女性協議会4人
「道の日」関連道路清掃活動	(花巻支部)	8月8日	花巻市内5地区(旧花巻市町ごと) 市道及びその周辺	78人
「空の日」関連空港周辺道路清掃活動	(花巻支部)	9月22日	花巻空港周辺県道	68人
インターンシップ受け入れ事業(花巻農業高等学校)	(花巻支部)	10月3日～5日	会員事業所7社	2年生 12人
インターンシップ受け入れ事業(黒沢尻工業高等学校)	(花巻支部)	10月2日～6日	会員事業所9社	2年生 9人
高校生建設業技術野外実習(花巻農業高等学校)(花巻支部)	(花巻支部)	10月12日	花巻市 花巻農業高等学校	生徒(2年生)24人 青年部会27人
国道340号線環境美化(遠野かっぱロード清掃活動)(遠野支部)	(遠野支部)	3月10日	国道340号土淵バイパス	21人
国道283号線環境美化(花壇への花植栽、清掃活動)(遠野支部)	(遠野支部)	6月9日、10月26日	国道283号遠野バイパス 角鼻展望台	24人×2回 48人
1級河川早瀬川環境美化 草刈り、ごみ拾い	(遠野支部)	8月3日	上早瀬橋上・下流	51人
社会福祉活動 福祉施設へのタオル地ふきんの贈呈	(遠野支部)	10月17日	遠野市社会福祉協議会	24人
ふれあい事業	(遠野支部)	10月25日	遠野市立遠野東中学校	46人
イメージアップ・広報活動 遠野かっぱ工事隊保育園訪問活動	(遠野支部)	2月3日	土淵保育園	31人
イメージアップ・広報活動 遠野かっぱ工事隊わらすっこまつり参加	(遠野支部)	10月7日	遠野市民センター	150人
社会貢献活動 森と湖に親しむ旬間「遠野第2ダムの集い」	(遠野支部)	7月29日	遠野第2ダム	56人
除雪ボランティア活動	(北上支部)	2月4日	市内59世帯	192人
建設業説明会	(北上支部)	2月8日	専修大学北上高等学校	10人
北上川河川敷清掃活動	(北上支部)	4月13日	北上川左岸展勝地桜並木下流 1.5km	68人
献血協力活動	(北上支部)	6月9日	岩手県建設業協会北上支部会館	38人
アドプト活動(用水路の草刈及び清掃活動)	(北上支部)	6月28日	下堰幹線用水路 1.8km	67人
「道の日」道路清掃ボランティア活動	(北上支部)	7月26日	県道北上停車場線 市道北上駅鍛冶町線 1.2km	53人
高校生インターンシップ受入 黒沢尻工業高校土木科2年生	(北上支部)	10月2日～6日	会員企業8社	9人
女性協議会北上支部「ランフェスキタカミ」への協力	(北上支部)	10月8日	北上市内 (北上展勝地 給水所)	8人
建設業ふれあい事業	(北上支部)	10月18日	北上市立東桜小学校	32人
和賀川河川敷清掃活動	(北上支部)	10月27日	和賀川河川敷	62人
水沢公園清掃活動	(奥州支部)	11月21日	水沢公園	4人
北上川流域清掃活動	(奥州支部)	4月20日	金ヶ崎町、奥州市水沢・前沢の 北上川流域3km	113人
献血協力活動	(奥州支部)	6月15日	ユニバース水沢日高店	8人
建設業ふれあい事業	(奥州支部)	6月11日	JR水沢駅前通り	8人
建設業ふれあい事業 奥州市立前沢中学校1年生121人	(奥州支部)	7月5日	奥州市立前沢中学校	20人
建設業ふれあい事業 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校2年生126人	(奥州支部)	7月6日	金ヶ崎町立金ヶ崎中学校	17人
クリーンロード作戦	(奥州支部)	8月2日	県管理道路チェーン脱着場8箇所	20人
災害時情報伝達訓練	(奥州支部)	8月9日	奥州支部会議室	51人
建設業ふれあい事業	(奥州支部)	9月18日	水沢駅前通り	5人
建設業ふれあい事業	(奥州支部)	9月18日	水沢駅前通り	12人
高校生インターンシップ受入 黒沢尻工業高等学校土木科2年生2人	(奥州支部)	10月2日～6日	会員企業2社	2人
高校生インターンシップ受入 水沢工業高等学校インテリア科2年生16人	(奥州支部)	10月3日～5日	会員企業8社	8人
重要文化的景観地区内の「秋季水路整備」	(一関支部)	11月19日	一関市厳美町(骨寺村荘園遺跡内)	65人
社会福祉施設「第2ブナの木園」クリスマスプレゼント	(一関支部)	12月5日	市内 社会福祉施設	7人
重要文化的景観地区内の「春季水路整備」	(一関支部)	4月15日	一関市厳美町(骨寺村荘園遺跡内)	50人
「地域産業講座」県立一関工業高校2年生①	(一関支部)	6月14日	県立一関工業高等学校	2人
「地域産業講座」県立一関工業高校2年生②	(一関支部)	9月13日	県立一関工業高等学校	2人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
一級河川吸川放水路共同清掃活動 (一関支部)	6月12日	市内 (一級河川吸川放水路放流口)	20人
災害時に基づく情報伝達訓練 (一関支部)	6月14日	支部会館	40人
あじさい観光道路整備草刈り (県道沿い) (一関支部)	6月21日	県道相川平泉線	85人
「黄金ロードふれあい作戦」道の日清掃活動 (一関支部)	8月9日	国道284号線 (工業団地)、平泉町内、 国道342号線 (花泉町) 3か所 約13.0km	30人
献血協力 (赤十字) (一関支部)	10月11日	支部会館	26人
インターンシップ事業 (県立一関工業高等学校) (各社受入れ生徒2〜4名) (一関支部)	10月2日〜6日	会員9社	
建設業ふれあい事業 (一関支部)	9月26日	一関市立赤荻小学校	24人
「住宅祭2023」(主催:市実行委員会) 建設機械ふれあいコーナー (一関支部)	10月28日〜29日	市総合体育館	28人
国道284号線クリーン作戦 (千厩支部)	6月21日	国道284号線25km	30人
国道343.456号クリーン作戦 (千厩支部)	7月13日	国道343.456号線15km	29人
災害情報伝達合同訓練 (千厩支部)	8月4日	一関市内	34人
「道の日」清掃活動 (千厩支部)	8月8日	道の駅かわさき周辺道路 道の駅むろね周辺道路 ひがしやま季節館周辺道路	41人
建設業ふれあい事業 (千厩支部)	9月5日	一関市立東山小学校	31人
放課後等デイサービス施設ガラス清掃 (千厩支部)	9月27日	リトルピース	15人
「建設業ボランティアの日」ゴミ拾い活動 【大船渡支部】 (大船渡支部)	7月3日	国道107号 盛川堤防両側 県道大船渡綾里三陸線 アップルロード	225人
第1回クリーンキャンペーン (草取り作業) 【女性協議会】 (大船渡支部)	7月27日	陸前高田市民文化会館付近 (市道駅通り線)	15人
第2回クリーンキャンペーン (草取り作業) 【女性協議会】 (大船渡支部)	9月26日	大船渡市防災観光交流センター	15人
ふれあいウィーク【青年部】 (体験型学習及び重機体験) (大船渡支部)	9月27日	陸前高田市立高田第一中学校1学年	94人
献血協力活動 (釜石支部)	5月15日	釜石市鈴子町	釜石支部会員37人
恋の峠公園線草刈清掃 (釜石支部)	8月2日	釜石市鶴住居町	青年部会員29人
青葉公園草刈清掃 (釜石支部)	10月6日	釜石市大町	女性協議会会員20人
建設業ふれあい事業 (釜石支部)	10月31日	釜石市立鶴住居小学校	1年生児童 26人 青年部会員 23人 青年部協賛企業9人
道路パトロール・清掃活動 (宮古支部)	3月15日	宮古市山口小学校通学路	8人
令和5年度道の日クリーン作戦 (宮古支部)	6月28日	国道106号線	92人
建設業ふれあい事業 (宮古支部)	7月18日	宮古市立川井中学校	58人
道の日in宮古 (宮古支部)	8月7日	うみどり公園〜宮古消防署	支部会員31人
宮古市総合防災訓練 (宮古支部)	8月27日	花輪中学校	600人
みやこ秋祭り出店 (宮古支部)	9月16日・17日	まつり広場	15人
道路愛護活動 (花壇整備) (岩泉支部)	6月29日〜11月7日	一般国道340号岩泉町裏綿地内	植栽時 23人
道の日清掃活動 (岩泉支部)	8月10日	一般国道455号道の駅いわいずみ付近	15人
建設業ふれあい事業 (岩泉支部)	8月30日	岩泉町立岩泉中学校	16人
海の日事業 (岩泉支部)	7月19日	机浜海水浴場	15人
北さんりく花のポケットパークづくり (清掃活動) (久慈支部)	11月9日	国道395号久慈市夏井町交差点 〜道の駅おおの間約15km	38人
野田漁港清掃活動 (久慈支部)	11月25日	野田村野田漁港周辺	29人
北さんりく花のポケットパークづくり (プランター設置) (久慈支部)	4月30日	国道395号 道の駅おおの 国道281号 やまがた道の駅	13人
全国交通安全運動街頭啓発活動 (久慈支部)	5月15日・9月21日	久慈市荒町交差点	1人
建設業ふれあい事業 (久慈支部)	6月29日	洋野町立宿戸小学校	35人
河川敷草刈り事業 (久慈支部)	8月2日	久慈川河川敷 久慈橋〜川崎大橋右岸	58人
長内川かわまつりへの協力 (久慈支部)	8月5日・6日	久慈市長内川新街橋付近河川敷	35人
支部地域貢献活動 (待避所等の道路清掃活動) (二戸支部)	11月2日	管内8路線	38人
管内学校へハンドソープ寄贈 (二戸支部)	4月7日	二戸・一戸・軽米・九戸各教育委員会	2人(女性協議会)
北の道クリーンキャンペーン (道路清掃活動) (二戸支部)	8月3日	県道二戸一戸線	34人(青年部)
建設業ふれあい事業 (二戸支部)	9月13日	軽米町立晴山小学校	全校生徒55人 青年部 32人 女性協議会3人

宮城県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血推進活動	4月11日〜12月13日	宮城県建設産業会館 仙南建設会館、岩沼市役所 大崎建設産業会館 栗原建設会館 (株)登米建設会館 宮城県建設業協会石巻支部 はまなすの館 外	800人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会、現場実習、インターンシップ、支部における一般向けの現場等見学会及び中学生における体験型現場見学会 【高校生】 仙台工業高校土木科2年生、仙台工業高校建築科2年生（仙建協） 柴田農林高校森林環境科3年生、白石工業高校建築科2年生（仙南、名亘支部合同開催） 小牛田農林高校農業技術科2年生 古川工業高校土木情報科2年生（大崎支部） 石巻工業高校土木システム科2年生（石巻支部） 気仙沼向洋高校機械技術科2年生（気仙沼支部） 【中学生】 仙台市立松陵中学校2年生 仙台市立第一中学校2年生 仙台市立第二中学校2年生 令和5年度夏休み小学生と保護者の建設現場見学会	6月21日～11月30日 7月25日 8月8日 8月9日	【高校生】 ・仙建協会企業9現場 ・雉子尾川排水樋門本体工事 ・国道349号丸森第3号トンネル工事 ・令和5年度岩沼市保健センター長寿命化外部改修工事 ・神明南雨水ポンプ場建設工事（その2）RC建築工事現場 ・大崎支部会員企業13現場 ・石巻支部会員企業10現場 ・(株)小野良組、(株)クマケー建設、茂木建設(株)現場 ・町道女川出島線出島架橋本体工事 【中学生】 ・コマツIoTセンタ東北 ・仙建協会企業6社で対応 ・松川火山砂防工事 ・宮城県水産センター「閉鎖循環式陸上養殖研究施設新築工事」 ・町道女川出島線出島架橋本体工事	230人 小学生13人 保護者12人 小学生16人 保護者11人 小学生10人 保護者10人 協会ブース 約350人 全体来場者は、2日間で24,500人 約6,000人 80人 約3,000人 8チーム 約100人参加
みやぎ超元気まつり2023	8月5日～6日	夢メッセみやぎ	
令和5年度みやぎ建設ふれあいまつり	11月3日	・宮城県行政庁舎前駐車場（宮城県庁前）	約6,000人
全国建設青年の日制定事業（清掃活動）	10月4日	・宮城県宮城郡利府町宮城スタジアム付近の県道260号線、270号線	80人
東日本大震災復興支援令和5年度夏巡業大相撲仙台場所（協会協賛）	8月6日	本山製作所青葉アリーナ（青葉体育館）	約3,000人
第1回けんせつカップ（宮城県建設業協会名亘支部主催（協会協賛）	9月16日	鳥の海公園サッカー場	8チーム 約100人参加

秋田県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
けんせつ未来フェスタ（秋田県主催）へブース2出展	10月7日	イオンモール秋田第7駐車場	来場者2,000人
高校生の現場見学会：秋田工業高校建築科1年生	11月8日	住宅資料館、総合住宅展示場	34人
高専生の現場見学会：秋田工業高等専門学校3年生	5月19日	五城目町地域活性化支援センター 他	45人
高校生の現場見学会：西目高校土木系1・2年生	10月6日	新ゴミ処理施設整備事業、ドッグラン建設工事、河袋地区道路改良工事	17人
高校生の現場見学会：由利工業高校建築科2年生	10月17日	矢島小学校改築現場、子吉川河道掘削工事	31人
高校生の現場見学会：金足農業高校環境土木科3年生	10月30日	雄物川激甚災害工事、成瀬ダム建設工事	30人
高校生の現場見学会：秋田工業高校土木科3年生	10月31日	成瀬ダム建設工事	35人
高校生の現場見学会：男鹿工業高等学校1年生（秋田中央支部）	9月	秋田管内（工事施工箇所、県管理施設）	25人
高校生の現場見学会：金足農業高等学校1年生（秋田中央支部）	9月	秋田管内（工事施工箇所、県管理施設）	30人
高校生の現場見学会：秋田工業高等学校土木科1年生、建築科2年生（秋田中央支部）	9月	秋田管内 工事施工箇所及び県管理施設	土木科1年生34人 建築科2年生34人
インターンシップ受入：秋田工業高校土木科2年生（秋田中央支部）	9月	各建設企業	20人
インターンシップ受入：秋田工業高校建築科2年生（秋田中央支部）	9月	各建設企業	33人
出前説明会：秋田工業高校土木科2年生（秋田中央支部）	11月～12月	秋田工業高校 会議室	35人
出前説明会：秋田工業高校建設科2年生（秋田中央支部）	11月～12月	秋田工業高校 会議室	35人
出前説明会：金足農業高等学校2年生（秋田中央支部）	11月～12月	金足農業高校 会議室	28人
出前講座：西目高校土木科1・2年生（由利支部）	2月10日	西目高校 土木科教室	生徒34人 教師2人 業界16人
出前講座：由利工業高校建築科2年生（由利支部）	2月17日	由利工業高校 視聴覚室	生徒27人 教師5人 業界13人
子吉川フェア参加：重機操作・ドローン操作（由利支部）	7月1日	ボートプラザアクアパル	親子500人 業界20人
現場見学会：東由利中学校現場見学・体験会現場見学、ICT体験、重機・ドローン操作（由利支部）	9月20日	子吉川河川掘削現場	生徒32人 教師2人 業界18人
現場見学会：西目高校現場見学・体験会、現場見学、フェンス組み立て、重機操作、土木科1・2年生（由利支部）	10月6日	新ゴミ処理施設、にかほ市陣屋、象潟高速現場	生徒28人 教師2人 業界18人
現場見学会：由利工業高校現場見学・体験会、現場見学、ICT体験、重機・ドローン操作 建築科2年生（由利支部）	10月17日	矢島小学校、子吉川河川掘削現場	生徒30人 教師2人 業界20人
測量競技大会：レベル、トランシット西目高校土木科（由利支部）	10月11日	西目シーガル前	生徒40人 教師4人 業界40人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「建設業体験フェスタ in 湯沢翔北高校雄勝校 2023」(雄勝支部) ・小型建設機械講習 ・現場見学会 ・実務体験講習(6工種) ・ドローン操縦体験 湯沢翔北高校 2 年生、湯沢翔北高校雄勝校 2 年生、 羽後高校 3 年生、増田高校 2 年生	7月24日～28日	秋田県立翔北高校雄勝校 国道398号道路改良工事現場 成瀬ダム建設工事現場、秋田クボタ新築工事現場	地元高校生17人 業界 77人 教員 6人
高校生の建設現場見学会:湯沢翔北高校雄勝校 3 年生 (雄勝支部)	5 月17日	東北中央自動車道、横堀道路建設現場	15人
高校生の土木遺産と伝統技術見学会:湯沢翔北高校雄勝校 3 年生 (雄勝支部)	6 月14日	田子内橋	16人
2 級土木・建築施工管理技士学科試験対策テキスト贈呈: 横手清陵学院高校 (平鹿支部)	3 月20日	横手清陵学院高等学校	テキスト・問題集・法令集セット 土木 14冊 建築 22冊
体験イベント: 横手清陵学院高等学校生と建設女子が学校施設内の舗装工事を体験するイベント (平鹿支部)	6月13日、6月27日、7月4日	横手清陵学院高等学校	18人
よこての全国線香花火大会運営協力 (平鹿支部)	7 月22日	横手川蛇の崎河川敷	12人
講師派遣: 2 級土木施工管理技士学科試験受験対策講座講師派遣	10月14日、15日	横手清陵学院高等学校	高校生 12人 派遣講師1人
建JOB祭2022開催 (能代山本アテナと建設業能代山本建北会主催) に参加 ・主に地域住民を対象に、建設業について広く情報発信し、建設機械の体験等を通じて建設業について理解を深めるためのイベント (山本支部)	11月 5 日	米代川河川緑地	来場者100人 協会参加48人
出前説明会: 能代科学技術高校建設科 1・2 年生 (山本支部)	12月13日	能代科学技術高校	1年生 9人 2年生 15人
ボランティア活動: 「第19回能代宇宙イベント」実施フィールド及び駐車場ば草刈等の会場整備を実施 (山本支部)	8 月 7 日	能代宇宙広場	18人
高校生の現場見学会 (ICT現場): 能代科学技術高校建設科 2 年生 (山本支部)	9 月13日	鳥野地区道路改良工事	7人
企業・業種説明会: 中学生対象とし、県と管内教育委員会及び市町が共催 (山本支部)	10月 4 日	旧能代市立常盤小中学校体育館	対象管内中学生 500人 協会 4人
出前説明会: 大曲工業高校 (仙北支部)	11月30日	大曲工業高校	62人 7社
出前説明会: 大曲農業高校 (仙北支部)	12月12日	大曲農業高校	120人 4社
就職相談会 (第 1 回): 大曲工業高校 (仙北支部)	1 月18日	大曲工業高校	15人 3社
就職相談会 (第 2 回): 大曲工業高校 (仙北支部)	2 月 3 日	大曲工業高校	15人 3社
企業説明会: 高校 2 年生対象の仙北地域企業説明会へブース出展 (仙北支部)	2 月 8 日	大仙市大曲交流センター	300人 3社
教育用品寄贈: 大仙市、仙北市、美郷町各教育委員会へ障害者教育用品、タブレット等の寄贈 (仙北支部、支部青年部)	3 月13日	大仙市、仙北市、美郷町	11人 5社
ボランティア活動: 「角館の桜まつり」駐車場整理 (仙北支部、支部青年部・女性部)	4月25日・26日	仙北市角館町内の駐車場	70人(2日間)45社
高校生の現場見学会 (ICT現場): 大曲工業高校 (仙北支部)	9 月 5 日	雄物川河道掘削工事現場	48人10社
小学生の現場見学会: 地元小学生対象 (仙北支部)	9 月22日	玉川ダム、供養仏砂防堰堤	27人 8社
建設重機体験学習会: 園児対象 (仙北支部)	10月10日	美郷町北ふれあい館駐車場内	55人14社

福島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生を対象とした建設現場見学会 いわき市立上遠野小学校現場見学会	11月 1 日	小名浜道路 (いわき市山田町塙地内)	生徒 21人 教諭 2人
いわき市立長倉小学校現場見学会	11月 4 日	小名浜道路 (泉町下川地内)	生徒 31人 教諭 3人
いわき市立好間第四小学校現場見学会	11月 8 日	夏井川・好間川災害復旧助成事業現場 (いわき市平鯨岡地内)	生徒 27人 教諭 6人
二本松市立原瀬小学校現場見学会	11月17日	移川災害関連工事 (二本松市下長折地内)	生徒 17人 教諭 2人
高校生を対象とした現場実習 喜多方桐桜高校 建設科 2 年生 郡山北工業高校 建築科 2 年生 勿来工業高校 建築科 2 年生	11月8日～10日 11月16日～18日 11月16日～18日	会員企業 11社 施工現場 会員企業 13社 施工現場 会員企業 10社 施工現場	生徒 32人 生徒 40人 生徒 39人
高校生等を対象とした建設現場見学会 郡山北工業高校	11月14日	白河第二中学校建設現場	
高等学校進路指導担当教諭等との意見交換会 いわき方部 相双方部	12月13日 12月16日	いわき産業創造館 福島県建設業協会 相馬支部	生徒 8人 生徒 6人
女子学生等を対象とした座談会 郡山女子大学 3 年生 福島工業高等専門学校 都市システム工学科	12月14日 12月20日	郡山女子大学 Web開催	生徒 27人 生徒 18人
学生との座談会 福島明成高校 二本松工業高校 西会津高校 岩瀬農業高校 湖南高校	2 月 3 日 2 月 6 日 2 月16日 2 月20日 9 月14日	福島明成高校 二本松工業高校 西会津高校 力農会館 湖南高校	生徒 36人 生徒 25人 生徒 25人 生徒 40人 生徒 33人
高等学校進路ガイダンス 南会津高校 会津西陵高校	6 月 6 日 6 月13日	南会津高校 会津西陵高校	生徒 3人 生徒 4人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数	
高校生等を対象とした建設現場見学会 勿来工業高校 建築科 3年生	6月13日	高坂・御厩保育所園舎新築工事	生徒 教諭	39人 2人
郡山北工業高校 建築科 2年生	6月20日	伊達小学校改築工事	生徒 教諭	29人 2人
二本松実業高校 都市システム科 2年生	6月22日	市町村合併支援道路整備工事	生徒 教諭	18人 3人
郡山女子大学 生活科学科建築デザイン専攻 2～4年生・ 大学院生	6月29日	㈱ウッドコア	生徒 教諭	36人 2人
福島工業高校 建築科 2年生	7月12日	伊達小学校改築工事	生徒 教諭	32人 3人
平工業高校 土木環境工学科 2年生	7月19日	小名浜道路工区道路橋りょう整備（再復）工 事（道路改良）	生徒 教諭	33人 2人
会津農林高校 環境科学科 1年生	7月28日	只見川筋 河川海岸改良工事	生徒 教諭	18人 2人
福島明成高校 環境土木科 1年生	8月3日	市町村合併支援道路整備工事	生徒 教諭	28人 2人
学法福島高校 普通科実務選択コース 2～3年生	8月30日	伊達小学校改築工事	生徒 教諭	16人 2人
相馬農業高校 環境緑地科 2年生	9月5日	広野小高線道路橋りょう整備（再復）工事（道 路改良）	生徒 教諭	11人 2人
喜多方桐桜高校 建設科 2年生	9月14日	只見川筋 河川海岸改良工事	生徒 教諭	24人 2人
会津工業高校 建築インテリア科 2年生	9月20日	伊達小学校改築工事、国見町観月台文化セン ター	生徒 教諭	38人 3人
磐城農業高校 緑地土木科 1年生	10月11日	小名浜道路道路橋りょう整備（再復）工事（橋 梁下部）	生徒 教諭	38人 2人
岩瀬農業高校 環境工学科 1年生	10月20日	逢瀬河川改修工事	生徒 教諭	26人 2人
高校写真部を対象とした建設現場見学会 （郡山商業高校、会津第二高校、いわき総合高校）	7月1日	県道いわき石川線 道路橋梁整備工事	生徒 教諭	6人 3人
小学生を対象とした建設現場見学会 いわき市立江名小学校 5年生	7月4日	夏井川筋 河川（交付）工事現場	生徒 教諭	17人 1人
矢吹町立矢吹小学校 6年生	7月18日	須賀川矢吹線道路橋梁改良工事現場	生徒 教諭	28人 2人
鏡石町立第二小学校 5年生	9月8日	千五沢ダム現場	生徒 教諭	22人 2人
下郷町立江川小学校 5・6年生	9月13日	砂防（交付）工事（堰堤）現場	生徒 教諭	14人 1人
金山町立金山小学校 4・5年生	9月27日	只見川筋河川海岸改良工事現場	生徒 教諭	7人 1人
金山町立横田小学校 4・5年生	〃	〃	生徒 教諭	3人 1人
猪苗代町立千里小学校 5年生	10月31日	道路橋りょう整備（地活）工事（橋梁下部）現場	生徒 教諭	14人 1人
高校生を対象とした現場実習 福島工業高校 建築科 2年生 二本松実業高校 都市システム科 2年生 福島明成高校 環境土木科 2年生 磐城農業高校 緑地土木科 2年生 郡山北工業高校 建築科 2年生 会津農林高校 森林環境科 2年生 岩瀬農業高校 環境工学科 2年生 会津工業高校 建築インテリア科 2年生 勿来工業高校 建築科 2年生 平工業高校 土木環境工学科 2年生 喜多方桐桜高校 建設科 2年生	7月25日～27日 9月5日～7日 9月5日～8日 9月5日～8日 9月12日～14日 9月12日～14日 9月20日～22日 10月3日～5日 10月17日～19日 10月30日～11月2日 11月7日～9日	会員企業 10社 施工現場 会員企業 7社 施工現場 会員企業 6社 施工現場 会員企業 9社 施工現場 会員企業 10社 施工現場 会員企業 2社 施工現場 会員企業 12社 施工現場 会員企業 13社 施工現場 会員企業 8社 施工現場 会員企業 9社 施工現場 会員企業 12社 施工現場	生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒 生徒	30人 19人 28人 29人 30人 4人 25人 39人 23人 36人 26人
親子を対象とした建設現場見学会 いわき市内小学生 3～6年生 県内小学生 3～6年生	7月28日 8月9日	いわき上三坂小野線工事現場 相馬港（3号埠頭地区）災害復旧工事現場	親子8組 親子5組	17人 11人
Out of KidZania in ふくしま相双2023 福島県内小学生・中学生	9月30日～10月1日	福島ロケットテストフィールド	児童・生徒	87人
道路ふれあい月間清掃活動	8月	各支部所管の主要幹線道路等	総数 車輛	2,028人 244人
奉仕活動	4月～9月	各支部所管の主要幹線道路等	総数 車輛	720人 154人

茨城県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設フェスタ （茨城県建設業協会）	10月7日	笠松運動公園	15,000人
水戸工業高等学校 建築科	9月14日	・4～5国債（仮称）みどりの南小学校・中学校建設工事 ・動物医薬品検査所（22）建築その他工事	1年生 40人
つくば工科高等学校 建築技術科	10月11日	・新斎場建設工事 ・令和4・5・6年度継続事業（仮称）桜川市複 合施設建設工事	2年生 39人
下館工業高等学校 建設工学科	10月17日	・下稻吉中学校屋内運動場新築工事 ・R3霞ヶ浦導水石岡トンネル（第1工区）新設工事	1年生 36人

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
筑波研究学園専門学校	建築系	10月18日	・4-5国債(仮称)みどりの南小学校・中学校建設工事 ・動物医薬品検査所(22)建築その他工事	1年生 29人
	建築系		・4-5国補(仮称)みどりの学校プール建設工事 ・美浦トレーニングセンター厩舎改築(第3期)工事	2年生 22人
	土木系		・東関道(潮来~銚田)塔ヶ崎工事高架橋(鋼上部)工事 ・R3霞ヶ浦導水石岡トンネル(第1工区)新設工事	1年生 9人 2年生 11人
土浦工業高等学校	建築科	10月26日	・新斎場建設工事 ・動物医薬品検査所(22)建築その他工事	1年生 40人
水戸農業高等学校	農業土木科	10月27日	・R4久慈川袋田地先南田気橋下部工新設工事 ・R4那珂川左岸野口排水樋管新設工事	1年生 36人
海洋高等学校	海洋産業科	10月30日	・橋梁上部工事(光安寺橋) ・04国補海岸04-05-786-A-002号突堤整備工事	2年生 36人
水戸工業高等学校	土木科	10月31日	・橋梁上部工事(光安寺橋) ・(仮称)上曽トンネル本体工事(石岡工区)	1年生 41人
真壁高等学校	環境緑地科	11月7日	・04国補海岸04-05-786-A-002号突堤整備工事 ・(仮称)上曽トンネル設備関係工事	2年生 11人
土浦工業高等学校	土木科	11月10日	・R3霞ヶ浦導水石岡トンネル(第1工区)新設工事 ・橋梁上部工事(光安寺橋)	1年生 40人
水戸日建工科専門学校	建築系	11月20日	新斎場建設工事	1年 70人 2年 66人
茨城大学 工学部	都市システム工学科	11月22日	・R3圏央道利根川橋上部工事 ・美浦トレーニングセンター厩舎改築(第3期)工事	61人
「道の日」清掃活動	(水戸支部)	8月9日	市毛水戸線、国道118号 他6か所	201人
献血会	(水戸支部)	9月21日	茨城県建設技術研修センター	141人
地域貢献活動 除草作業	(太田支部)	9月22日	山吹運動公園源氏川沿い	22社
「道の日」カーブミラー清掃	(太田支部)	10月26日	国道349号、旧349号、293号線	22社
特定外来生物「オオキンケイギク」駆除活動 茨城県立太子特別支援学校(中学部)と合同	(太子支部)	6月1日	太子町内国道118号・461号線・県道	支部 25人 生徒・教師25人 一般自治体5人
「道の日」清掃活動	(太子支部)	10月19日	国道118号・461号線・県道14路線 太子町管内 約164km	支部 91人 自治体 21人
「道の日」清掃活動(鉾田支部) 鉾田工事事務所との共催		8月10日	県道 水戸鉾田佐原線 茨城鹿島線 国道 354号・355号	125人
献血活動(竜ヶ崎支部) 龍ヶ崎市建設業組合との共催		9月11日	竜ヶ崎支部	67人
「道の日」清掃活動	(竜ヶ崎支部)	10月18日	県道龍ヶ崎市停車場線 主要地方道 土浦竜ヶ崎線 主要地方道 竜ヶ崎潮来線 約15km	120人
「道の日」清掃活動	(土浦支部)	10月5日	土浦支部管内 約568.3km	370人
献血会	(土浦支部)	10月4日	土浦支部駐車場	70人
献血	(筑西支部)	6月19日	茨城県建設業協会筑西支部	会員会社50人
道の日清掃活動	(筑西支部)	9月27日	国道294号線約14km他県道	会員会社140人他
役員パトロール	(常総支部)	2月24日	常総地区、下妻地区、八千代地区	11人
豊加美歩道橋下花壇整備	(常総支部)	5月19日	下妻市国道294号線バイパス	8人
献血活動 献血車2台	(常総支部)	6月8日	常総支部	116人
道の日清掃活動 常総地区 1班北ルート	(常総支部)	8月8日	国道294号、県道土浦境線、常総市道 約2.0km	21人
道の日清掃活動 常総地区 2班南ルート	(常総支部)	8月8日	国道294号、県道土浦境線、常総市道 約2.0km	23人
道の日清掃活動 下妻地区 1班西ルート	(常総支部)	8月8日	国道125号、県道下妻停車場線、下妻市道 約2.0km	21人
道の日清掃活動 下妻地区 2班東ルート	(常総支部)	8月8日	国道125号、県道下妻停車場線、下妻市道 約2.0km	23人
道の日清掃活動 八千代地区 1班北ルート	(常総支部)	8月8日	県道結城坂東線、県道若境線、八千代町道 約2.0km	16人
道の日清掃活動 八千代地区 2班南ルート	(常総支部)	8月8日	県道結城坂東線、県道若境線、八千代町道 約2.0km	16人
献血	(境支部)	6月2日	境支部会館及び駐車場	51人
「道の日」清掃活動	(境支部)	8月8日	国道125号線・354号線及び管内県道 約112km	234人

栃木県

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
令和4年度足利尊氏公マラソン大会道路クリーン作戦 (足利支部)		11月2日	一般国道293号、 主要地方道足利環状線、足利市道	33人
クリーンアップキャンペーン (日光支部)		11月10日	一般国道121号線、一般県道19号線、1級市道 さくら通り~さくら並木通り線、約9km	120人
「土木の日・CCIクリーンアップキャンペーン」 並びに「愛リバーとちぎ」河川清掃活動 【後援：栃木県宇都宮土木事務所】 (宇都宮支部)		11月18日	大通り外(国道119号外県道3路線) (桜2丁目交差点~宇都宮駅~峠町交差点) 一級河川 田川(幸橋~押切橋)	90人
愛ロードとちぎ清掃活動 (芳賀支部)		11月16日、1月18日、3月15日、 5月17日、7月19日、9月20日	国道294号田町東交差点 ~御前北交差点 延長600m 県道西小壠真岡線 御前交差点 ~長瀬橋 500m 総延長1100m	43人
愛リバーとちぎ清掃活動 (芳賀支部)		11月16日、1月18日、3月15日、 5月17日、7月19日、9月20日	五行川 田町橋~御橋 1500m	40人
建FESGO! ~建設のお仕事体験~		11月27日	宇都宮市 道場宿緑地公園	約4,000人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
今市工業高等学校建設工学科 1 年生 現場見学会(日光支部)	11月30日	南摩ダム本体建設工事、日光市立今市中学校(南棟 1 期) 外壁及び屋根防水改修工事	35人
愛ロード活動 (鹿沼支部)	12月9日 6月9日 8月4日 10月13日	鹿沼環状線 平成橋より宇都宮鹿沼線交差点まで	12/9 10人 6/9 12人 8/4 13人 10/13 11人
建設業魅力アップ写真展 那須町 (那須支部)	1月10日～26日	那須町役場 1 階ギャラリー	
建設業魅力アップ写真展 大田原市 (那須支部)	2月1日～28日	大田原市役所 2 階ギャラリー	
「宇都宮工業高校出前講座」 (宇都宮支部・青年の会)			
環境土木科 2 年生 / 現場見学及びアスファルト舗装工事の実習 建築デザイン科 2 年生 / 現場見学及び座談会	2 月15日	釜川放水路 カンセキスタジアム・ユウケイ武道館	20人
「愛リバーとちぎ」 河川清掃活動 (宇都宮支部)	3 月23日	一級河川 田川 (幸橋～押切橋)	30人
「愛リバーとちぎ」 河川清掃活動 (宇都宮支部)	5 月18日	一級河川 田川 (幸橋～押切橋)	30人
「愛リバーとちぎ」 河川清掃活動 (宇都宮支部)	9 月27日	一級河川 田川 (幸橋～押切橋)	40人
愛ロードとちぎ清掃活動 (日光支部)	5 月10日 6 月14日 7 月12日 8 月 9 日 9 月13日 10月11日	東武日光駅前～田母沢御用邸区間2.6km	5/10 26人 6/14 39人 7/12 21人 8/9 37人 9/13 26人 10/11 38人
鹿沼さつきマラソン大会に伴うクリーンアップ作戦(鹿沼支部)	5 月11日	1 班 御成橋西交差点から平成橋 2 班 平成橋から北中西交差点 3 班 御成橋東から日光線ガード下 4 班 御成橋東から府中橋東交差点	26人
G7 おもてなしクリーンアップ作戦 (日光支部)	5 月25日	中禅寺湖畔	106人
宇都宮支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (宇都宮支部)	6 月16日	栃木県建設産業会館会議室	89人
下都賀支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (下都賀支部)	6 月22日	下都賀建設会館	38人
塩谷支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (塩谷支部)	6 月22日	塩谷建設会館	64人
烏山支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (烏山支部)	6 月26日	(一社) 栃木県建設業協会烏山支部	30人
足利・安蘇支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (足利支部、安蘇支部合同)	6 月28日	足利建設会館 安蘇建設業協同組合 会館	62人
日光支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (日光支部)	6 月29日	日光建設会館	41人
大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議 合同情報伝達訓練 web形式	6 月30日	栃木県庁など各構成機関の 事務所等から	42人
鹿沼支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (鹿沼支部)	7 月 4 日	鹿沼建設会館	44人
「川の日・田川クリーンアップ大作戦」 並びに「愛リバーとちぎ」河川清掃活動 (宇都宮支部) 【後援：栃木県宇都宮土木事務所】	7 月 7 日	一級河川 田川 (大曾橋～旭陵橋)	100人
愛リバーとちぎ清掃活動 (足利支部)	7月7日、8月25日、 10月6日	蓮台寺川五十部町浄化施設 蓮台寺川今福町河川公園 矢場川西新井防災ステーション 袋川右岸、大月橋下流	25人
高校生の建設現場見学会 小山北校高等学校 2、3 年生 栃木農業高等学校 2 年生 (下都賀支部)	7月10日、9月 27日、10月18日	小山市大谷地区中心施設建築工事 しもつけ産業団地造成工事 一級河川永野川護岸工事 小山市役所新庁舎エレベーター棟新築工事	115人
中禅寺ダム見学会(栃木県日光土木事務所へ協力) (日光支部)	7 月26日	中禅寺ダム	147人
那須支部 道路・河川等管理情報システム伝達訓練 (那須支部)	7 月27日	(一社) 栃木県建設業協会那須支部	68人
「献血ボランティア」活動 (宇都宮支部・青年の会)	8 月 2 日	栃木県建設産業会館	53人
令和 5 年度 足利火花大会道路クリーン作戦 (足利支部)	8 月 2 日	一般国道293号、主要地方道足利 千代田線 (中橋の前後)	32人
とちぎ子どもの未来創造大学(栃木県教育委員会生涯学習課主催) (那須支部)	9 月 9 日	県北建設会館 (那須支部会館) ・ミニコンクリート製品作成体験 ・ICT建機操作体験 ・ドローン操作体験	小学4年～ 中学3年14人 保護者・協会 関係者 35人
鹿沼市水防協力団体水防訓練 (鹿沼支部)	9 月10日	鹿沼市消防本部訓練場 (上殿町)	25人
仕事説明会講師派遣事業 真岡工業高校建設科 1 年生、保護者 (芳賀支部)	9 月22日	真岡工業高校	5人
若手建設業担い手育成支援事業講師派遣 真岡工業高校建設科 3 年生 (芳賀支部)	9月25日、9月27日、 10月18日	真岡工業高校	14人
とちぎ子どもの未来創造大学 (日光支部)	9 月30日	だいや川公園	17人
重機搭乗体験会 (日光支部)	9 月30日	だいや川公園	110人
今市工業高等学校インターンシップ (共通プログラム) 建設工学科 2 年生 (日光支部)	10月11日	日光建設会館	32人
高校生現場見学会 真岡工業高校建設科 1 年生 (芳賀支部)	10月13日	南摩ダム建設現場	18人
総合学習支援活動 那須烏山市立烏山小学校 小学 4 年生 (烏山支部)	10月16日	那須烏山市立烏山小学校	小学4年生65人 先生 5人 支部員 15人
インターンシップ 足利大学付属高校生 (足利支部)	10月23日～27日	栃木県立足利高等学校校舎及び 体育館新築工事	足利大学付属 高校生 13人

群馬県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第34回道路クリーン作戦	5 月30日	全県下一斉	業界約1,800人
第15回公園クリーン作戦 (前橋支部)	10月30日	前橋公園	業界 70人

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
観音山ファミリーパーク県民参加フェスタ	(高崎支部)	5月20日～21日	高崎市内	業界 10人
広域幼稚園・保育園への砂入れ事業	(桐生支部)	11月30日	桐生市・みどり市	業界 12人
森林整備ボランティア活動	(桐生支部)	7月27日	みどり市	業界 40人
森林整備ボランティア活動	(桐生支部)	12月6日	桐生市	業界 40人
広瀬川・ラブリバー親水公園うぬき清掃活動		8月7日	伊勢崎市内	業界 70人
河川草刈り作業	(太田支部青年経営者部会)	7月11日	太田市内	業界 15人
河川草刈り作業	(太田支部青年経営者部会)	10月17日	太田市内	業界 15人
やんば一万本校維持管理ボランティア活動	(吾妻支部)	7月11日	長野原町内	業界 25人
館林市産業祭での重機試乗体験		11月19日	館林市	業界 12人
館林・邑楽の川大掃除	(館林支部)	11月29日	館林・邑楽郡内	全体 67人

埼玉県

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
建設系高校生の建設現場見学会 熊谷工業高校土木科1年生 川越工業高校建築科1年生 浦和工業高校設備システム科2年生 熊谷工業高校建築科2年生 春日部工業高校建築科1年生		11月8日、28日、 2月8日 10月6日、23日	大滝トンネル本体工事、積水ハウスTomorrow's Life Museum(2校)、彩の国さいたま芸術劇場改修工事、大宮植竹団地建築工事	200人
建設系高校生への出前講座 熊谷工業高校土木科2年生 秩父農工科学高校森林科学科2年生 熊谷工業高校建築科2年生 大宮工業高校建築科2年生 春日部工業高校建築科2年生 浦和工業高校設備システム科1年生		11月10日、15日、17日、 2月2日、3日、7日	各高校に講師派遣	273人
献血活動	(大里支部)	1月18日	熊谷県土整備事務所	128人
献血活動	(さいたま支部)	6月2日	埼玉建産連研修センター	約60人
献血活動	(秩父支部)	6月6日	「ベルク」秩父影森店	約50人
献血活動	(川越支部)	6月16日	川越西文化会館「メルト」	87人
献血活動	(朝霞支部)	6月21日	朝霞県土整備事務所	65人
新河岸川放水路・びん沼川環境浄化運動	(川越支部)	6月25日	新河岸川放水路・びん沼川	約90人
献血活動	(飯能支部)	6月27日	司産業株式会社	46人
献血活動	(北埼玉支部)	7月3日	行田県土整備事務所	72人
献血活動	(北本支部)	7月19日	丸和工業株式会社	74人
献血活動	(杉戸支部)	9月7日	杉戸県土整備事務所	82人
献血活動	(児玉支部)	9月22日	本庄市民文化会館	98人

千葉県

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
仕事体験テーマパーク「カンドゥー」へのブース「建設エンジニア」出展		12月24日～	イオンモール幕張新都心内「カンドゥー」	延べ約10,000人
九都県市合同防災訓練(県会場・防災フェア)(県協会本部・東葛支部)		9月2日	川村学園女子大学	約5,000人
建設機械体験学習会 旭市立富浦小学校全校生徒(青年部会、銚子支部、CCIちば共催)		11月11日	旭市立富浦小学校	児童含む220人
建設機械体験学習会 野田市立川間中学校2年生(青年部会、東葛支部、CCIちば共催)		10月19日	野田市立川間中学校	生徒含む200人
工事現場見学会 長生村立長生中学校防災部(長生支部)		8月25日	一宮川第二調整池増設工事現場等	生徒含む50人
CCIちば出張授業①茂原市立本納中学校2年生(長生支部)		11月8日	茂原市立本納中学校	生徒含む90人
CCIちば出張授業②松戸市立牧野原小学校4年生・5年生(東葛支部)		11月9日	松戸市立牧野原小学校	児童含む200人
CCIちば出張授業③成田市立中台中学校1年生(北総支部)		11月16日	成田市立中台中学校	生徒含む70人
CCIちば出張授業④香取市立東大戸小学校6年生(君津支部)		11月21日	香取市立東大戸小学校	児童含む30人
CCIちば出張授業⑤南房総市立富浦中学校2年生(館山支部)		11月28日	南房総市立富浦中学校	生徒含む45人
CCIちば出張授業⑥いすみ市立国吉中学校(夷隅支部)		11月29日	いすみ市立国吉中学校	生徒含む40人
CCIちば出張授業⑦千葉市立さつきが丘東小学校6年生(千葉支部)		12月1日	千葉市立さつきが丘東小学校	児童含む60人
CCIちば出張授業⑧我孫子市立湖北中学校2年生(東葛支部)		12月2日	我孫子市立湖北中学校	生徒含む150人
CCIちば出張授業⑨木更津市立畑沢中学校1年生(君津支部)		12月13日	木更津市立畑沢中学校	生徒含む110人
CCIちば出張授業⑩市川市立大和田小学校4年生(京葉支部)		10月2日	市川市立大和田小学校	児童含む110人
CCIちば出張授業⑪君津市立周西小学校4年生(君津支部)		10月11日	君津市立周西小学校	児童含む90人
重機体験見学会 八街市朝陽小学校6年生(北総支部)		11月9日	八街市立朝陽小学校	児童含む90人
管内2市1町の小枝払清掃活動(館山支部)		11月10日	館山市、南房総市、鋸南町内県道沿い	支部会員含む60人
大津川環境美化ボランティア(東葛支部会員を含む柏市建設業会主催)		11月18日	手賀沼ふれあい緑道公園内	支部会員含む30人
道路清掃ボランティア活動(東葛支部会員を含む東葛フレンドシップの会)		11月26日	野田市内県道川藤野田線沿い	支部会員含む50人
茂原公園環境美化活動(長生支部含む茂原市建設業組合主催)		12月17日	茂原公園内	支部会員含む70人
鳥インフルエンザ防疫作業(銚子支部)		1月2日～5日	旭市内	支部会員2社
鳥インフルエンザ防疫作業(八日市場支部)		1月21日～30日 1月26日～2月17日	匝瑳市内	支部会員2社
鳥インフルエンザ防疫作業(八日市場支部)		1月28日～2月17日 2月9日～10日	匝瑳市内 横芝光町内	支部会員3社
豚熱防疫作業(八日市場支部)		3月1日～2日	匝瑳市内	支部会員2社
環境美化ボランティア活動(京葉支部)		4月15日	舞浜高潮堤防護岸付近	支部会員含む100人
銚子地区水防訓練(銚子支部)		5月17日	銚子市唐子町公園	支部会員含む10人
山武郡市合同水防訓練(山武支部)		5月19日	九十九里町作田海岸	支部会員含む20人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
東葛飾地区合同水防訓練 (東葛支部)	5月20日	江戸川河川敷(流山市)	支部会員含む400人
第27回長生地域水防訓練 (長生支部)	5月27日	茂原市長生の森公園	支部会員含む40人
江戸川クリーン大作戦への参加(東葛支部及び野田建設業協同組合)	5月28日	野田市江戸川河川敷野田橋付近	支部会員含む30人
水防訓練 (八日市場支部)	5月31日	匝瑳市堀川浜	支部会員含む70人
水防訓練と土のうづくり (鴨川支部)	6月7日	鴨川市鴨川建設会館	支部会員含む50人
災害対策活動(土のう製作) (香取支部青年部会)	6月8日	佐原市佐原浄化センター	支部会員14社
管内一斉ボランティア活動 (北総支部青年部)	6月13日	佐倉市内～成田市内国道296号線沿い	支部会員含む60人
東葛飾地区合同防災訓練 (東葛支部)	6月16日	大堀川レクリエーション公園	支部会員含む50人
水防訓練およびボランティア海岸清掃 (夷隅支部)	6月21日	いすみ市文化とスポーツの森 いすみ市大原海水浴場付近	支部会員含む100人
富津下洲海岸清掃ボランティア (君津支部)	6月26日	富津市下洲海岸付近	支部会員含む170人
水防訓練 (館山支部)	6月28日	館山市平九里川右岸	支部会員含む80人
水防訓練 (香取支部)	7月4日	香取市黒部川右岸	支部会員含む50人
ボランティア道路美化活動 (長生支部)	7月4日	茂原市内国道128号線沿い	支部会員含む40人
合同水防訓練 (君津支部)	7月6日	袖ヶ浦市小櫃川河川敷	支部会員含む90人
いなげの浜清掃ボランティア活動 (千葉支部)	7月8日	稲毛海浜公園内	支部会員含む300人
管内2市1町の小枝払清掃	7月12日	館山市内～南房総市内国道410号沿い 南房総市内～鋸南町県道184号外野勝山線沿い	支部会員含む80人
環境美化ボランティア (市原支部)	7月13日	市原市国道297号線バイパス	支部会員含む50人
海水浴場清掃ボランティア活動 (銚子支部)	7月14日	銚子マリーナ付近	支部会員含む20人
海岸清掃ボランティア活動 (鴨川支部)	7月14日	鴨川市鴨川前原海岸付近	支部会員含む40人
葛南地区合同水防訓練 (東葛支部)	7月25日	市川市江戸川第一終末処理場	支部会員含む115人
ボランティア環境美化活動(東葛支部会員を含む松戸建設業協同組合)	8月6日	松戸市上葛飾橋付近	支部会員含む60人
千葉地区水防訓練とボランティア清掃活動 (千葉支部)	8月24日	幕張海浜公園内	支部会員含む50人
学校清掃ボランティア (山武地区)	8月26日	大網白里市白里小学校	支部会員含む10人
小櫃堰流竹木除去作業 (君津支部)	9月25日	君津市小櫃川小櫃堰	支部会員含む30人
環境美化活動 (香取支部青年部)	9月28日	香取市小見川中学校付近 香取市小見川東小学校付近	支部会員含む20人
ボランティア環境美化活動(東葛支部及び東葛フレンドシップの会)	9月30日	我孫子市内国道356号線バイパス拡幅用地沿い	支部会員含む40人
柏市総合防災訓練 (東葛支部)	9月30日	柏市立柏の葉中学校	支部会員含む13社
流山花火大会清掃作業 (東葛支部及び流山建設業協同組合)	10月8日	流山市江戸川土手付近	支部会員含む50人
県道美化活動 (君津支部)	10月25日	君津インター周辺	支部会員含む85人
流山市民まつり「特殊車両展示」(東葛支部及び流山建設業協同組合)	10月29日	流山市キックマンアリーナ内	支部会員含む21社

東京都

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生現場見学会 都立総合工科高等学校 都市工学類型2年	11月7日	谷沢川分水路工事	13人
高校生現場見学会 都立田無工業高等学校 建築科1年	11月18日 11月25日	中野二丁目地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事	71人
高校生現場見学会 都立田無工業高等学校 都市工学科2年	11月22日	新東名高速道路湯船原トンネル工事	32人
高校生現場見学会 都立田無工業高等学校 都市工学科1年	12月2日	令和4年度中央防波堤外側外貿コンテナふ頭 岸壁地盤改良工事(その1) 他1ヶ所	33人
建設系高校生作品コンペティション2022	12月8日～10日	新宿駅西口広場イベントコーナー	一般約8,500人
高校生現場見学会 都立総合工科高等学校 建築類型2年	7月11日	清水建設(株) 技術研究所 (仮称) 芝浦一丁目計画 第1期(S棟) 新築工事	22人
建設系高校生向け体験実習	8月21日～24日	富士教育訓練センター	3校 14人
関東大震災100年防災イベント インフラツーリズム そなエリア東京見学・東京港クルーズ	8月26日	そなエリア東京	一般 約50人
関東大震災特別企画展	8月26日～28日	そなエリア東京	一般約4,000人
耐震改修工法等展示会	10月29日	木場公園	一般約500人

山梨県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
災害時の広域応援業務に係る情報伝達訓練(山梨県建設業協会)	12月9日	山梨県建設会館及び県下地区7建協	県建協 10人 各地区建協・広域応援協力者
第6回建設まつり (山梨県建設業協会)	10月29日	アイメッセ山梨 ABCホール・屋外展示場(甲府市)	総数4,437人 業界 437人 一般4,000人
小学校訪問 ボランティア 重機の試乗体験・働く車についての学習 (甲府地区建設業協会)	11月7日 11月15日 11月15日 12月7日	南アルプス市立八田小学校 甲府市立甲運小学校 甲斐市立竜王小学校 南アルプス市立白根百田小学校	生徒数4

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
緊急無線機の体制の常設及び訓練 (甲府地区建設業協会)	7月26日	会員企業各社 甲府地区建設業会館	94人
建設産業説明会・甲府工業定時制本科 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	9月11日	県立甲府工業高等学校	生徒数 23人
献血活動 (甲府地区建設業協会)	10月11日	甲府地区建設業協会 第2駐車場	107人
第26回CCIカップ低学年少年野球大会 8チーム参加 (塩山建設業協会)	12月4日	勝沼中央公園 勝沼中学校	保護者を含め約250人
地域安全パトロール出発式及びパトロール(塩山建設業協会)	10月11日	甲州市民文化会館 駐車場 甲州市全域	約60人
令和5年度 東山梨地区広域防災総合訓練(塩山建設業協会)	10月12日	甲州市勝沼町綿塚667-1 重川河川公園(北側河川敷)	約70人
小学校訪問ボランティア 重機等市場体験 働く車についての学習 (笛吹建設業協会)	R5年11月22日 R5年11月29日	一宮西小学校 一宮北小学校	児童 50人 業界 17人 児童 18人 業界 16人
清掃活動 (市川建協青年部)	11月18日、12月15日 1月18日、2月17日 3月24日、4月14日 5月17日、6月19日 7月23日、8月22日 9月22日、10月17日	国道140号沿道休憩施設・広場	毎回 業界 5人
清掃活動 (市川建設業協会)	12月16日	手打沢川河川内	業界 7人
青洲高校2年生インターンシップ (山梨県建設業協会主催) (市川建設業協会)	7月25日～27日	協会員8企業(市川三郷町・富士川町・身延町内)	生徒 12人 業界 6社
峡南地域公立中学校 職場体験 ・三珠中学校 ・六郷中学校 (市川建設業協会)	10月24日 10月25日	砂田建設工業(株) 松井組工友(株)	生徒 3人 2人
献血活動 (身延建設業協会)	8月4日	身延町役場身延支所	青年部会員7人 参加者数50人
大規模災害時における車両移動等に関する道路啓開訓練 (身延建設業協会)	8月31日	早川町西乃宮 山梨県防災備蓄拠点内	協会員 24人 関係機関等20人
小学校訪問「じどうしゃくらべ」 (身延建設業協会)	10月23日	富沢小学校	青年部会員9人 児童 35人
小学校訪問ボランティア 建設機械の紹介と働く車についての体験学習 (峡北地区建設業協会)	11月9日	北杜市立 白州小学校	業界 5人 自治体 3人 建機メーカー2人 生徒 13人 教員 2人
小学校訪問ボランティア 建設機械の紹介と働く車についての体験学習 (峡北地区建設業協会)	11月10日	北杜市立 泉小学校	業界 7人 自治体 2人 建機メーカー2人 生徒 37人 教員 3人
小学校訪問ボランティア タイル張り体験 (峡北地区建設業協会)	11月16日	北杜市立 武川小学校	業界 3人 生徒 12人
建設産業説明会・測量機器体験(業界、自治体、ゲスト講師による講演とICT体験) (峡北地区建設業協会)	12月12日	山梨県立 北杜高等学校	業界 3人 生徒 6人
国道141号線須玉バイパス除草作業 (峡北地区建設業協会)	6月23日～30日	韮崎市穴山町・中田町 北杜市須玉町 地内	業界 150人
北杜高校2年生インターンシップ (山梨県建設業協会主催、峡北地区建設業協会)	7月24日～26日	協会員 3企業(韮崎市、北杜市)	業界 3社 生徒 6人
建設産業説明会(業界による講演とICT体験) (峡北地区建設業協会)	9月5日	山梨県立 北杜高等学校	業界 3人 生徒 90人
小学校訪問ボランティア 建設機械の紹介と働く車についての体験学習 (峡北地区建設業協会)	10月26日	韮崎市立 北西小学校	業界 5人 自治体 2人 生徒 28人 教員 5人
小学校訪問ボランティア 建設機械の紹介と働く車についての体験学習 (峡北地区建設業協会)	R5年11月9日	北杜市立 明野小学校	業界 7人 自治体 3人 生徒 25人 教員 2人
河口湖環境整備活動(河口湖町・富士・東部建設事務所主催) 河口湖八木崎公園付近の草刈り・ゴミ拾い (富士・東部建設業協会)	11月30日	河口湖八木崎公園湖岸	30人程
道路警戒訓練 (富士・東部建設事務所)(青年部)	12月21日(リハ) 12月22日(本番)	上野原 旧島田中学校グラウンド	延べ30人
くずはの森ボランティア グラウンドの整備、植栽剪定、除草作業 (富士・東部建設業協会)	11月23日	葛葉学園	16人

新潟県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生現場見学会 (新潟県建設業協会)	R4年11月～ R5年10月	新潟県央工業高等学校、高田農業高等学校、塩 沢商工高等学校	3校合計 高校生 99人
小学生現場見学会 (新潟県建設業協会)	R4年11月～ R5年10月	大河津資料館・大河津分水路可動堰(燕市)	20校合計 小学生715人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
中学生等「土木出張PR」 (新潟県建設業協会)	R4年11月～ R5年10月	江陽中学校他33校	小学生 37人 中学生1,562人 高校生 75人
建設業！魅力発見ツアー（高校生現場説明会）（村上支部）	7月14日	橋梁架け替え工事他	高校生 59人 会員 19人
土木の日記念フェスティバル（パネル展示・土木クイズ等） (新発田支部)	11月23日	コスモタウン新発田	一般参加者350人 会員 32人
土木の日記念フェスティバル（パネル展示・土木クイズ等） (新発田支部)	10月22日	コスモタウン新発田	一般参加者800人 会員 33人
「狐の嫁入り行列」清掃活動 (津川支部)	10月3日	阿賀町津川地区内	会員 34人
あがまちとんぼdeマルシェ（建設機械の展示・乗車体験） (津川支部)	10月22日	阿賀町津川地区内	会員 5人
けやき通りクリーンアップ作戦 (新潟支部)	11月12日	新潟駅南けやき通り	会員 20人
新潟まつり「道路ふれあいコーナー」（建設機械の試乗体験等） (新潟支部)	8月6日	ふるまちルフル	一般参加者400人 会員 10人
下水道わくわくフェスタinいがた（建設機械の体験乗車） (新潟支部)	9月2日	新潟浄化センター	一般参加者300人 会員 9人
道路除雪PR（ロータリー除雪車展示・乗車、パネル展示） (新潟支部)	11月23日 10月8日	ヤホール 新印青果西部卸売市場	一般参加者400人 会員 19人
クリーン作戦（土地改良管理施設（基幹水利排水路）の清掃活動） (巻支部)	10月22日	西蒲原土地改良区管内	一般参加者320人 会員 56人
高校生現場見学会 (三条支部)	11月30日	国道403号三条北バイパス 済生会新潟県中央基幹病院	高校生 40人 会員 8人
防災士資格取得支援 (三条支部)	4月28日	県立県央工業高等学校	高校生 18人 会員 2人
三条市防災フェスタ（除雪機械乗車体験） (三条支部)	9月30日	三条市水辺リング	一般参加者4,000人 会員 4人
第33回土木フェスティバル（防災用機械・パネル展示、建設機械乗車体験） (長岡支部)	10月8日	国営越後丘陵公園	一般参加者12,400人 会員 8人
ふれあい建設広場（小型建設機械ゲーム・高所作業車への搭乗体験） (与板支部)	11月3日	長岡市みしま会館	一般参加者8,000人 会員 9人
親子で重機試乗体験 in おぢや (小千谷支部)	9月30日	㈱キムラ資材センター	親子 18人
道路除雪学習会（道路除雪の概要説明、除雪車試乗体験） (魚沼支部)	11月7日	湯之谷小学校	会員 8人
土木出張PR事業（仕事紹介・実習体験） (魚沼支部)	6月7日 7月7日	湯之谷中学校 魚沼北中学校	中学生 56人
土木フェア（建設機械試乗体験・パネル展示） (魚沼支部)	10月7日	響きの森公園	会員 13人
里山スノーリッチマーケット（除雪機械の体験乗車） (十日町支部)	3月4日	越後妻有交流館キナーレ	会員 8人
土木出張PR（業界説明会） (十日町支部)	5月23日～ 10月20日	下条中学校、津南中学校、十日町中学校、南中学校、松代中学校、中里中学校、川西中学校	中学生269人
まちの産業発見塾（地元中学校を対象とした地域産業、企業説明会） (十日町支部)	9月25日～26日	市内全中学校・高校	中学生463人 高校生445人 会員 7人
塩沢商工土木施工技術実習協力（測量実習、防災教育等） (十日町支部)	4月24日～ 7月24日	県立塩沢商工高等学校	3年生 33人 会員 45人
建設業PR授業（段ボール橋製作） (六日町支部)	6月16日	大和中学校、塩沢商工高校	中学生105人 高校生 55人
土木フェア（地域へのPR・啓発活動） (六日町支部)	10月8日	八色の森公園	会員 23人
海岸ポイ捨て禁止啓蒙看板設置 (柏崎支部)	6月30日	東の輪海岸	会員 9人
除雪出動式及び除雪学習会 (安塚支部)	11月9日	上越東維持管理事務所	小学生 60人
うらスポマラソン給水エイド（運営によるPR・啓発） (安塚支部)	6月18日	上越市浦川原区	会員 5人 エイド利用者約240人
土木出張PR（業界説明会） (安塚支部)	7月5日～11月10日	安塚中学校、大島中学校、浦川原中学校	中学生100人 会員 26人
ニイガタ除雪の達人選手権（競技運営、建設帰化乗車体験） (安塚支部)	8月26日	キュービットバレイスキー場	一般参加者 2,500人
高校生への建設業PR（業界説明会及び現場見学会）上越支部 と合同で実施 (安塚支部)	9月1日～8日	県立上越総合技術高等学校 県立高田農業高等学校	高校生 80人
建設業施工体験（道路建設コンクリート打設） (上越支部)	12月12日	県立高田農業高等学校	高校生 40人
建設業就職お助け講座（業界説明会） (上越支部)	2月3日～17日	県立上越総合技術高等学校 県立高田農業高等学校	高校生 75人
高校生への建設業PR（業界説明会及び現場見学会）安塚支部 と合同で実施 (上越支部)	9月1日～8日	県立上越総合技術高等学校 県立高田農業高等学校	高校生 80人
建設業施工体験（手作りレンガアーチ橋体験） (上越支部)	9月20日	県立上越総合技術高等学校	高校生 38人
建設産業出前講座 (糸魚川支部)	11月10日～ 12月9日	県立海洋高等学校、県立糸魚川白嶺高等学校	高校生140人
ボランティア清掃 (糸魚川支部)	6月13日	須沢海岸・姫川みなと公園	会員 19人
まちづくりと土木・建設フェア（建設機械の乗車体験等、絵画コンクール） (糸魚川支部)	10月7日	糸魚川市建設業協会	一般参加者580人 会員 59人
高校生への建設業PR（業界説明会） (佐渡支部)	7月18日	県立佐渡高校	高校生195人 会員 3人
1日美化デー（ゴミ拾い） (佐渡支部)	7月25日	二ツ亀海水浴場他	会員 2人

長野県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
クリーンキャンペーン (南佐久支部 佐久建設事務所)	11月18日	国道141号線佐久市伊勢宮交差点から南牧村海ノ口JR踏切まで	31人
高校生の現場見学会 佐久平総合技術高校 食農クリエイト科環境共生コース2年生 (佐久支部、南佐久支部合同)	11月10日	小諸市平原 平原大橋4車線化工事(橋梁下部工) 佐久市臼田 臼田統合小学校新築工事	30人
高校生の現場見学会 佐久平総合技術高校 食農クリエイト科環境共生コース3年生 (佐久支部、南佐久支部合同)	6月9日	北佐久郡御代田町 国補大規模更新砂防工事 佐久市石上 滑津川災害改良復旧工事 佐久市浅茅大橋 防災・安全交付金(道路)工事 南佐久郡小海町 ICT室内研修・実習	31人
菊でいっぱい運動 (南佐久支部)	年間通して活動	佐久市臼田借地の畑で栽培 設置場所:自治体、中学校、高校、駅等	26人
高校生の建設現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科1年生 (上小支部)	11月10日	佐久市野沢会館改築(主体)工事 複合施設「スタラス小諸」	45人
建設旗争奪第25回 「上小中学校一年生野球大会」 (上小支部)	11月12日	丸子総合グラウンド	200人
高校生の企業説明会 長野県上田千曲高等学校建築科1年生・2年生 (上小支部)	12月15日	長野県上田千曲高等学校	90人
高校生の建設現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科3年生 (上小支部)	5月25日	新光電気工業(株)千曲工場新築工事 シナノケンシ(株)本社棟及び研究開発棟 新築工事	42人
中学生職場体験学習 上田市立第五中学校2年生 (上小支部)	7月6日～7日	上小管内 会員企業4社	25人
中学生職場体験学習 上田市立第四中学校2年生・第二中学校2年生 東御市立北御牧中学校2年生 (上小支部)	7月19日～20日	上小管内 会員企業4社	18人
中学生職場体験学習 上田市立第三中学校2年生 (上小支部)	7月20日～21日	上小管内 会員企業2社	11人
高校生の企業研修 長野県上田千曲高等学校建築科2年生 (上小支部)	7月25日～8月21日 (1日～3日間)	上小管内 会員企業7社	33人
上田道と川の駅「安全・安心イベント2023」 (安全・安心イベント2023実行委員会)	9月8日	上田市半過 道と川の駅	2,500人
支部自主パトロール (上小支部)	10月16日	上小管内 会員企業現場7現場	12人
高校生の現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科2年生 (上小支部)	10月26日	須坂市まちづくり説明及び見学 小布施町まちづくり説明及び見学	40人
湯川バイパス現場見学会 (諏訪建設事務所・諏訪支部)	12月16日	茅野市柏原～湯川 (国道152号湯川バイパス)	95人
危険箇所調査 (諏訪支部)	5月～6月	諏訪地域の道路・河川	90人
献血 (諏訪支部)	6月22日	諏訪建設会館	52人
道路美化活動 (諏訪支部)	8月25日	原村内道路	12人
河川(諏訪湖)アダプトプログラム (諏訪支部)	6月24日、9月6日、 10月31日	諏訪湖畔 約500m	26人
砂防堰堤見学 (諏訪建設事務所・諏訪支部)	10月26日	諏訪市桑原(桑原二沢砂防堰堤)	55人
高校生の現場研修(実習) 上伊那農業高校3年生 (県建設部と伊那支部との共催)	11月1日 他2回	春日公園噴水跡地改修 (インターロッキング設置実習)	20人/回
高校生の重機操作実習 上伊那農業高校3年生 (県建設部と伊那支部との共催)	12月5日	上伊那農業高等学校「中の原農場」	17人
高校生の丁張実習 上伊那農業高校3年生 (県建設部と伊那支部との共催)	4月17日	伊那市 春日公園噴水跡地	16人
高校生の現場見学会 上伊那農業高校3年生 (県建設部と伊那支部との共催)	5月17日	(急)山寺上 伊那市 山寺上	16人
高校生の現場研修(実習) 上伊那農業高校3年生 (県建設部と伊那支部との共催)	5月22日 他5回	春日公園噴水跡地改修(インターロッキング 設置実習)	16人/回
道路クリーン作戦(県建設部・市町村・建設業関連団体・伊那支部との共催)	6月16日	上伊那管内の県及び市町村管理道路	331人
小学生の現地見学会 駒ヶ根市立東伊那小学校4年生(県建設部と伊那支部との共催)	9月14日	駒ヶ根市 唐沢川砂防施設工事現場	23人
高校生現場見学会 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科・建築学科 2年生対象 (飯田支部)	11月17日	座光寺上郷道路、新万年橋、新みつば保育園 新築工事、伊藤製菓(有)工場新築工事	74人
献血事業 (飯田支部)	6月13日、10月11日	飯田建設会館	228人
高校生対象 刈払機取扱作業者講習会 (飯田支部)	6月20日	飯田OIDE長姫高校	50人
建設現場安全教育講習会 社会基盤工学科・建築学科 3年生対象 (飯田支部)	7月26日	飯田OIDE長姫高校	72人
高校生対象2級土木・建築施工管理技士(第1次)試験 受験準備講習会 (飯田支部)	8月21日～22日	飯田OIDE長姫高校	49人
河川愛護活動 (飯田支部)	8月19日、9月16日、 10月7日	飯田市 松川河川敷	36人
建設技術実践プロジェクト 飯田OIDE長姫高校社会基盤工学科3年生対象 (飯建・測量協会・飯田支部)	11月4日、18日、25日、 12月2日、9日、16日、 9月15日、22日、29日、 10月6日、20日	一級河川松川 河川敷(左岸)	88人
高校生の測量及び丁張設置実習 木曽青峰高校 森林環境科3年生 (木曽支部)	6月16日	木曽町日義 原野林野利用協同組作業道内(林道)	76人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設工事の学習・JW-CAD図面作成実習 木曽青峰高校 森林環境科 3年生 (木曽支部)	6月26日	木曽青峰高校 丘の上キャンパス	24人
国道・県道の法面及び路側の環境整備 (木曽支部)	7月11日	(国) 256号 南木曽町 吾妻 妻籠 (一) 木曽福島 (停) 線 木曽町福島 塩渕	30人
刈払機取扱作業安全衛生教育 学科講習 木曽青峰高校 森林環境科 1年生 (木曽支部)	10月5日	木曽青峰高校 丘の上キャンパス	39人
刈払機取扱作業安全衛生教育 学科・実技講習 木曽青峰高校 森林環境科 1年生 (木曽支部)	10月19日	木曽青峰高校 丘の上キャンパス 新開キャンパス	51人
令和4年度 秋季ふれあい献血活動 (松筑支部)	11月29日	株松筑建設会館	76人 (献血人数64人)
令和5年度 春季ふれあい献血活動 (松筑支部)	4月25日	株松筑建設会館	103人 (献血人数99人)
令和5年度 道路クリーンキャンペーン活動 (松筑支部・松本建設事務所との共催)	7月21日	主要地方道 松本環状高家線 神林橋より西側付近	83人
高校生の実務研修 (2年生を対象) U字溝設置 (安曇野支部)	11月16日	南安曇農業高校第2農場	78人
クリーンアップ安曇野 河川堤防の草刈り、堤防道路の清掃等 (安曇野支部)	6月15日	安曇野市南穂高 (万水川)	204人
高校生の工事現場研修会 (1年生を対象) (安曇野支部)	7月31日	現場見学会 (黒沢川の調節池整備事業) (犀川安曇野流域下水道事務所)	72人
高校生の実務研修 (2年生を対象) 鉄筋の結束・型枠組立 (安曇野支部)	8月31日	南安曇農業高校	74人
高校生の実務研修 (2年生を対象) 建設重機3台による運転実務研修 (安曇野支部)	9月21日	南安曇農業高校第2農場	78人
道路・河川草刈作業ボランティア活動 (大北支部)	7月5日	(国) 148号・(主) 長野大町線 一級河川農具川	90人
河川愛護活動 (アレチウリ駆除作業)	9月6日	一級河川乳川	42人
外来種駆除ボランティア活動	9月26日	一級河川高瀬川	16人
支部周辺道路清掃 (更埴支部)	6月3日	株更埴会館 (千曲市栗佐) 周辺道路の草取り他	13人
春の道路一斉清掃 (須坂建設事務所・須坂支部)	4月26日	国道406号 (仁礼地区)	23人
豊丘ダムまつり2023 (主催: 須坂建設事務所) (共催: 須坂支部、技士会須坂支部、他)	7月30日	須坂市豊丘ダム上流公園	12人
高校生等の現場見学会及び現場実習 (須坂支部・技士会須坂支部)	7月14日・21日・ 26日	長野県須坂創成高等学校	17人
長野工業高校授業支援 (土木科) (長野支部)	11月8日	長野工業高校	約30人
長野工業高校授業支援 (建築科) (長野支部)	11月29日	長野工業高校	約30人
第36回「建設で献血だ！」 (長野支部)	12月16日	長水建設会館	48人
長野工業高校女子学生との座談会 (長野支部)	12月21日	長野工業高校	30人
第37回「建設で献血だ！」 (長野支部)	4月24日	長水建設会館	58人
第17回建設業美化事業ボランティア (長野支部)	6月19日	長野支部管内 県道・市町村道44ヶ所	44社
長野工業高校丁張実習 (長野支部)	6月22日	長野工業高校	55人
長野工業高校インターンシップ (長野支部)	7月27日～8月18日 (内1～3日間)	協力会員会社40社	75人
第15回けんせつ杯中学生軟式野球大会 (長野支部)	9月16日～17日	長野市内 4 グラウンド	約500人
キレイな信州環境美化キャンペーン (長野支部)	10月11日	裾花川左岸	21人
長野工業高校授業支援 (土木科) (建築科) (長野支部)	10月24日	長野工業高校	約60人
高校生現場見学会 中野立志館高校 2年生 (中高支部)	6月14日	・中野市民会館リノベーション工事現場 ・笠倉壁田橋工事現場 ・ふるさと交流拠点整備工事現場	53人
地下横断歩道清掃活動 (北信建設事務所・中高支部)	9月28日	・高丘横断地下歩道 草間横断地下歩道 ・栗林横断地下歩道	30人
高校生現場見学会中野立志館高校 3年生 (中高支部)	10月30日	・民間住宅工事現場 ・豊野地区堤防強化工事現場 ・排水機場本体工事現場	30人
高校生の除雪車両の操作体験実習 下高井農林高校 2年生 (飯山支部)	8月8日	下高井農林高校	29人
高校生の現場見学会 下高井農林高校 3年生 (飯山支部)	8月23日	(一) 千曲川 野沢温泉村 下流 (百合居橋P1A1工区)	29人
建設業協会と長野県が協働沿道美化活動 (飯山支部)	4月10日、10月12日	国道117号、292号の21.4km	128人
令和5年度フラワーロード事業 (飯山支部)	6月12日、 7月3日、25日、 8月7日	国道117号線バイパス	3,450人
安曇野市立明科中学校「職場体験学習」 (県協会 青年部会・女性部会・安曇野支部・県建設部)	5月16日	安曇野市 明科中学校	64人
中野市立高社中学校「職場体験・防災体験学習」 (県協会 青年部会・女性部会・中高支部・県建設部)	5月26日	中野市 高社中学校	90人
中野市立中野平中学校「職場体験・防災体験学習」 (県協会 青年部会・女性部会・中高支部・県建設部)	5月29日	中野市 中野平中学校	124人
2級土木施工管理士試験準備講座 (県協会)	7月31日～8月2日	南安曇工業高校 (リモート講習)	33人
2級土木施工管理士試験準備講座 (県協会)	8月9日～10日	長野工業高校	27人
2級建築施工管理士試験準備講座 (県協会)	8月9日～10日	長野県建設業協会 (長建ビル)	18人
木島平村立木島平中学校「職場体験・防災体験学習」 (県協会 青年部会・女性部会・飯山支部・県建設部)	10月16日	木島平村 木島平中学校	40人

岐阜県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血 (一社) 岐阜土木工業会	6月9日	岐阜土木工業会館	56人
岐阜市内市街地清掃活動 (一社) 岐阜土木工業会双葉会	8月5日	岐阜市内市街地 (JR岐阜駅～岐阜土木工業会館)	33人
岐阜市内市街地清掃活動 (一社) 岐阜土木工業会双葉会	10月7日	岐阜市内市街地 (JR岐阜駅～岐阜土木工業会館)	15人
防災啓発活動 イベント会場来場者を対象にした防災啓発活動 地震体験車、防災クイズ (岐阜県西濃建設業協会)	11月6日	大垣駅通り一帯 シンハツラツ市のイベント会場	500人
ボランティア清掃活動(河川清掃)(岐阜県西濃建設業協会)	4月28日	揖斐川河川敷等、管内の河川敷	約100人
大垣市水防演習参加 重機を使い、大型土嚢を作成、設置を行う (岐阜県西濃建設業協会)	5月28日	大垣市野口町地内 杭瀬川スポーツ公園西駐 車場	18人
ボランティア清掃活動(河川清掃)(岐阜県西濃建設業協会)	10月13日、 15日、22日、 26日、29日	相川河川敷(不破郡垂井町地内) 長良川右岸堤(海津 市平田町地内)、揖斐川右岸堤(安八郡神戸町地内)、牧 田川左岸堤(養老郡養老町地内)、牧田川左岸堤(大垣 市上石津町地内)、長良川右岸堤(安八郡安八町地内)	計56人
大垣市防災フェスティバル参加 パネル展示、小型重機車両の展示及び乗車体験 (岐阜県西濃建設業協会)	10月29日	大垣市立安井小学校	2人
揖斐川流域クリーン大作戦「河川清掃」 合計8会場に分かれ実施 (揖斐建設業協会)	5月27日	一級河川揖斐川流域…揖斐川会場/坂内会場/ 池田会場/春日会場/久瀬会場/藤橋会場 一級河川根尾川流域…谷汲会場/大野会場	参加人員196人 参加車両22台
献血活動 (揖斐建設業協会)	10月17日	一般社団法人 揖斐建設業協会	27人受付 (内17人が献血)
高校生建設現場見学会 関商工建設工学科1.2年生	11月15日	「畜産研究所」環境エリア前期建築工事 公共浸水対策重点地域緊急事業(債務)工事(ICT施工) 公共防災・安全交付金(橋梁補修)(国補正)(翌債)工事 「わかさプラザ」学習情報館改修(建築)	業界 8人 生徒 77人 教員 5人
ボランティア清掃活動	6月8日 7月6日 8月3日 9月7日	美濃市 旧美濃橋右岸河川敷 関市 小瀬関観光ホテル裏河川敷 美濃市 岐阜美濃線中濃総合庁舎前 関市 西田原交差点付近	各日業界30人
地域貢献 献血事業	6月15日	美濃建設会館 美濃市極楽寺746	会員企業関 係者他80人
河川清掃 (郡上建設業協会)	5月20日	長良川河川敷、吉田川河川敷、和良川河川敷、 石徹白川河川敷	約600人
出前講座 (郡上建設業協会)	6月30日	白鳥中学校 大和中学校 明宝中学校 高鷲中学校	82人 56人 25人 25人
ぼたんの移植(郡上建設業協会) ・仮植してあるぼたんの根の洗浄、消毒、花壇への移植	10月28日	古今伝授の里フィールドミュージアムぼたん園	106人 (内協会関係47人)
高校生の建設現場見学会 可児工業高等学校建設工学科1年生	10月26日	新池町3丁目マンションⅡ新築工事 可児御嵩インターチェンジ工業団地創成工事	生徒 35人 協会 10人 教諭 2人
オープンキャンパス (可茂建設業協会)	8月1日・2日	可児工業高等学校校庭	中学生302人 保護者・生190人 教諭・協会員35人
一日体験入学 (可茂建設業協会)	10月5日	可児工業高等学校校庭	中学生 54人 生徒 34人 教諭・協会員17人
ぎふ・ロードプレーヤ(清掃活動) (可茂建設業協会)	11月9日 5月10日	県道各務原美濃加茂線延長2km	土木職員5人 協会 32人 土木職員8人 協会 32人
道路清掃活動(除草空き缶等ゴミ拾い)(多治見建設業協会)	11月9日、11日、22日 6月1日、17日、24日	多治見恵那線・土岐南多治見インター線・ 武並土岐多治見線 3か所	43人(28会員) 44人(28会員)
濃南小学校への出前講座 (多治見建設業協会)	2月27日	土岐市鶴里町 濃南小学校	小学6年生12人 実施者 5人
中津川工業高校インターシップ (多治見建設業協会)	10月3日～5日	瑞浪市稲津町、瑞浪市薬師町、多治見市明和 町の3社	生徒 5人 (担当3社)
打ち水大作戦 (多治見建設業協会)	8月4日	JR多治見駅北広場、多治見市音羽町2丁目	協会員とその 家族・一般参 加者約 50人
集団献血活動 (恵那建設業協会)	7月10日	恵那建設業協会	83人
環境美化活動(道路清掃一斉作業(ロードプレーヤー)) (恵那建設業協会)	6月16日、9月22日 11月25日、7月7日 12月2日、7月7日	中津川市(蛭川・加子母) 管内全域 中津川市(付知)	33人 235人 15人
防災支援活動(訓練活動) ①岐阜県排水ポンプ車操作訓練 ②災害車両操作訓練 (恵那建設業協会)	4月17日 6月23日	恵那市内(阿木川河岸) 大垣市(犀川)	10人
防災支援活動(応急復旧) 災害応援協力協定に基づく大型土のうの設置など (恵那建設業協会)	6月2日	恵那市上矢作地内(国道418号)	5人
イメージアップ・広報活動 (恵那建設業協会)			
①中津川工業高校一日入学体験支援活動 ②高校生インターシップの受入れ(中津川工業高校) ③高校生インターシップの受入れ(恵那農業高校)	7月26日～27日 10月3日～5日 10月17日～19日	中津川工業高校 管内会員企業14社 管内会員企業10社	22人 11人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
清掃活動 (下呂建設業協会・小坂支部)	4月21日、6月8日、 6月23日、9月24日	下呂市小坂町赤沼田地内	45人
清掃活動 (下呂建設業協会・萩原・馬瀬支部)	9月4日	下呂市萩原町上呂〜羽根	10人
道路清掃 (下呂建設業協会・金山支部)	5月20日、7月 17日、9月18日	主要地方道金山明宝線 下呂市金山町岩瀬付近	36人
	5月20日	国道41号下呂市金山町金山	20人
花壇清掃 (下呂建設業協会・竹原支部)	6月16日、7月31日、 8月25日、9月18日	国道257号 下呂市宮地地内	16人
道路清掃 (下呂建設業協会・下呂支部)	9月15日	下呂市少ヶ野地内	5人
道路清掃 (下呂建設業協会青年部)	9月6日、11月15日	下呂市森地内、萩原町羽根地内	15人
国道・県道における清掃活動等／ロードプレーヤー事業 (高山建設業協会)	6月30日	管内9地区	会員60社 73人
宮川クリーンキャンペーン／河川内の清掃(高山建設業協会)	9月27日	宮川内 宮前橋〜中橋(約900m)	会員60社 60人
第1回長良川を美しくしよう運動(岐阜新聞・岐阜放送提唱)(岐阜県建築工業会)	4月16日		148人
第2回 " (岐阜新聞・岐阜放送提唱)	10月22日	長良川河畔	112人
長良川花火大会清掃運動(ぎふ長良川花火大会実行委員会主催)	8月12日		104人
「建築のしごと」親子見学・体験バスツアー (岐阜県建設業協会共催)(岐阜県建築工業会)	8月10日	岐阜県庁舎(岐阜市) 国際たくみアカデミー(美濃加茂市)	73人
高校生の建設現場見学会(岐阜県建設業協会共催) (岐阜県建築工業会)	9月27日	岐阜総合学園高2号館等改築建築工事 華陽フロンティア高本館棟改築工事	44人
ぎふ住宅フェア2023(ぎふ住宅フェア実行委員会主催)展示 ブース出展(岐阜県建築工業会)	10月7日〜8日	OKBぎふ清流アリーナ(岐阜市内)	約8,700人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
静岡県専門高校生サマー体験学習（主催：（一社）静岡県建設業協会）	7月26日～29日	富士教育訓練センター	生徒 19人
道路の清掃活動（（一社）下田建設業協会）	8月30日	下田市・賀茂郡下 主要幹線道路 R135、R136、R414 下田松崎線、下田石廊崎線、須崎柿崎線	110人
カーブミラーの清掃活動（（一社）下田建設業協会）	10月4日	下田市・賀茂郡下 主要幹線道路 R135、R136、R414 下田松崎線、下田石廊崎線、須崎柿崎線	110人
静岡市内清掃（（一社）清水建設業協会）	2月4日	JR清水駅周辺	総数 210人 業界 70人 一般 140人
海岸清掃（（一社）清水建設業協会）	6月24日	三保羽衣の松周辺	総数 250人 業界 70人 一般 180人
清水みなと祭り道路清掃（（一社）清水建設業協会）	8月3日	清水さつき通り一帯（3.8km）	総数 85人 業界 85人
親子現場見学会（（一社）清水建設業協会）	8月22日	コマツテクノセンタ、駿東郡長泉町元長窪跨 道橋補修工事現場	総数 35人 児童 16人
高校生インターンシップ（（一社）清水建設業協会） 静岡農業高等学校 環境科学科環境土木系列2年	8月22日～25日	（一社）清水建設業協会会員企業	総数 22人 業界 11人 一般 11人
「地域あんしん住まい応援隊」（（一社）清水建設業協会） 高齢者世帯を対象に手すり取付、建具の補修等を実施	11月10日	会員 3件 応募 3件	総数 6人 業界 6人
河川清掃活動（草刈り等）（（一社）静岡建設業協会）	6月7日	巴川上流部	総数 93人 行政 4人 業界 89人
親子現場見学会（（一社）静岡建設業協会）	7月29日	富士砂防事務所所管大澤扇状地砂防施設見学	総数 42人 業界 6人 親子 30人 行政 6人
道路清掃（（一社）静岡建設業協会）	8月8日	静岡市役所周辺	総数 880人 行政 763人 業界 117人
献血運動（（一社）静岡建設業協会）	6月9日、11月10日	静岡市駿河区商業施設（セントラルスクエア）	総数 171人 業界 163人 一般 8人
高校生インターンシップ（（一社）静岡建設業協会） 静岡農業高等学校2年生14名 科学技術高等学校2年生2名	8月22日～25日 7月25日～27日	（一社）静岡建設業協会会員企業	総数 69人 業界53人（15社） 生徒 16人
高校生生徒現場研修（出前授業）（（一社）島田建設業協会）	11月15日	静岡県立島田工業高校	業界 6人 生徒 33人
大井川土地改良区との災害協定の締結（（一社）島田建設業協会）	12月13日	大井川土地改良区	大井川土地改良区2人 業界 4人
（一社）島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 （静岡県交通安全対策協議会主催）	12月15日～31日	（一社）島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 160人
道路啓開初動対応確認訓練への参加（静岡県中部地域道路啓開検討会主催）	1月23日	牧之原市内の割当区間	業界 6社
（一社）島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 （静岡県交通安全対策協議会主催）	4月4日～10日	（一社）島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 150人
（一社）島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 （静岡県交通安全対策協議会主催）	6月8日～9月22日	（一社）島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 284人
（一社）島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 （静岡県交通安全対策協議会主催）	7月11日～20日	（一社）島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 213人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
親子現場見学会 ((一社) 島田建設業協会)	8月3日	国道1号藤枝バイパス4車線化工事現場、静岡県地震防災センター、日本平夢テラス	総数 39人 業界 8人 親子 31人
(一社) 島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 (静岡県交通安全対策協議会主催)	9月21日～30日	(一社) 島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 216人
道路啓開初動対応確認訓練への参加(静岡県中部地域道路啓開検討会主催)	10月10日	国土交通省静岡国道事務所との協定割付区間	業界 3社
高校生インターンシップ 島田工業高等学校2年生	10月17日～19日	(一社) 島田建設業協会会員企業	総数 67人 業界 13人 生徒 64人
献血活動 ((一社) 袋井建設業協会)	5月26日、9月15日	袋井建設業協会館駐車場	業界 92人
道路・河川の除草・清掃活動 ((一社) 袋井建設業協会)	6月13日～9月25日	(一社) 袋井建設業協会管内4市1町の道路・河川区域	業界 553人
親子現場見学会 ((一社) 袋井建設業協会)	8月9日	竜洋海岸静岡モデル防潮堤建設現場、浜松城天守閣ほか	総数 41人 児童 32人
高校生現場見学会 浜松工業高校建築科2年生	1月20日	浜松市立西部中学校校舎改築工事現場	36人
どぼくらぶ出前講座への協力(静岡県交通基盤部主催)	7月7日	静岡県立浜松工業高等学校	40人
道路河川等の除草・清掃 ((一社) 浜松建設業協会)	8月4日	安間川、馬込川、権現谷川、細江浜北線、雄踏亀崎細原線、オレンジロード	43社 86人
「ドローン」を活用した災害時活用実証実験 ((一社) 浜松建設業協会)	8月31日	天竜川両岸河川敷(浜松市、磐田市)	75人
道路啓開実動訓練 ((一社) 浜松建設業協会)	9月3日	新都市市民サービスセンター北側	84人
浜松市キャリア講座	9月5日	浜松市立北浜東小学校	42人
どぼくらぶ講座 ((一社) 浜松建設業協会)	9月19日	浜松市立葵ヶ丘小学校	70人
浜松市キャリア講座	9月21日	浜松市立初生小学校	128人
浜松市キャリア講座	9月26日	浜松市立都田南小学校	67人
親子現場見学会 ((一社) 浜松建設業協会)	10月21日	浜松市新清掃工場、新都市市民サービスセンター北側	70人
どぼくらぶ講座 ((一社) 浜松建設業協会)	11月2日	浜松市立積志中学校	30人
若手技術者・経営者セミナー ((一社) 浜松建設業協会)	11月2日	ジ・オリエンタルテラス	60人
道路愛護奉仕活動(除草) ((一社) 天竜建設業協会)	7月28日、8月30日	浜松市天竜区内 国・県道(国道152号線、県道大輪天竜線ほか) 計6路線	業界 61人 (30社)
静岡県立天竜高校 森林・環境科2年生「総合実習」への講師派遣 ((一社) 天竜建設業協会) (砂利置き場設置工事施工、生コン工場見学)	9月5日～11月14日(全7回)	静岡県立天竜高校敷地内、阿多古建設事業協同組合	業界 14人 生徒 12人
夏休み親子現場見学会 ((一社) 天竜建設業協会)	8月2日	馬込川水門建設現場、浜松科学館	16人
災害危険箇所調査 ((一社) 天竜建設業協会)	5月～8月	浜松市天竜区内道路・河川	業界 28社

愛知県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
ラジオ放送を媒体とした広報活動	R4年11月5日 ～R5年10月28日 までの毎週土曜日	CBCラジオ局内 (名古屋市中区新栄)	総数延べ100人 業界関係者 97人 一般 3人
高校生土のうづくり授業 県立中川商業高等学校 1年生 県立稲沢高等学校 2・3年生 県立津島北高等学校 総合ビジネス科 2・3年生	11月10日 12月7日 10月27日	各高等学校グラウンド	総数延べ711人 業界関係者85人 生徒 590人 教職員 30人 自治体関係者6人
高校生現場見学会 県立一宮工科高等学校 建築デザイン科 2年生 県立一宮工科高等学校 建築デザイン科・都市工学科 1年生 県立碧南工科高等学校 建築デザイン科 2年生 県立愛西工科高等学校 建築デザイン科 2年生 県立猿投農林高等学校 環境デザイン科 1年生	11月15日 11月18日 12月13日 10月11日 10月19日	県内土木・建築工事現場	総数延べ210人 生徒 198人 教諭 12人
第17回持続可能な明日を目指すシンポジウムの開催 SDGs実践報告会《未来へのおもいやり》 田中麻莉絵・中部地方環境事務所・名古屋環境局・名古屋 市立芸芸高校(2年) ヤマダインフラテクノス株式会社・富士文化幼稚園。	11月17日	名古屋市公館 (名古屋市中区三の丸)	総勢 146人 官公庁10人・ 学生 10人・ 業界 30人 一般 4人 発表者 8人 園児他 66人 スタッフ等20人
高校生出前授業(座学) 建設業の魅力・特徴 建設業のやりがい	12月13日	県立稲沢高等学校 農業土木科 1年生	総数延べ24人 生徒 19人 教諭 3人 業界関係者2人
ボランティア清掃(名古屋市)	7月20日 9月21日	矢場公園一帯 (名古屋市中区栄) 若宮大通公園一帯 (名古屋市中区栄)	総数延べ30人 委員会委員17人 委員会社員4人 事務局 4人 報道機関5人

三重県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生現場見学会、治田小学校 4 年生	2 月17日	青川砂防工事現場	約40人 生徒 22人 引率教師 2人 桑人建設事務所員12人 いなべ市職員 2人 建設業協会会員数人
高校生出前授業、桑名西高等学校 1 年生	5 月24日	桑名西高等学校	約200人 建設業協会会員19人 生徒 約200人
河川愛護月間に伴う員弁川河川清掃 (桑名建設事務所、桑員河川漁業協同組合、FG会との共催)	7 月21日	桑名市からいなべ市藤原町までの 員弁川堤防・河川敷	75人
三重県立四日市中央工業高校 都市工学科 インターンシップ事業	11月8日～10日	会員企業：27社	2年生 37人
三重県土木教育研究会 工業高校教諭建設現場見学会	12月 6 日	湯の山地区：宗利谷川砂防設備等緊急改築工事	教員 10人
三重県立四日市中央工業高校 都市工学科 出前授業(KY活動 体験)	5 月30日	三重県立四日市中央工業高校 都市工学科	2年生 40人 1社 2人
三重県立四日市中央工業高校 保護者・生徒への建設業界説明	6 月 7 日	三重県立四日市中央工業高校	2社 2人
三重県立四日市工業高校 建築科 インターンシップ事業	7月25日～26日 7月27日～28日 8月5日～6日	会員企業：1 社 会員企業：1 社 会員企業：1 社	2年生 1人 2年生 1人 2年生 1人
三重県立四日市工業高校 建築科 2 級建築施工管理 1 次検定受験対策講習会	8 月19日、 9月2日、16日、30日、 10月14日、28日 計 6 回	四日市建設業会館 4 階 会議室	2年生：24人
四日市市立常盤西小学校 建設現場見学会	9 月27日	常盤西小学校 校庭 建設機械操作体験 ドローンの操縦体験	6年生 142人 教員 4人
令和 5 年度 道路美化ボランティア活動	10月17日	四日市地区 県道富田山城線（四日市東インター付近） 菰野地区 三重県民の森遊歩道	48社85人 5社10人
令和 5 年度 建設業界向け家畜伝染病防疫研修会	10月19日	三重県鈴鹿庁舎	22社25人
令和 5 年度 四日市市空き家無料相談会	10月21日	四日市市総合会館	2社 2人
ふれあいの道事業（道路清掃）（鈴鹿支部）	11月4日、9月1日、 10月 2 日	鈴鹿環状線（中央道路）1.2km区間	31人
大木中学校工事現場見学会（鈴鹿支部）	1 月22日	鈴鹿市立大木中学校	75人
小学生の現場見学会（鈴鹿建設事務所との共催）	9 月25日	四日市関線道路改良工事現場	児童 36人 教員 4人
令和 4 年度ふれあいの道事業（亀山支部）	12月15日	主要地方道 亀山白山線及び 一般県道亀山城跡線 延長1.9km	15人
令和 4 年度ふれあいの道事業（亀山支部）	8 月23日	主要地方道 亀山白山線及び 一般県道亀山城跡線 延長1.9km	15人
令和 4 年度ふれあいの道事業（亀山支部）	10月18日	主要地方道 亀山白山線及び 一般県道亀山城跡線 延長1.9km	15人
海岸清掃活動（津支部）	7 月 8 日	白塚地区海岸	52人
道路・路肩路側に投棄されているゴミの収集撤去清掃	7 月11日	県道松阪青山線 君ヶ野ダム管理事務所～宿広谷橋	総数 16人 業界 16人
道路・路肩路側に投棄されているゴミの収集撤去清掃	10月17日	県道白山津線 津市白山町関ノ宮～津市一志町波瀬 地区	総数 15人 業界 15人
第47回愛宕川・神道川一斉清掃デーに係る河川清掃等に伴う回収廃棄物の運搬	9 月24日	三重県松阪市内（愛宕川・神道川周辺）	3,000人 松阪支部 9(社/人・台)
第61回 氏郷まつり「お祭り広場」“のってみよう 建設体験ゾーン”	11 月 3 日	三重県松阪市内	約15万人松 阪支部 12 (社/人)
五十鈴川河川清掃奉仕活動	12 月 8 日	伊勢市宇治館町 地内ほか 五十鈴川河川敷駐車場 600メートル の区間（兩岸）	協会員 80人
道路美化ボランティア活動（道路のごみ拾い・収集）	11月 2 日 2 月28日	一般国道167号・国道260号 賢島～甲賀口間	合計47人 (23人・24人)
「みえ花と絆プロジェクト」ボランティア活動 (花壇整備・花苗600株を花壇に植え付け)	4月24日・26日 4 月27日	パールロード相差駐車場 面白展望台 国道260号赤松ヶ谷交差点	50人 50人
道路美化ボランティア活動（G 7 三重・伊勢志摩交通大臣会 合開催直前「ごみゼロWEEK」・道路のごみ拾い・収集）	5 月29日	一般国道167号：賢島駅一磯部トンネル間	23人
G 7 三重・伊勢志摩交通大臣会合開催50日前花いっぱい運動 キックオフイベント（フラワーパネルの設置）	4 月22日	志摩市役所正面玄関	100人
テロ対策合同訓練 (G 7 三重・伊勢志摩交通大臣会合に備え鳥羽警察署警備課を 中心にテロ対策鳥羽・志摩地区パートナーシップ構成員と電 話対応、非常事態に備えた訓練)	4 月17日	近鉄賢島駅	50人
中学生の建設現場見学会：鳥羽市立加茂中学校 1・2 年生	3 月14日	鳥羽河内ダム	60人
G 7 三重・伊勢志摩交通大臣会合開催100日前市内一斉清掃活動	3 月 4 日	志摩市内各所、浜島：大矢浜海岸、大王：波 切漁港、志摩：志摩文化会館、阿児：阿児ア リーナ、磯部：道の駅伊勢志摩	640人
伊勢志摩地域進路担当教諭との交流会	1 月24日	鳥羽河内ダム	40人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生の建設現場説明会 名張市立蔵持小学校 3年生 (伊賀支部)	2月7日	上野名張線橋梁下部 名張市蔵持町内	学校関係者 生徒 30人 教諭 4人 協会会員3人
企業説明会 あけぼの学園高等学校 1～2年生 (伊賀支部)	3月16日	あけぼの学園高等学校 体育館	学校関係者 生徒、教員約160人 協会会員2人
みえ花と絆のプロジェクト 歩道プラントへの花植え (三重県伊賀建設事務所の後援)	4月22日	服部橋新都市線 伊賀市緑ヶ丘	協会会員7人
高校生向け出前授業 建築デザイン科2年生 インターロッキング工事の実演 (伊賀支部)	6月27日	伊賀白鳳高等学校 敷地内	学校関係者 生徒 21人 教諭 6人 協会会員10人
道路美化ボランティア活動 (管内 8カ所の道路路肩の清掃、ごみ拾い) (伊賀支部)	9月6日	伊賀管内 8路線	全協会会員 39社52人
道路美化ボランティア活動 (尾鷲支部)	7月26日	紀北町 (三戸紀伊長島場線、相賀停車場線、須賀利港相賀停車場線、矢口浦上里線、南浦海山線) 尾鷲市 (県道中井浦九鬼線)	86人
高校生建設現場見学会：紀南高校1年生	11月10日	【三重県工事】 その他水系大谷川砂防 (管理用道路工) 工事 【国土交通省工事】・42号井戸高架橋 下部工事・42号井戸地区道路建設工事	4人

富山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
令和5年度 高校生の現場見学会 ①桜井高校 土木科 ②南砺福野高校 農業環境科 ③高岡工芸高校 土木環境科土木コース ④富山工業高校 建築工学科	①11月10日 ②8月30日 ③9月22日 ④10月25日	・黒部宇奈月線道路総合交付金(改築)道路改良第2工区工事 ・若栗生地線県単独道路改良フレッシュアップ交差点改良工事 ・東海北陸自動車道4車線化事業 城端トンネル工事 ・利賀ダム転流工事 ・内島高架橋上部工事 ・北陸電気保安協会本店ビル新築工事 ほか	①生徒23人 教員2人 ②生徒29人 教員2人 ③生徒29人 教員2人 ④生徒30人 教員2人
女子大学生と女性技術者による現場見学会 (富山大学 都市デザイン学部)	9月29日	・富山市立西部中学校改築(その2)工事 ・(都)牛島蛸川線舗装1～3工区工事 ・六家立体 祖父川橋下部その3工事	1～2年生20人
女子大学生と女性技術者による意見交換会 (富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科) ・技術者の仕事内容、労働環境等に関する説明 ・女性技術者(9名)との意見交換	10月23日		1～3年生27人
黒部芸能創生 黒部踊り街流し参加 (建設業PR、イメージアップ) (入善支部)	8月6日	黒部市	青年部 11人
魚津市児童発達支援センター つくし学園での草刈り、砂場 への抗菌砂補充、看板等の補修 (魚津支部)	7月21日	魚津市	青年部 15人
大岩不動橋上流の除草、空き缶拾い、稚魚放流 (立山支部)	8月3日	上市町	青年部 23人 一般 21人
越中八尾「おわら風の盆」駐車場の草刈・集草・安全柵の設 置 (富山支部)	8月22日	富山市八尾町	青年部 28人 一般 55人
高岡古城公園の清掃活動 (高岡支部)	7月26日	高岡市	青年部 30人 一般 130人
小矢部川公園(河川敷)の清掃、ゴミ拾い (砺波支部)	8月3日	砺波市	青年部 22人
主要地方道小矢部津端線、桜町交差点及びJOMON/パーク駐車場の 7月12日～13日未明の豪雨災害による土砂の除去(小矢部支部)	7月28日	小矢部市	青年部 12人

石川県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「はだしの王国奥卯辰2023」(石川県土木部との共催にて参加) (石川県建設業協会)	10月9日	石川県奥卯辰山健民公園	215人
「歩いてみよう!のと里山海道」(羽咋郡市建設業協会との共 催にて参加) (石川県建設業協会)	5月14日	のと里山海道(千鳥台交差点～大根井CT)	850人
「建設業出前講座」石川県立小松工業高校 建設科 3年生 (建設業労働災害防止協会石川支部との共催にて実施)(石川県建設業協会)	9月14日、 10月4日、18日 7月1日～9月30日	石川県立小松工業高校	33人
「高校生のインターンシップ」(石川県建設業協会)			
金沢市立工業高校 建築科 2年生	7月24日～28日	派遣先企業および施工中の建設現場	6人
金沢市立工業高校 土木科 2年生	8月1日～4日	//	1人
石川県立羽咋工業高校 建設・デザイン科 2年生	10月18日～20日	//	17人
「高校生等の現場見学会」(石川県建設業協会)			
金沢市立工業高校 建築科 1年生	12月13日	湖南学院職員宿舍等新営工事	37人
金沢市立工業高校 建築科 2年生	12月14日	金沢市内にて建設中の民間マンション	38人
金沢市立工業高校 建築科 3年生	6月20日	白山市立高速鉄道ビジターセンター、金沢市民サッカー場	40人
石川県立小松工業高校 建設科 1年生	7月4日	加賀弘福 西島道路、金沢大学付属病院機能強化棟	34人
石川県立小松工業高校 建設科 2年生	7月4日	鶴ヶ丘県営住宅2号棟、小松流域治水出張所 梯川改修工事	25人
石川県立羽咋工業高校 建設・デザイン科 2年生 建築コース	7月10日	鶴ヶ丘県営住宅2号棟、羽咋駅周辺賑わい交流拠点工事	10人
石川県立羽咋工業高校 建設・デザイン科 2年生 土木コース	7月10日	袋板屋川砂防工事、羽咋道路酒井舗装工事	14人
金沢市立工業高校 土木科 1年生	7月12日	清水谷バイパス、金沢外環状道路北寺町橋梁下部工事	39人
石川県立羽咋工業高校 建設・デザイン科 1年生	7月14日	金沢東環状道路観法寺地区改良その2工事、白山市立高速鉄道ビジターセンター	39人
金沢科学技術大学 建築学科	10月5日	いしかわ動物愛護センター建設工事、けんせつフェア北陸2023in金沢	38人
金沢工業大学 工学部 2年生～3年生	10月13日	小松バイパス八幡舗装工事	19人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「富士教育訓練センター派遣事業」建設業への就職内定者を対象とした入職前研修 (石川県建設業協会)	2月11日～18日	富士教育訓練センター	24人
高校生との意見交換会：羽咋工業高校 建設・デザイン科1・2年生（羽咋都市建設業協会・七尾鹿島建設業協会との共催で実施） (石川県建設業協会)	12月6日	石川県立羽咋工業高校	45人
「県内工業系高校における学業成績優良卒業生への表彰」：石川県立羽咋工業高校・石川県立小松工業高校・石川県立翠星高校 (石川県建設業協会)	R4年2月		4人
クリーンビーチいしかわ：海岸清掃活動（金沢建設業協会）	5月28日	専光寺海岸	100人
金沢マラソンボランティア：給水班・走路班（金沢建設業協会）	10月29日	市内一円	126人
建設フェア北陸見学会（石川県建設業協会・金沢建設業協会協賛）	10月5日	西部緑地公園：県産業展示館	90人
高校生の建設現場見学会（石川県建設業協会・金沢建設業協会共催）	6月20日	白山高速鉄道ビジターセンター他	40人
金沢市立工業高校 建築科	7月12日	清水谷バイパス他	40人
金沢市立工業高校 土木科			
けんせつ特別授業 建設ってなに？ 朝霧台小学校6年生 つみ木でまちづくり 犀桜小学校2年生 (金沢建設業協会)	9月6日 10月3日	朝霧台小学校 犀桜小学校	101人 66人
献血活動 (白山野々市建設業協会)	3月2日	白山市役所駐車場	20人
高校生との意見交換会：翠星高校環境設計分野2年生 (白山野々市建設業協会)	3月10日	石川県立翠星高等学校	18人
土嚢備蓄ボランティア (白山野々市建設業協会)	5月26日	松任総合運動公園駐車場	46人
海浜粗大ごみ撤去作業 (白山野々市建設業協会)	7月5日	小舞子海岸	47人
白山清掃登山・外来植物除去活動 (白山野々市建設業協会)	8月1日～2日	白山室堂	15人
道路クリーンキャンペーン (白山野々市建設業協会)	8月8日	白山市内県道、市道	約400人
羽咋工業高校生との意見交換会（建設業について理解を深めてもらうことや、建設業の役割などを学習） (七尾鹿島建設業協会)	12月6日	石川県立羽咋工業高校	65人
七尾城山クリーン作戦（地域づくり協議会の城山まつりに協賛し、会場周辺の草刈り、清掃活動など） (七尾鹿島建設業協会)	9月7日	七尾城址周辺	40人
小学生に建設業について興味を持ってもらうため、小学生向きの建設業に関する図書を管内の13小学校へ156冊寄付した。 (七尾鹿島建設業協会)	3月23日、27日	七尾市長室、中能登町長室	6人
社会貢献活動の一環として、管内の七尾市、中能登町の社会インフラ整備費として金銭を寄付 (七尾鹿島建設業協会)	3月23日、27日	七尾市長室、中能登町長室	6人
能登和倉万葉マラソンクリーン作戦（万葉マラソン実行委員会に協賛し、マラソン当日迂回ルートとなる道路の道路清掃活動を実施） (七尾鹿島建設業協会)	3月3日	七尾市和倉町市道	40人
キャリア教育（職業人に学ぶ） 小松市立中学校訪問 (小松能美建設業協会)	11月17日 1月17日 1月31日 2月6日 10月3日 10月17日	板津中学校1年 安宅中学校1年 寺井中学校1年 丸内中学校1年 南部中学校1年 国府中学校1年	生徒 30人 生徒 20人 生徒 35人 生徒 20人 生徒 25人 生徒 20人
小松工業高等学校企業ガイダンス (小松能美建設業協会)	12月20日	石川県立小松工業高等学校	2年生 40人 2年生 40人 会員 20人
石川県立小松工業高等学校1年生との意見交換会 (小松能美建設業協会)	7月12日	石川県立小松工業高等学校	1年生 36人 会員 20人
こまつ水辺クリーンデー (小松能美建設業協会)	3月19日	木場潟周辺及び梯川水系4支線	会員 50人 市民2,000人
クリーンビーチいしかわinこまつ (小松能美建設業協会)	6月10日	安宅海岸及び草野海岸	会員 30人
梯川支線ゴミ拾い活動 (小松能美建設業協会)	9月16日	梯川4支線周辺	会員 200人
献血奉仕活動 (小松能美建設業協会)	11月18日	小松能美建設業協会	参加者 70人
石川県立小松工業高等学校 (小松能美建設業協会)	10月17日～19日	小松市・能美市企業	参加生徒22人 受入れ企業11社
私立小松大谷高等学校 (小松能美建設業協会)	11月15日～17日	小松市・能美市企業	参加生徒40人 受入れ企業19社

福井県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「川守・道守推進事業」河川および道路等の清掃活動 (福井地区建設業協会)	7月25日 7月31日 8月19日 8月27日 8月28日 9月15日	県道鯖江・美山線足羽川左岸 九頭竜川河川敷 足羽川河川敷 鷹巣・鮎川・蒲生海水浴場 九頭竜川河川敷 旧国道8号線（鯖江市下司町～鳥羽町）	52人 54人 82人 137人 21人 36人
道路清掃 (鯖江建設業会)	11月8日	北陸新幹線敦賀駅舎及び車両基地建設現場	34人
高校生の現場見学会・敦賀工業高校建築システム科1年生（敦賀建設業協会）	7月14日	敦賀市麴山赤崎海岸	46人
清掃ボランティア活動 海岸・道路沿いゴミ拾い（敦賀建設業協会）	6月10日	敦賀市古田刈公園	11人
令和5年度敦賀市防災訓練 水防訓練・大型土のう制作、設置（敦賀建設業協会）			
道路清掃奉仕活動 (若狭地区建設業会)	10月12日	県道上中田島線 県道新道安賀里線	90人
建設技術フェア はたらくくるまジュラシックパーク（建設機械イベント）	9月6日～7日 6月3日～4日	福井県産業会館 かつやま恐竜の森	約3,200人 約5,700人

滋賀県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第44回チャリティゴルフ大会 (滋賀県建設業協会)	11月11日	近江カントリー倶楽部	87人
「滋賀けんせつみらいフェスタ (青年部・広報委員会)」 (県、建産連との共同) (滋賀県建設業協会)	9月23日	希望ヶ丘文化公園	約4,100人
滋賀県総合防災訓練 (滋賀県建設業協会)	10月15日	陸上自衛隊滋賀里訓練場	大津支部会員17人 本部 4人
勤務時間内における大規模地震発生時の初動活動訓練(大津支部)	11月16日	大津支部管内	支部会員31社
令和5年度「ふれあい月間」に伴う道路清掃活動(大津支部)	8月5日	県道能登川長浜線(京滋バイパス 合流部～市界の約2.8km)	57人
令和5年度滋賀県総合防災訓練 (大津支部) 「大津土木事務所との勤務時間外における大規模地震発生時の初動活動」	10月15日	陸上自衛隊滋賀里訓練場パトロール箇所・本 6部箇所	97人 10人
大規模地震訓練 (湖南支部)	7月13日	草津・栗東・守山・野洲市内	41人
湖南広域消防局との合同訓練 (湖南支部)	9月25日	守山市役所旧庁舎	35人
甲賀市立希望ヶ丘小学校グラウンド整備工事 (甲賀支部)	11月16日	希望ヶ丘小学校グラウンド	50人
出前授集(担い手育成事業) 甲賀市立水口小学校 4年生 湖南市立三雲小学校 4年生 甲賀市立柏木小学校 5年生 (甲賀支部青年部会)	12月15日、1月 24日、2月2日	水口小学校、三雲小学校、柏木小学校	10人
中学生の職場体験学習受け入れ甲賀市立城山中学校 2年生 (甲賀支部青年部会)	6月20日～22日	サンヒルズ北秋葉宅地開発工事現場横田橋他 補助道路修繕工事現場 東湯舟甲賀線補助道路整備工事現場 信楽保育園・幼稚園新築工事現場	13人
みなくち子どもの森除草作業 (甲賀支部)	7月10日	みなくち子どもの森施設内タンポポの丘一帯	68人
甲賀市立綾野小学校グラウンド整備事業 (甲賀支部)	8月29日	綾野小学校グラウンド	61人
出前授業(担い手育成事業) 甲賀土木事務所と共催甲賀市立 水口小学校 4年生 甲賀市立綾野小学校 4年生 (甲賀支部青年部会)	10月11日、31日	水口小学校、綾野小学校	12人
滋賀県警察・各種団体企業合同地域貢献活動(災害活動訓練) (東近江支部)	11月17日	滋賀県東近江警察署 緑町職員宿舎解体工事現場	23人
東近江支部地域貢献活動(高木の枝払い・枯水溝清掃作業等) (東近江支部)	12月16日	近江八幡市立桐原東小学校 東近江市立箕作小学校 日野町立西大路小学校 竜王町立竜王中学校	12人 14人 16人 10人
令和4年度第2回湖東土木事務所「勤務時間内」大規模地震 発生時の初動活動訓練 (彦根支部)	12月19日	湖東土木事務所管内域	35人
令和4年度「県下一斉清掃運動(湖東地区)」 (彦根支部)	11月30日	南三ツ谷公園湖岸	36人
令和5年度第1回湖東土木事務所「勤務時間内」大規模地震 発生時の初動活動訓練 (彦根支部)	6月29日	湖東土木事務所管内域	40人
令和5年度「びわ湖を美しくする運動(湖東地区)」(彦根支部)	6月30日	彦根市松原水泳場	45人
令和5年度彦根市防災訓練 (彦根支部)	8月26日	彦根市立彦根中学校	40人
近畿府県合同防災訓練(米原市総合防災訓練) (長浜支部)	10月16日	米原市双葉中学校グラウンド	37社37人
湖北環境事務所主催「環境美化の日」環境美化活動(長浜支部)	12月1日	長浜市豊公園周辺	41社41人
長浜市主催「ごみゼロ大作戦」環境美化活動 (長浜支部)	6月1日	長浜市高橋町地先さいかち浜周辺	42社42人
長浜土木事務所主催大規模地震発生時の初動活動訓練 (長浜支部)	8月1日	長浜支部管内	49社49人
令和4年度 滋賀県勤務時間内大規模地震発生時の初動活動訓練 (伊香支部)	11月14日	滋賀県長浜土木事務所木之本支所 建設業協会伊香支部 長浜市木之本町赤尾(被害想定箇所)	13人
令和4年度 滋賀県「環境美化の日」環境美化活動(伊香支部)	12月1日	豊公園	16人
令和5年度 長浜市「ごみゼロ大作戦」 (伊香支部)	6月1日	県道塩津浜飯浦線 約3 km	14人
よご認定子ども園グラウンド整備 (伊香支部)	6月10日	長浜市立よご認定子ども園	19人
令和5年度 滋賀県大規模地震発生時初動活動訓練(伊香支部)	10月15日	伊香支部管内5路線パトロール国道303号(2路線) 他	6人
木之本中学校グラウンド整備 (伊香支部)	10月21日	長浜市立木之本中学校	16人
環境美化の日美化活動 (高島支部)	11月30日	高島市今津町県道海津今津線	108人
びわ湖の日環境美化活動 (高島支部)	7月3日	高島市今津町県道海津今津線	108人
令和5年度高島地域水防訓練	6月14日	高島市新旭町太田地先安曇川左岸河川敷	100人
勤務時間内大規模地震初動活動訓練 (高島支部)	7月27日	高島市内 国道303号他主要幹線道路	63人
勤務時間外大規模地震初動活動訓練 (高島支部)	10月15日	高島市内 国道303号他主要幹線道路	57人

京都府

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
京都府立宮津天橋高等学校主催 「第24回小学生建築デザイン展」後援 (宮津支部)	11月4日、5日	京都府立宮津天橋高等学校	
第41回愛の献血 (京都支部青年部会)	12月9日	京都市役所前広場	74人
福祉施設あやべ作業所への激励訪問(例年の餅つき訪問の代替え) お菓子のプレゼント (綾部支部)	12月17日	福祉施設あやべ作業所	入居者対象
クリーン運動(宇治支部)、美化活動(綴喜支部)、地域貢献活動(亀岡支部)	11月6日、19日、21日	宇治支部、綴喜支部、亀岡支部内	
京都市立京都工芸学院高等学校 現場見学会 (亀岡支部)	10月21日	新名神高速道路	生徒 30人
京都市立工芸学院高等学校・京都府立宮津高等学校 京都府立農芸高等学校インターンシップ (亀岡支部)	11月中 7～8月中	京都府内	生徒 37人
宮津府立宮津天橋高等学校 現場見学会 (亀岡支部)	8月22日	京都市西京区総合庁舎整備工事	生徒 22人
京都府除雪機械出動式 (福知山支部)	11月24日	福知山除雪機械管理車庫	小学生 31人
京都府建設業魅力向上プロジェクト【京都府主催に協力】(福知山支部) 各イオンモール内でブースを設け出展	8月20日、26日	京都府内	不特定多数

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
京都府建設業魅力向上プロジェクト【京都府主催に協力】 舞鶴工業高等専門学校 (福知山支部)	12月4日、8月26日	舞鶴工業専門学校	小中学生
京都府建設業魅力向上プロジェクト【京都府主催に協力】 「もくフェスIN中丹」体験イベント (福知山支部)	10月7日	福知山三段池公園	不特定多数
第16回桂川流域クリーン大作戦 (京都支部)	2月24日	京都府 桂川流域	26人
【R5年度 京都府総合防災事業【京都府主催に協力】 展示車両、ブースほか】 (京都支部)	9月3日	京都府亀岡市保津川水辺公園	不特定多数

兵庫県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
全県一斉奉仕作業 道路、河川、公園等の放棄物の回収、草刈り、清掃等	R4年11月1日～ R5年10月31日	県内各地	総数1,433人
地域安全まちづくり活動の推進 子どもたちが安全で安心して暮らせる地域づくりを行うため、「子ども110番の車」パトロール事業	通年	県内各地	総数 619社 1,222台

和歌山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生（学童保育）向け3Dプリンタ試作見学会 (和歌山県建設業協会)	12月16日	串本・旧錦富小学校	30人
中学生の建設現場見学会 (海南地方建設業協会) ・海南市立第三中学校 ・海南市立海南中学校	11月24日 1月31日	有田海南道路冷水地区トンネル工事現場見学会 有田海南道路冷水地区トンネル工事現場見学会	80人 85人
建設業体験会 (日高組合、青年部) 参加者 128名 (小中学生及び保護者) バックホウ運転体験、高所作業車試乗	11月13日	みなべ町生涯学習センター	25人
西川河川清掃 (日高組合、美浜町支部)	1月18日、1月25日	西川：令和新橋から美浜大橋	25人
道路清掃 (日高組合、日高町支部) ※5月26日日高町長より感謝状	3月27日	日高町小坂地内	25人
鹿島、須賀神社 清掃 (日高組合、みなべ町支部)	4月20日、4月27日	鹿島、須賀神社	70人
商工会イベント 職業体験 (日高組合、みなべ町支部) バックホウ運転体験	5月13日	JAみなべ統合選果場	20人
海水浴場 施設整備 (日高組合、日高町支部) 産湯海水浴場海開きを前に休憩施設を整備	7月7日	産湯海水浴場	21人
紀州路クリーン作戦 (日高組合、印南町支部)、除草、ごみ拾い	7月8日	印南町道、切目王子神社、叶王子神社	40人
花火会場清掃 (日高組合、御坊市支部) 除草作業、整地作業 ※9月6日御坊市長より感謝状	8月18日、8月22日	日高川河川敷	91人
紀州路クリーン作戦 (日高組合、日高川町支部) 除草、高枝伐採、カーブミラー清掃	8月26日	日高川町内全域道路	170人
紀州路クリーン作戦 (日高組合、由良町支部) 除草、集積	8月26日	由良町内全域道路	10人
かえる橋清掃 (日高組合、印南町支部) 9月3日開催、和歌山紀中サイクルフェスタHUB23前に スタート地点の橋梁を清掃 高所作業車による清掃活動	8月29日	和歌山県日高郡印南町印南 かえる橋	5人
紀の川河川清掃 (和歌山地区) (紀の川漁業協同組合主催)	7月19日	川辺橋右岸下 (和歌山市永穂地内)	70人
亀の川溢水による土砂清掃活動 (和歌山県海草振興局建設部主催)	6月4日	和歌山市紀三井寺地内	43人
「一級河川紀の川」河川清掃活動 (伊都支部)	7月19日	橋本市紀の川河川敷	33人

鳥取県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
国道交差点付近の清掃、花壇の除草・花植え (鳥取県東部建設業協会)	5月30日、7月27日、 11月2日	国道9号線の鳥取市南隈交差点付近	業界 60人 (延べ)
ボランティア清掃活動 (伐採・草刈・道路清掃) (鳥取県八頭建設業協会)	6月26日	霊石山 (鳥取市河原町片山)	業界・自治体 計55人
「道の日」関連道路清掃活動 (鳥取県八頭建設業協会)	8月9日		業界 19人
天神川の自然環境保全及び魚類の維持増殖に向けた放流活動(ヤマメ成魚) (主催 天神川漁協 共催：鳥取県中部建設業協会)	2月28日	一級河川天神川水系	業界・漁協・自治体 計17人
天神川の自然環境保全及び魚類の維持増殖に向けた放流活動(鮎稚魚) (主催 天神川漁協 共催：鳥取県中部建設業協会他)	4月27日	一級河川天神川水系	業界・漁協・自治体 計11人
道路の美化清掃活動「道の駅」周辺の美化清掃活動 (草刈、除草、ゴミ拾い) (鳥取県中部建設業協会)	5月23日	琴浦町「道の駅ポート赤碕」 北栄町「道の駅大栄」	業界 36人
幼稚園児との花壇の製作と建設機械乗車体験 (鳥取県中部建設業協会青年部)	5月31日	北栄町立大誠こども園園庭	業界 23人 園児 70人 計 93人
倉吉農業高等学校生・県立産業人材育成センター倉吉校生の アスファルト舗装工事体験実習 (鳥取県中部建設業協会青年部)	6月21日(座学) 6月28日(実技)	倉吉農業高等学校地内	業界 11人 高校生 8人 人材センター生徒3人 教師 2人 自治体 6人 計30人
天神川の自然環境保全及び魚類の維持増殖に向けた放流活動(渓流魚稚魚) (主催天神川漁協 共催：鳥取県中部建設業協会他)	7月3日	一級河川天神川水系	業界・漁協・自治体 計19人
道路の美化清掃活動「道の駅」周辺の美化清掃活動 (草刈、除草、ゴミ拾い) (鳥取県中部建設業協会)	7月11日	琴浦町「道の駅ポート赤碕」 北栄町「道の駅大栄」	業界 35人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「道の日」道路美化活動（鳥取県中部建設業協会青年部）	8月10日	中部総合事務所～パープルタウン	業界 20人
道路の美化清掃活動「道の駅」周辺の美化清掃活動（草刈、除草、ゴミ拾い）（鳥取県中部建設業協会）	9月26日	琴浦町「道の駅ポート赤碕」 北栄町「道の駅大栄」	業界34人
倉吉農業高等学校生の測量技術研修会（鳥取県中部建設業協会青年部）	10月20日	琴浦町野井倉「一向平野営場」	業界 15人 生徒 5人 教師 2人 計22人
日野川一斉清掃（鳥取県日野建設業協会）	5月10日～12日	日野郡内の日野川全域（支流を含む）で各社にて実施	業界約200人

島根県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第1回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（島根県建設業協会）	7月27日	国道9号（宍道湖沿）の歩道 嫁島地下道・袖師地下道	青年部 36人 女子会（漂の会）25人 松江国道事務所33人
第2回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（島根県建設業協会）	11月22日	くにびきメッセ周辺道路・松江北公園	青年部 24人 女子会（漂の会）18人 松江县土27人 松江市 19人
松江農林高等学校 現場見学会（島根県建設業協会）	7月6日	松江市内工事現場	青年部会6人 生徒 24人 教諭 3人
松江農林高等学校 現場見学会・ICT体験実習（島根県建設業協会）	10月16日	松江市内工事現場・農林高校	青年部会7人 生徒 24人 教諭 3人
災害救助訓練への参加（安来地区協会）	7月3日	安来市赤江町（資材置場）	業界 4人 警察 14人 その他 7人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（島根県建設業協会）	7月31日 8月10日	中海ふれあい公園 雲南市木次町 旧木次町役場周辺 県道安来木次線	業界 8人 自治体 6人 業界 13人 自治体 20人
飯南高校職業体験（バックホー・ドローン・除雪車体験）（島根県建設業協会）	7月10日～11日 9月13日～14日	島根県中山間地域研究センター	業界 27人 自治体 10人 高校生1年12人 教員 2人 高校生2年12人 教員 2人
第24回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（仁多地区協会 青年部）	8月22日	国道314号線、国道432号線、県道玉湯吾妻山線	業界 15人
令和4年度放水路記念館まつり（島根県建設業協会）	11月19日	斐伊川放水路事業記念館	業界 24人 自治体数十人 一般約1,400人
出雲農林高校一日体験入学支援事業（出雲地区協会 青年部会）	8月22日	出雲農林高等学校	業界 21人 中学生 60人 高校生 10人 教員 2人
第24回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 高校生との現場見学会・意見交換会（出雲地区協会 青年部会） 出雲農林高等学校 環境科学科 2年生 出雲西高等学校	9月9日 10月24日	出雲大社周辺・出雲大社境内 ・出雲市大社町 神門通り線（2工区）防交差交付金（街路）工事第9期 ・出雲市東神西町 令和5年度出雲湖陵道路東神西地区改良工事 ・出雲建設会館（意見交換会） ・斐伊川放水路事業記念館 横 空き地（建設機械搭乗体験） ・斐伊川放水路事業記念館	39人 業界 21人 高校生 29人 教員 3人 自治体 5人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（園内外の草刈り・枝切・土砂撤去・畑移転）（邑智地区協会：青年部会）	7月28日	邑南町立出羽保育園	会員 12人
「道の日」奉仕活動（邑智地区協会：青年部会）	8月8日	仁摩邑南線（約4km）	会員 12人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（浜田地区協会 青年部） 浜田市アダプト（清掃・美化活動）プログラム 「どうどう公園」ボランティア清掃（浜田地区協会）	7月19日 7月28日	浜田市久代町「アクアス海岸」 浜田市黒川町「どうどう公園」	会員・事務局18人 会員・事務局30人
青少年育成事業（建設業の未来へ） 建設用機械の試乗や展示機械の見学 戸田小学校 1, 2年生（益田地区協会青年部会）	11月2日	戸田小学校グラウンド	生徒 15人 教員 5人 業界等 13人
高津川一斉清掃（益田地区協会）	11月27日	上流：飯田橋河川敷公園から下流：JR山陰本線鉄橋付近まで	業界 59人 自治体等90人
海岸清掃（益田地区協会及び青年部会、益田県土整備事務所等）	7月4日	益田港海岸（高津）	業界 84人 島根県等90人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 道路清掃（益田地区協会青年部会、益田県土整備事務所）	8月8日	国道191号 約1.9km	業界 13人 島根県 45人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生現場見学会 鎌手小学校 3, 4 年生	9 月13日		生徒 8人 教員 2人 業界 15人 自治体等6人
吉田小学校 4 年生	9 月19日		生徒 111人 教員 6人 業界 15人 自治体等4人
中西小学校 5 年生	9 月28日	山陰道三隅・益田道路 大浜第2高架橋 PC上部工工事	生徒 18人 教員 2人 業界 15人 自治体等4人
安田小学校 4 年生 (益田地区協会、浜田河川国道事務所、益田市)	10月 4 日		生徒 33人 教員 3人 業界 15人 自治体等4人
西郷小学校防災学習授業（5 年生児童対象） (隠岐地区協会 青年部会)	3 月 7 日	隠岐の島町立西郷小学校 (隠岐の島町西町)	児童 40人 教諭 3人 業界5人(講師含む) 自治体 4人
第16回隠岐の島ウルトラマラソンへの協力（仮設トイレ設置 及び土のう製作） (隠岐地区協会)	6 月18日	隠岐の島町一円	仮設トイレ設置 土のう製作1社
第24回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（グレーチング 内及び道路の清掃活動） (隠岐地区協会 青年部会)	7 月10日	西郷港周辺	業界 9人 自治体 28人
令和 5 年度 西郷南中学校職業説明会（1 年生生徒対象） (隠岐地区協会 青年部会)	7 月13日	隠岐の島町立西郷南中学校 (隠岐の島町下西)	生徒 24人 教諭 2人 業界 2人 自治体 1人
西郷南中学校職業体験学習（1 年生生徒対象） (現場見学及び角材切り体験等） (隠岐地区協会 青年部会)	10月26日	西郷布施線（福浦橋）メンテ補助 (橋梁耐震) 工事（補正） (隠岐の島町東郷地内)	生徒 24人 教諭 2人 業界 6人 自治体 4人
隠岐水産高等学校 建設工事体験学習会（1・2 年生生徒対象） (建設機械試乗、建設資材を用いた製作体験、角材切り体験、 ドローン操作体験） (隠岐地区協会)	10月30日	飯田岸壁 (隠岐の島町飯田地内)	生徒 68人 教諭 11人 業界 15人 自治体 4人

岡山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
令和 4 年度 倉敷市総合防災訓練 くらしき防災フェア 主催：倉敷市（協賛：倉敷、児島、吉備、浅口支部）	11月 5 日	倉敷みらい公園、アリオ倉敷、三井アウトレッ トパーク倉敷	来場者数 約10,000人
津山加茂郷フルマラソンの為の道路清掃 (津山支部)	4 月13日	県道 6 号線加茂町スポーツセンター周辺約20km	11人
「道路ふれあい月間」に伴う道路清掃 (津山支部)	8 月27日	県道452号線及び鶴山通り周辺約20km	8人

山口県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
環境美化活動（棕野緑地公園） (大島支部)	7 月11日	周防大島町	22人
錦川流域河川一斉清掃 (岩国支部)	7 月23日	岩国市	65人
環境美化活動（道路清掃） (柳井支部)	8 月 1 日	柳井市	30人
河川環境美化活動 (玖珂支部)	6 月27日	岩国市	32人
未武川河川清掃 (周南支部)	7 月 2 日	下松市	25人
天然記念物ツルのネグラの整備 (周南支部)	10月 7 日	周南市	9人
道路環境美化活動 (周南支部)	7 月14日	周南市	100人
防府環境美化推進活動（※昨年の実績） (防府支部)	11月30日	防府市	117人
公共施設クリーンアップ作戦 (山口支部)	7 月14日	山口市	214人
公共施設クリーンアップ作戦 (宇部支部)	8月8日～30日	宇部市	135人
「道の日」クリーンアップ作戦 (下関支部)	10月12日	下関市	27人
河川愛護月間行事（木屋川） (豊田支部)	5 月31日	下関市	9人
粟野川河川公園クリーンアップ作戦 (豊田支部)	7 月13日	下関市	22人
河川愛護月間行事（田部川） (豊田支部)	7 月14日	下関市	10人
公共施設クリーンアップ作戦 道路の部 (美祢支部)	8 月 4 日	美祢市	53人
新型コロナワクチン集団接種ボランティア (長門支部)	6月3日～11月11日	長門市	40人
「長門市海岸清掃の日」海岸一斉清掃 (長門支部)	7 月 2 日	長門市	76人
三隅中地区クリーンウォーク (長門支部)	7 月28日	長門市	11人
献血活動 (長門支部)	8 月 4 日	長門市	20人
萩市河川海岸一斉清掃 (萩支部)	7 月16日	萩市	28人

香川県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
香東川河畔公園周辺（高松市鶴市町）において、部会会員の従業員及び家族がゴミ袋と火ばしを持って清掃活動を実施。この活動は、平成9年から毎年実施しているもので、本年度で26年目である。（建築部会）	6月17日	高松市	150人
香川県土木建設会館において、献血運動を実施。 9:00～12:30 献血車1台（高松支部）	6月7日	高松市	39人
第4回土木の日道路清掃道路管理者（香川県高松土木事務所）、道路施工者（香川県建設業協会高松支部）合同で県道太田上町志度線（国道193号線～サンメッセ東（新道供用区間）、9:00～1時間程度4ブロックに分け上下線8班に分け実施（高松支部）	11月10日	高松市	60人
中讃建設業協同組合会館において、献血活動を実施いたしました。（中讃支部）	7月13日	善通寺市	97人
役員、会員、青年部会員80名余りが参加予定。参加者本人は基より家族、従業員に対してもモラル、マナーアップに関心をもってもらうために、「土木の日」に合わせ県道の清掃活動を実施した。（西讃支部）	11月11日	観音寺市	80人
香川県建設業協会西讃支部会館において、9:30～16:00まで（献血車1台：香川県赤十字献血センター）献血を実施した。（西讃支部）	2月25日	観音寺市	50人
戸川ダム公園内の草刈及びゴミ拾いを実施。（西讃支部）	8月6日	三豊市	18人
香川県建設業協会西讃支部会館において、9:30～16:00まで（献血車1台：香川県赤十字献血センター）献血を実施。（西讃支部）	7月1日	観音寺市	69人
香川用水記念公園内の草刈及びゴミ拾いを実施。（西讃支部）	8月6日	三豊市	12人
安全広報委員会が、長尾支部全会員を対象に、職場における熱中症予防対策の一環として、熱中症予防対策パンフレット及びスポーツドリンクの配布を実施する。（長尾支部）	7月24日	三木町・さぬき市・東かがわ市	8人
三木町保健センター並びにひとの駅さんぽんまつにて献血活動を実施した。（長尾支部）	7月27日 8月3日	三木町・東かがわ市	20人
主要地方道高松長尾大内線（旧バイパス）三木～大内（約30km）において、「奉仕活動中」ののぼりをたてた2トトラック、軽トラック7台を出動させ、歩道側溝の空き缶、ペットボトルやたばこの吸い殻の収集等を実施する。（長尾支部）	8月10日	三木町・さぬき市・東かがわ市	55人
小豆総合事務所保健福祉課で行われた献血に会員各社従業員が参加。（小豆支部）	4月28日	小豆郡	20人
小豆支部会員各社の割当パトロール区域において、ガードレール、フェンス等の危険箇所チェックを実施。又、主要道路においては、カーブミラー清掃、砂・泥等の取り除き、空き缶・空瓶・ゴミ収集等を実施。（小豆支部）	8月10日	小豆郡	65人

徳島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
①高校生の建設現場見学会 ・つるぎ高校（土木・建築）2年	11月7日	・県内4現場（県西部）	総数 133人 生徒 19人 教師 2人 行政 2人 業界 7人
・徳島科学技術高校（土木・建築）2年	11月10日	・県内4現場（県央域）	生徒 52人 教師 4人 行政 2人 業界 6人
・阿南光高校（都市環境システム科）1年	11月15日	・県内4現場（県南部）	生徒 25人 教師 3人 行政 2人 業界 6人
②高校生建設現場体験セミナー ・徳島科学技術高校1年	11月16日	・県内1現場（県央域）	生徒 29人 教師 2人 業界 1人
③建設業PR広告の掲載（地元新聞紙面広告） 地元新聞の朝刊に業界のPR広告を掲載。 インフラ整備の重要性や地域の守り手などの役割を広く周知。	R4年 1月5日、1月13日		
④県内建設系学科で学ぶ全生徒へのヘルメットの提供 ・徳島科学技術高校（土木、建築） ・つるぎ高校（土木、建築） ・阿南光高校（都市環境システム） （令和5年度に上記学科に入学予定の人数分を提供）	R4年 3月		・61人分 ・既存ヘルメットに貼る校章シール100枚 ・25人分
⑤世界で戦うために in 科技高 ・体幹トレーナー木場克己氏による体幹トレーニング ・迫田さおり氏（女子バレーボール元日本代表）によるバレー指導	7月6日		徳島科学技術高校 ・サッカー部55人 ・バレーボール部32人 ・小学生バレーチーム5人など
⑥遍路みち清掃活動 各支部管内遍路みちの清掃（ゴミ・空き缶の回収、雑草の除去及びその処理）	9月30日	徳島県内全域の遍路みち	参加者数（会員） 271社535人
⑦とくしま防災フェスタへの出展 ・ホイルローダーシミュレーターの操縦体験	10月22日	徳島県立防災センター	体験者 60人 （年少者中心） 業界 5人

愛媛県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血	(各支部) 11月1日～10月31日	愛媛県内各地	令和4年度 888人
クリーン愛媛運動	(各支部) 6月～7月	愛媛県内各地	
愛ロード・愛ビーチ・愛リバー清掃活動	(各支部) 11月1日～10月31日	愛媛県内各地	
チャリティ募金寄附	(青年部会) 2月8日 2月15日 2月16日	きほく優愛の里 松山乳児院・松山信望愛の家 ひまわりの家	
愛媛県土木部防災訓練	(各支部) 6月7日	愛媛県内各地	
愛媛県総合防災訓練	(上浮穴支部) 8月26日	久万高原町	
愛媛県原子力防災訓練	(西予支部) 10月12日	西予市	
高校生工事現場見学会			
吉田高校機械建築工学科1年生	11月11日	水産研究センター種苗生産棟新築工事	31人
松山聖陵高校建築科2年生	1月26日	肱川地区複合公共施設新築工事	29人
高校生インターンシップ			
新居浜工業高校情報電子科・環境化学科・電気科2年生	11月7日～11日		18人
吉田高校機械建築工学科2年生	11月16日～18日		9人
西条農業高校環境工学科2年生	8月22日～23日	協会会員受入事業所・工事現場等	5人
松山工業高校土木科2年生	10月10日～13日		34人
松山工業高校建築科2年生	10月10日～13日		36人
新3K・ヒーローケンセツ広告を愛媛新聞に掲載	12月17日	愛媛県内	
新3K・ヒーローケンセツ広告を愛媛新聞LINE及びon-lineに掲載(アンケートも実施)	3月10日～31日	愛媛県内	

高知県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会【インターンシップ】(本部)	9月1日～2日	高知県内	総学生数53人
安芸桜ヶ丘高校 環境建設科土木専攻/環境建設科建築専攻	9月5日～6日		
高知工業高校 土木科	11月7日～8日		
宿毛工業高校 建設科土木専攻	12月15日～16日		
高知農業高校 環境土木科			
高校生の現場見学会			
宿毛工業高校1年生	(幡多支部連合会) 12月15日		学生 131人
安芸桜ヶ丘高校2・3年生	(本部) 12月15日		教員 9人
高知高専	(本部) 12月19日		協会 2人
高知農業高校1年生	(本部) 12月20日		
高知工業高校1年生	12月20日		
道路清掃	(各支部ごとに実施) 8月8日	高知県内	業界 870人
県民一斉美化活動			
主催：高知県	2月5日	高知市内	業界 143人
県民一斉美化活動	(高吾北支部)		
主催：高知県林業振興・環境部 環境対策課	2月5日	高知市・佐川町	業界 6人
こうち建設フェスタ2023	(本部) 11月19日	高知市中央公園	
バザーの実施	(高知県建設業協会 女性部) 11月19日	高知市中央公園	
土木工事1日体験会	8月20日	安芸会場 高知会場 中村会場	総数 28人 生徒 22人 教員 3人 保護者 3人 他 業界数名
土木関係出前授業	(室戸支部)		総数 58人 業界 9人 生徒 40人 教師 5人 自治体 4人
測量機器関係及びパソコンによる3次元映像について	6月13日	室戸市立室戸中学校	
中学校への出前授業	(安芸支部)		土木事務所2人 教員 4人 青年部 12人 生徒 54人 土木事務所4人 教員 8人 青年部 19人 生徒 54人
出前授業	(南国支部・高知県土木部)		香南地区小学生 30人 高知県土木部・東土木事務所支部会員10人
座学・バックホウ・ドローン操作	7月28日	香南市青少年センター	
出前授業	(嶺北支部・本山事務所)		総数 55人 業界 18人 生徒 35人 教師 2人
「土木の日」道路清掃活動	(安芸建設協会) 11月18日	県道安芸物部線・高台寺川北線 県道安田東洋線	会員 17人 会員 10人
「土木の日」道路清掃活動	(南国支部) 11月18日	香美市 国道195号線 香南市 龍河道公園線/県道香北野市線/県道春野赤岡線 南国市 国道195号線/県道春野赤岡線	総数 61人 協会会員38人 東土木事務所23人
「土木の日」道路清掃	(高知支部) 11月12日	市内各所	総数 99人 業界 78人 自治体 21人
「土木の日」行事 道路清掃	(伊野支部) 11月18日	県道新居中島線・土佐伊野線 庄田伊野線・高知南環状線 国道194号外1路線 計12路線	総数 56人 (高知県28人 業界 32人)

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「土木の日」道路清掃活動（高吾北支部・越知町建設業協会）	11月18日	県道・国道	総数 115人 業界 85人 自治体 30人
「土木の日」清掃活動（高陵支部）	11月18日	高陵管内国道・県道	総数 70人 協会 50人 須崎土木20人
「土木の日」清掃活動 ガードレール洗浄、ゴミ拾い等（高幡支部）	11月18日	旧十和地区管内国道381号線	総数 98人 業界 70人 自治体 28人
青色回転灯装備車両によるパトロール 主催：高知県タウンポリス連絡協議会（嶺北支部）	毎月20日前後	嶺北地域	総数 60人
各会社付近の道路清掃 主催：88クリーンウォーク四国（嶺北支部）	8月8日	嶺北地域	総数 25人
防犯パトロール（高知支部）	3月20日 6月19日 9月19日	高知市中心部	総数 40人 業界 35人 その他(警察) 5人
県民一斉美化活動（高知支部）	2月5日	高知市中心部	総数 57人 業界 57人
児童見守り活動（伊野支部）	11月～ 毎月第3木曜 の登校日	いの小学校他、16小学校で学校 近隣の横断歩道・校門前等で 挨拶見守りを行う	総数 24人 業界 24人
ロードボランティア 国道・剣道の清掃活動（伊野支部）	1月26日 2月15日 9月26日 10月17日	国道194号・国道33号・県道横浪 公園線・県道庄田伊野線等 計4路線	総計 125人 業界 125人
県民一斉美化活動（高陵支部）	2月5日	須崎市内	総数 11人 協会 11人
小中学校対象の出前授業 （高知県土木部との共催）（高陵支部）	5月10日	須崎市立朝ヶ丘中学校 ・2年生	総数 66人 協会 11人 土木 5人 生徒 50人
小中学校対象の出前授業 （高知県土木部との共催）（高陵支部）	6月5日	須崎市立朝ヶ丘中学校 ・1年生	総数 75人 協会 10人 土木 5人 生徒 60人
88クリーンウォーク（高陵支部）	8月8日	高陵管内国道・県道・市町道	総数 108人 協会 108人
一條大祭 防犯パトロール（中村支部）	11月22日	四万十市内	総数 23人 業界 23人
県民一斉美化活動（中村支部）	2月5日	中村合同庁舎 （四万十市古津賀周辺）	総数 26人 業界26社26人
中村西中学校出前授業（中村支部・幡多土木・幡多地域本部）	3月16日	四万十市立中村西中学校	総数23人以上 業界 3人 生徒 20人 教員 不明
	7月10日	四万十市立中村西中学校	総数94人以上 業界 10人 生徒 84人 教員 不明 県職員 不明
宿毛工業高校出前授業（中村支部）	7月12日	宿毛市立宿毛工業高校 ・土木専攻3年生	総数28人以上 業界 8人 生徒 20人 教員 不明
宿毛工業高校出前授業・就職説明会（中村支部）	10月17日	宿毛市立宿毛工業高校 ・土木専攻2年生	総数35人以上 業界 15人 生徒 20人 教員 不明
中村納涼花火大会 防犯パトロール（中村支部）	8月26日	四万十市内	総数 19人 業界 19人
ヤイト側納涼祭防犯パトロール（宿毛支部）	7月	ヤイト川納涼祭会場と周辺	※納涼祭が中止 のため活動せず
宿毛祭り花火大会防犯パトロール（宿毛支部）	10月8日	花火大会会場と周辺	総数 20人
宿毛市立片島中学校出前授業 （宿毛支部・県土木事務所宿毛事務所）	7月14日	宿毛市立片島中学校 ・3年生	生徒 44人 宿毛支部10人 他、土木事務所
ドローン操作・ミニバックホウ体験 産業祭 働く車（土佐清水支部）	12月3日	海の駅	協会 12社
土佐清水市内一斉清掃（土佐清水支部）	6月4日	土佐清水市内一円	協会 12社
清水中学校出前授業（土佐清水支部・県土木事務所）	7月13日	土佐清水市立清水中学校 ・2年生 （屋内・屋外で実施）	生徒 59人 協会 12社 教員 5人 県土木 9人
88クリーンウォーク	8月8日	土佐清水市内一円	協会 12社

福岡県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血活動	11月1日～12月31日	福岡・北九州市内献血ルーム5カ所及び献血 車3日間（福岡1日、久留米2日間）	協力者382人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 福岡工業高校建築科1年生、浮羽工業高校建築科1・2年生 大川樟風高校環境システム科2年生 大牟田高校土木科2年生	11月7日、8日、21日 9月20日、10月26日	福岡大学大学寮新築工事 県立筑紫中央高校普通教室棟改築工事 R3年度市営ニュー堅粕新築工事 福岡東総合庁舎敷地オフィスビル新築工事 福岡201号九郎原トンネル新設工事	154人

佐賀県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学校出前授業講座 ((一社) 建設業協会佐賀)	11月8日	佐賀市立南川副小学校4年生	小学生 30人 業界 19人
	12月6日	佐賀市立日新小学校5年生	小学生 73人 業界 16人
清掃ボランティア ((一社) 建設業協会佐賀)	11月19日	佐賀県庁前歩道東西600m及び北側 パルーンミュージアムに亘り	業界 136人
佐賀市民向け防災用土のう製作 ((一社) 建設業協会佐賀)	6月7日	嘉瀬川防災ステーション	業界 110人
献血活動 ((一社) 建設業協会佐賀)	9月27日	(一社) 建設業協会佐賀会館2階	業界 50人
	5月16日	神埼市北部地区	自治体 3人 業界 35人
カーブミラー磨き及びメンテナンス((一社) 神埼建設業協会)	9月21日	神埼市千代田町内	自治体 3人 業界 35人
カーブミラー清掃活動 ((一社) 鳥栖建設業協会)	11月5日 10月20日	鳥栖市内 鳥栖市内	業界 25人 業界 26人
「こども建設新聞」発行 ((一社) 小城建設業協会)	11月18日	小城市・多久市の小・中学校、高校へ配布	
中学校出前授業講座 ((一社) 小城建設業協会)	11月18日	小城市立三日月中学校	中学生 50人 業界 11人
「令和4年度小城市津の里子どもまつり」働く車の展示・試乗 ((一社) 小城建設業協会)	2月19日	牛津公民館駐車場内	子ども200人 業界 18人
大雨のよる道路河川巡視 ((一社) 小城建設業協会)	7月3日 7月10日	小城市、多久市	業界 100人
台風よる道路河川巡視 ((一社) 小城建設業協会)	8月10日	小城市、多久市	業界 50人
職業講話 ((一社) 小城建設業協会)	8月22日	小城市立三日月中学校	中学生 30人 業界 4人
砂場周辺の整地清掃 ((一社) 小城建設業協会)	10月21日	あしかり子ども園	業界 12人
こども建設新聞贈呈式 (建設新聞社との共同で子供向けの ピーアール新聞を9,500部制作し、地区内全小中学校及び関係 機関に配布) ((一社) 伊万里建設業協会)	11月16日	山代東小学校	3人
土木の日記念事業 ((一社) 伊万里建設業協会) (以前県道沿線に植栽したモミジの剪定及び除草作業)	11月18日	国見道路沿線	25人
伊万里ウォーク(伊万里支部及び伊万里ウォーク実行委員会) (伊万里市が実施するウォーキングイベントのコース整理員) ((一社) 伊万里建設業協会)	11月23日	伊万里市内道路及び市民センター	689人
佐賀県排水ポンプ車訓練 ((一社) 伊万里建設業協会) (防災協定に基づく佐賀県排水ポンプ車の運用訓練)	5月25日	二里町 有田川河川敷	60人
三者合同安全パトロール(伊万里支部、監督署、佐賀県) (地区内で施工中現場の合同安全パトロール) ((一社) 伊万里建設業協会)	10月31日	地区内(6か所)	36人
献血推進活動 ((一社) 杵島建設業協会)	6月30日	杵島建設会館	78人
砂場抗菌砂入替作業 ((一社) 藤津建設業協会)	3月10日	嬉野幼稚園	5人
ガードレール清掃 ((一社) 藤津建設業協会)	3月22日	鹿島川沿(横沢橋～御神松橋間)	17人
清掃活動 ((一社) 藤津建設業協会)	6月29日	太良町白浜海水浴場	12人
青年部ボランティア活動 ((一社) 佐賀県建設業協会) 保育園・幼稚園の砂場の「砂場クリーン作戦」	10月21日、24日、28日 R5年11月28日	県内保育園・幼稚園7ヶ所	

長崎県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
R4 高校生のインターンシップ 長崎県立大村工業高等学校 建設工業科	11月8日～10日	会員事業所・現場	会員企業10社 生徒 40人
R5 高校生のインターンシップ 長崎県立諫早農業高等学校 農業土木科	10月16日～18日	会員事業所・現場	会員企業10社 生徒 39人
R5 高校生のインターンシップ 長崎県立佐世保工業高等学校 土木科	10月17日～19日	会員事業所・現場	会員企業10社 生徒 39人
R4 就職説明会 長崎県立佐世保商業高等学校	3月13日	長崎県立佐世保商業高等学校	生徒 29人
R4 就職説明会 長崎県立上五島高等学校	3月16日	長崎県立上五島高等学校	生徒 38人
R5 就職説明会 長崎県立大村工業高等学校 建築科	10月6日	長崎県立大村工業高等学校	生徒 37人
大規模災害発生時における支援活動に基づく被災現場への出動 (初動) 対応訓練(佐世保支部・長崎県県北振興局・佐世保市)	11月15日	準用河川 母ヶ浦川 市道新烏帽子岳線 木原農道法面 二級河川 早岐川	業界 100人 自治体 20人
鳥インフルエンザ防疫作業(埋却) (北部支部)	12月21日～26日	鳥インフルエンザ発生養鶏場(佐世保市江迎町)	延べ80人
調川川堤防決壊に伴う応急復旧作業 (北部支部)	9月16日～21日	二級河川調川川護岸(松浦市調川町下免)	延べ37人
一般県道喜内瀬鍋串辻線法面崩壊に伴う応急復旧作業 (北部支部)	9月15日～16日	一般県道喜内瀬鍋串辻線(松浦市福島町原免)	延べ15人
志佐川護岸崩壊に伴う応急復旧作業 (北部支部)	9月23日～10月1日	二級河川志佐川護岸(松浦市志佐町池成免)	延べ40人
秋・愛の献血運動：社会福祉活動 (諫早支部)	11月29日	諫早建設会館	12人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
はたらく乗りものフェスタ（バックホウ・高所作業車等の展示、乗車体験）：イメージアップ・広報活動（諫早支部・諫早市）	2月19日	ゆうゆうランド干拓の里	10人
諫早市防災訓練：防災支援活動（諫早支部・諫早市）	5月21日	諫早市八天町 光江橋（本明川河川敷）	18人
大規模災害支援協定に基づく初動対応訓練：防災支援活動（諫早支部・長崎県県央振興局）	6月23日	諫早市内	15人
春・愛の献血運動：社会福祉活動（諫早支部）	6月29日	諫早建設会館	16人
第66回 諫早万灯川まつり（万灯の配置、点火、撤去）：イメージアップ・広報活動（諫早支部・諫早商工会議所）	7月25日	本明川河川敷	21人
中学校への建設業説明会：イメージアップ・広報活動（諫早支部・長崎県県央振興局）	10月24日	諫早市立小長井中学校	49人
高校生の建設現場見学会 長崎県立大村工業高等学校（大村支部）	11月8日～10日	（仮称）野呂邦暢住宅跡地測量業務 ボートレース大村スタンド棟別館建設工事 新大村駅周辺土地区画整理事業 民間工事（建築） 大村市総合運動公園整備工事	4人 2人 8人 2人 4人
2022土木の日イベント（土木・建設パネル展 in 浜んまち）（長崎支部・長崎県建設工業協同組合）	11月12日	長崎浜町「ベルナード観光通り」	業界一般 30人 多数
R4 土木の日イベント（島原支部）	10月22日	北有馬ふれあい交流広場グラウンド	190人
R4 土木の日イベント（大村支部）	11月13日	ボートレース大村第5駐車場	32人
R4 土木の日イベント 絵画コンクール（市内小学校）展示、市内工事写真展示（壱岐支部・長崎県壱岐振興局・壱岐市）	11月8日～20日	一支国博物館	約300人
R4 土木の日イベント パネル写真展、建機試乗、測量、角材早切り、土木についてのクイズ（五島支部）	11月20日	五島市勤労福祉センター	80人
R4 土木の日イベント パネル写真展、建機試乗、ダンス披露、釣り大会、つばき木工房展示、ホットボンド（五島支部）	11月20日	青方港（大曾地区）	300人
R5 土木の日イベント（大村支部）	10月1日	ボートレース大村第5駐車場	28人
R5 土木の日イベント（島原支部）	11月19日	島原復興アリーナ駐車場	500人
「土木の日 in 対馬2022」建設機械試乗会、建設業絵画展、土木のおしごと〇×クイズ、鉄腕ダンブ、対州馬の乗馬体験他（対馬支部・長崎県対馬振興局・対馬市）	11月20日	対馬市	1,206人
年末年始の安全安心まちづくりキャンペーン（大村支部・大村市暴力追放運動推進協議会）	12月8日	プラザ大村・コレモ大村広場	10人
大村湾沿岸一斉清掃（大村支部・大村湾をきれいにする会）	3月12日	松原海岸	15人
大規模災害支援活動に基づく初動対応訓練（大村支部・長崎県県央振興局）	6月23日	県央振興局管内（大村市内）	25人
「おおむら夏越まつり」における防非キャンペーン（大村支部・大村市暴力追放運動推進協議会）	8月2日	大村駅前	5人
大村湾沿岸一斉清掃（大村支部・大村湾をきれいにする会）	9月3日	松原海岸	18人
地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり長崎県大会」（大村支部・長崎県防犯協会連合会・長崎県暴力追放運動推進センター・長崎県・長崎県警察本部）	10月13日	シーハット大村さくらホール	5人
長崎県総合防災訓練（対馬支部・長崎県）	5月28日	対馬市	55人
郷ノ浦町坪触トンネル工事現場見学会（壱岐支部）	11月19日	郷ノ浦町坪触トンネル	80人
R4 土木に関する絵 展示（五島支部）	12月1日～1月31日	福江港ターミナル2階	多数
パネル・スケッチ展（五島支部）	11月26日～12月9日	上五島石油備蓄記念会館2階	多数
清掃活動（五島支部）	12月17日	福江港ターミナル周辺	45人

大分県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第3回土木建築フェスタ in 大分駅前（青年部会）	10月14日	大分駅前北口広場	業界 80人 工業高校生40人 国交省・県40人 来場者数3,461人
年末年始安全パトロール（別府支部）	12月6日	別府市内4カ所建設現場 （建築現場2カ所・土木現場2カ所）	6人 （支部労務安全委員4人 大分労働基準監督署2人）
安全衛生週間安全パトロール（別府支部）	7月6日	別府市内4カ所建設現場 （建築現場2カ所・土木現場2カ所）	6人 （支部労務安全委員4人 大分労働基準監督署2人）
通学路伐採 海岸線伐採・草刈り（杵築日出支部）	11月29日	日出町藤原（町道荒平線） 日出町大神（糸ヶ浜海浜公園）	42人
草刈（杵築日出支部）	8月1日	杵築市山香町小武（市道高熊山線）	13人
除草清掃（杵築日出支部）	8月29日	杵築市大内（市道オレンジロード杵築線）	28人
応援宣言 （国東高等学校環境土木科3年生）（国東支部）	1月16日	国東高等学校	総数 29人 生徒 15人 業界 7人 自治体 4人 高校 3人
青少年の健全育成 （Jリーグ観戦チケット贈呈）（国東支部）	2月20日	国東市長応接室	業界 2人
土地改良施設愛護推進活動 （海岸堤防草刈作業）（国東支部）	7月7日	竹田津海岸	総数 50人 業界 18人 自治体外35人
河川愛護月間美化活動 （河川堤防草刈作業）（国東支部）	7月14日	田深川右岸河川敷	総数 70人 業界 25人 自治体 45人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会支援活動 (駅伝コースの事前整備(草刈り作業)) (国東支部)	9月18日	県道豊後高田安岐線 県道糸原杵築線 県道国東安岐線	業界 20人
令和4年度「年末年始無災害運動」の安全パトロール (豊後高田支部)	12月15日	市内一円	10人
土地改良施設愛護活動 草刈り作業 (豊後高田支部)	7月7日	西国東干拓2工区	14人
河川愛護美化啓発活動 草刈り作業及びゴミ拾い (豊後高田支部)	7月21日	桂川右岸河川敷及び道路敷	18人
年末安全パトロール (宇佐支部)	12月5日	宇佐市安心院町 尾立津房木裳線道路改良工事 宇佐市院内町 副地区路床工事 宇佐市江須賀 污水管渠埋設工事	総数 13人 関係機関7人 支部 6人
年末安全パトロール (臼杵支部)	12月7日	管内現場 3箇所	協会員 6人 監督署 2人 自治体 3人
年末安全パトロール (佐伯支部)	12月2日 2月21日	佐伯市管内 佐伯市管内	18人 16人
アユの放流 (宇佐支部)	4月13日	駅館川白岩橋	総数 30人 関係機関 28人 支部 2人
青年部ボランティア活動 (宇佐支部青年部)	4月21日	宇佐市南宇佐 宇佐小学校 宇佐市下時枝 北部中学校	総数 25人 関係機関2人 支部 23人
河川愛護月間における河川清掃活動 (宇佐支部)	7月27日	駅館川河川敷	総数 130人 関係機関 42人 支部 88人
暴力絶滅冬季広報活動 (中津支部)	12月3日	中津市飲食街	業界 1人 他団体 50人
年末工事安全パトロール (中津支部)	12月8日	管内現場 3箇所	業界 11人 労働基準監督署2人 発注自治体4人
中津東高生徒の現場見学会 (中津土木事務所主管) (中津東高校土木科2年生) (中津支部)	12月7日	日田山国道路	業界 2社 青年部会員7人 高校生 38人 自治体複数名
地元高校卒業生の積極採用に関する「応援宣言」 (中津東高校土木科3年生) (中津支部)	1月23日	中津東高	業界 3人 (内青年部員2人) 中津土木3人 高校生 29人 教諭 1人
献血活動 (大分支部)	8月22日、 10月12日、13日、 19日、20日	管内8会場	179人
宇佐支部青年部	7月6日	宇佐教育会館	4人
中津支部青年部	11月6日	イオンモール三光	業界 4人 (献血者61人)
中津支部青年部	12月1日	中津市役所	業界 3人 (献血者79人)
中津支部青年部	3月27日	中津市役所	業界 4人 (献血者83人)
中津支部青年部	7月19日	中津市役所	業界 4人 (献血者59人)
大規模地震の道路啓開研修会 ※研修後に、大規模災害に備えて、協会員22社により計162 台の緊急通行車両の事前届出がなされた。 (中津支部)	2月20日	中津建設会館	業界 30人 中津土木2人
交通安全活動 (中津支部青年部)	5月11日	国道213号もち吉交差点周辺	業界 11人
うなぎ稚魚放流(山国川漁協主催) (中津支部)	5月16日	山国川漁協中間育成施設	業界 3人
土地改良施設愛護活動(除草作業) (北部振興局主管) (中津支部)	7月7日	市内大貞(役人池周辺)	業界25社(51人) 他団体 29人
交通安全活動 中津支部青年部	7月20日	国道213号もち吉交差点周辺	業界 6人
「道の日」における道路清掃活動 (中津土木事務所主管) (中津支部)	8月1日	県道中津高田線(6km)	業界 50人 自治体等61人
チャリティーゴルフコンペ等の収益金を中津市に寄付 (中津支部青年部)	9月27日	中津市役所	業界 7人
第13回(中津市)職人フェスティバルに参加 ※ショベルカーを使ったスーパーボール掬い(参加児童364人) ※高所作業車試乗 (中津支部青年部)	10月1日	中津市内商店街	業界 11人 (重機オペレーター4人) 高所作業車 (樹アクトイオ)
中津東高生徒の避難抗児学会 (中津東高校土木科2年生) (中津支部青年部)	10月20日	日田山国道路	業界 7人 高校生 38人
インターンシップ(現場実習) (中津東高校土木科2年生) (中津支部青年部)	10月24日～26日 1日:座学、 2～3日:現場学習	中津建設会館(24日) 協会員事業所(25、26日)	インターンシップ参加企業 11社 高校生19人
高校生の建設現場見学会 日田林工 建築土木科生1年生 (日田支部)	11月8日	玖珠川河川災害復旧関連緊急工事 よろづや旅館改修工事 講義「公共工事の流れについて」	75人
千年灯り 竹切ボランティア活動 (日田支部)	9月8日	日田市財津町 山林	80人
献血活動 (日田支部)	10月12日	日田建設業会館	6人
小規模集落応援隊 草刈り作業及び側溝清掃活動(豊後高田支部)	7月30日	豊後高田市真玉湯原橋	5人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小規模集落応援隊 草刈り作業 (豊後高田支部)	8月27日 9月10日	豊後高田市真玉横泊 豊後高田市真玉泊	3人 3人
小規模集落応援隊 (宇佐市への協賛) (宇佐支部)	7月12日 7月16日 7月16日 7月29日 9月30日	宇佐市熊自治区本谷地区 宇佐市安心院町仏木地区、村部地区 宇佐市院内町小野川内地区 宇佐市院内町和田地区 宇佐市院内町滝貞地区	14人 5人 6人 14人 8人
小規模集落応援隊 (市道沿線の除草) (日田支部)	9月24日	日田市大鶴本町地区	11人
小規模集落応援隊活動 古後かまどヶ岩秋祭り (玖珠支部)	11月19日 4月1日	玖珠町古後地区 玖珠町古後地区	7人 5人
小規模集落応援隊活動 田代自治区草刈り (玖珠支部)	8月5日	九重町田代自治区	2人
小規模集落応援隊 (竹田支部)	9月24日 (輪地切り) 9月28日 (草刈り、しめ縄作り) 9月30日 (祭り神輿担ぎ)	竹田市刈小野地区 竹田市九重野地区 竹田市九重野地区	業界 6人 地区住民11人 業界 5人 地区住民10人 業界 2人 地区住民等
小規模集落応援隊 (津久見支部)	6月26日 10月5日	四浦大元地区 四浦久保泊地区	12人(自治体含む) 12人(自治体含む)
土地改良施設愛護月間活動 草刈り清掃 (玖珠支部)	6月23日	大原野農道	10人
「河川愛護月間」に伴う河川草刈り作業 (大野支部)	7月24日	大野川 (犬飼大橋上流右岸) の 河川管理道	自治体 30人 業界 26人
「道の日」道路一斉清掃作業 (大野支部)	8月4日	国道326号沿線 (第一生命～松谷トンネル) 5 km	自治体 60人 業界 24人
「竹楽」諸作業ボランティア 竹田支部	11月17日, 21日, 2月4日, 10月7日	竹田市内	業界 12人 他ボランティア多数
おおいた灯りのサポーター事業 (道路照明灯 2 基の維持管理 費サポート) (竹田支部)	R5年2月10日から R8年2月9日まで	竹田市街地 2 カ所	
牧野「野焼き」ボランティア活動 (竹田支部)	3月5日	竹田市刈小野地区	総数 20人 業界 3人
稲葉川草刈・清掃作業 (竹田支部)	7月13日	竹田駅前周辺 稲葉川	総数 100人 業界 18人
名水祭り・河川プール開き協賛 (竹田支部)	7月16日	竹田市入田地区	
「精霊流し」流し灯ろう提供 (竹田支部)	8月15日	竹田駅前 稲葉川	
「道路ふれあい月間」清掃活動 (竹田支部)	8月24日	竹田市内国道、県道 5 カ所	総数 40人 自治体 24人 業界 16人
献血活動 (臼杵支部)	12月21日	臼杵市役所 州射場	協会青年部他59人
河川愛護啓発活動 (鮎の稚魚放流) (臼杵支部)	5月18日	臼杵川 (石仏付近)	総数 50人 (内協会員5人)
河川愛護月間に伴う河川清掃 (臼杵支部)	7月26日	臼杵川周辺 (深田親水公園一帯)	協会員 10人 市 10人 臼杵土木10人
土木未来教室 (臼杵支部)	10月21日 10月25日	新臼杵港 現場 新臼杵港 現場	協会員 5人 現場社員10人 うすき塾生徒数 20人 協会員 5人 現場社員12人 南野津小学校 川登小学校 2校合計16人
安全パトロール (津久見支部)	12月8日	管内現場 4 箇所	20人(自治体含む)
つくみ産業博in津久見高校 (津久見支部)	12月13日	津久見高校	5人
清掃活動 (つくみ港まつり花火大会に伴う草刈り) (津久見支部)	7月11日	つくみん公園	9人
河川愛護月間に合わせた津久見川清掃活動 (津久見支部)	7月26日	図書館前親水公園	13人
津久見川河川激甚災害対策特別緊急事業竣工記念イベント (津久見支部)	9月3日	津久見川	7人
ふるさと防災教育 (津久見支部)	10月20日 10月24日	青江小学校 堅徳小学校	18人(自治体含む) 20人(自治体含む)
清掃活動 (ふるさと振興祭に伴う草刈り) (津久見支部)	10月24日	つくみん公園	10人
土木フェスタ (佐伯支部)	12月17日	さいき桜ホール	100人
河川愛護啓発活動 (内水面環境保護による稚魚放流繁殖事業) (佐伯支部)	4月～10月	佐伯市宇目宗太郎地区 重岡地区、小野市地区、藤河内地区	10人

宮崎県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会 (宮崎県建設業協会)	11月7日 11月8日 9月20日 10月23日 10月26日	新宮崎県体育館建設工事、ポレスト橋通り新 築工事、県道宮崎西環状線古城工区 (仮称) 古城二号橋下部工 (P4) 工事、丸谷第3砂防 堰堤左岸工事、県プール整備運営事業 ほか	総数 160人 生徒 145人 教師 15人
みやざき建設技術フェア (宮崎県建設業協会)	11月18日～19日	宮崎県体育館	総数3,500人
橋の日 県内一斉ボランティア活動 (宮崎県建設業協会青年部)	8月4日	県内10地区の橋	協会 310人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
大淀川クリーンアップ2023清掃活動 (NPO法人 大淀川流域ネットワーク)	10月21日	大淀川河川敷	協会 5人 団体 710人
献血運動 (宮崎地区建設業協会)	5月23日	イオンモール	協会 30人 一般 27人
青島美化奉仕作業 (宮崎地区建設業協会)	7月15日	青島海水浴場	協会 103人 自治体 18人
道路愛護デー (宮崎県)	8月27日	県庁付近の道路	総数 500人
道路愛護デー 清掃活動 (日南地区)	8月13日	市内の国・県・市道の清掃活動	協会 36人 一般 360人
道路河川愛護デー 清掃活動 (都城地区建設業協会)	8月4日	都城市・三股一円	協会 138人 一般 18人
道路愛護デー 清掃作業 (宮崎県高岡土木事務所)	8月23日	宮崎市高岡町・国富町・綾町内主要道路	協会 30人 業界 7人
日南市産業まつり会場ボランティア清掃活動 (日南地区建設業協会)	9月21日	日南市大藤河川敷	協会 40人
奉仕活動 (都城地区建設業協会青年部) (都城地区建設業協会女性部)	8月4日 10月24日	五十市小学校 神柱公園	協会 38人 協会 77人
奉仕活動 (東諸地区建設業協会青年部)	7月11日	穆佐小学校・高岡中学校	協会 17人
秋の全国交通安全キャンペーン 注意喚起チラシや景品の配布・声掛け (小林地区建設業協会女性部)	9月26日	小林市百笑村駐車場内	協会 21人
クリーン国富事業 河川清掃 (国富町)	7月2日	三名川・深年川河川敷	協会 24人 業界 2人
大型連休前における県管理道路及び工事箇所の夜間パトロール (高鍋地区)	4月20日	宮崎県高鍋土木事務所管内	協会 12人
宮崎県企業協働河川アダプト制度作業 清掃活動 (宮崎県高鍋土木事務所)	6月14日 9月27日	宮田川(左岸)、切原川(左岸・右岸)	協会 各15人
宮崎県企業共働河川アダプト制度作業 清掃活動 (日向地区建設業協会建和会)	6月8日	塩見川右岸	協会 37人
道路清掃ボランティア(日向地区) (日向地区建設業協会)	6月16日	国道327号線 (東郷道の駅～大河原ダム間)	協会 77人
日向市駅に恩返し～杉板をピカピカに磨こう！ 清掃活動 (日向市)	7月23日	日向市駅前	協会 7人 自治体 10人 一般 23人
宮崎県企業共働河川アダプト制度作業 清掃活動 (延岡土木事務所)	9月8日	松山川	協会 46人
河川・道路一斉美化活動(個別運動) (宮崎県(西臼杵支庁)高千穂地区建設業協会)	8月中	西臼杵郡内	協会 163人
公共奉仕活動 (高千穂地区建設業協会青年部)	8月19日	高千穂町内の小・中学校	協会 28人

鹿児島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
土地改良施設愛護活動 (加治木支部)	11月2日	霧島市下井海岸、霧島市竹山ダム	50人
イメージアップ活動「建設機械無料試乗会」 (曾於支部)	11月3日	旧岩川小学校	15人
建設業協会加治木支部集団献血 (加治木支部)	11月10日	始良市役所	37人
建設業協会加治木支部集団献血 (加治木支部)	10月19日	霧島市国分シビックセンター	61人
「土木の日」集団献血 (宮之城支部)	11月18日	ブラッセだいわ駐車場	98人
集団献血 (大根占支部)	7月19日	錦江町役場駐車場	9人
献血 (川内支部)	9月8日	建設業協会川内支部 川内建設会館	166人
集団献血運動 1回目 (曾於支部)	4月12日	曾於建設会館	25人
集団献血運動 2回目 (曾於支部)	10月26日	曾於建設会館	25人
第33回献血活動 (鹿屋支部)	8月24日	鹿屋市打馬2丁目 鹿屋建設会館	98人
西京ダム清掃活動ボランティア (種子島支部)	11月12日	西京ダム	26人
高校生の現場体験実習 (県立鹿屋農業高校 農業土木専攻2年生6名)	11月15日～18日	生徒の自宅近くの現場5か所	18人
高校生の現場体験実習 (県立鹿屋工業高校土木科2年生14名)	12月13日～16日	生徒の自宅近くの現場8か所	26人
高校生の建設現場見学会 (県立鹿屋工業高校土木科1年生11名等)	11月17日	肝属川掘削護岸、国道220号	31人
高校生現場見学会：加治木工業高等学校土木科1年生 (加治木支部)	11月29日	河川等災害関連事業、火山砂防工事	49人
加治木工業高等学校合同企業ガイダンス(土木科2年・3年生) (加治木支部)	6月9日	加治木工業高等学校	100人
錦江町いきいき秋まつり 出前授業とPR (大根占支部)	11月13日	錦江町総合運動公園	8人
トンネル防災訓練(平良・手打・青瀬トンネル防災連絡協議会) (甑島支部)	12月8日	県道351号平良トンネル	2人
第40回いぶすき菜の花マラソン大会運営支援(看板、駐車場) (指宿支部)	1月6日, 9日	マラソンコース 約40km	23人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
年末事業所周辺清掃奉仕活動（各事業所周辺のごみ、空き缶収集）（谷山支部）	12月27日～28日	各会員事業所周辺	120人
管内 8 小学校の卒業生への文房具寄贈と教育委員会へのPR（大根占支部）	3 月17日	南大隅町・錦江町教育委員会	4人
「ふるさとの道」奉仕活動（曾於支部）	5 月11日	県道 2 路線 約 1 km、約 1.3km	57人
さつま町内一斉防災訓練に伴う町からの依頼による河川見回り報告活動（宮之城支部）	5 月28日	川内川本川・支川 5 か所	20人
「土木の日」清掃活動（栗野支部）	11月17日	国道268号、県道55号	業界 65人 自治体等11人
谷山・喜入地区清掃奉仕活動（谷山支部）	6 月 3 日	谷山・喜入地区の市道、県道	128人
「農業施設」の草刈り、清掃活動（屋久島支部）	6月19日～20日	原地区、宮之浦地区の農道	11社 28人
高須・浜田海岸清掃ボランティア活動（鹿屋支部）	6 月29日	鹿屋市の高須・浜田海水浴場	51人
イベント前美化活動（大根占支部）	7月6日～7日	錦江町田代運動場、錦江町島浜海岸	32人
さつま町内広域農道を 4 班に分かれ支障木草の除伐及び搬出処理（宮之城支部）	7 月21日	さつま町内広域農道約10km	103人
肝属川クリーン作戦（鹿屋支部）	7 月23日	鹿屋市打馬 1 丁目～大手町（1.3km）	20人
河川愛護ボランティア（種子島支部）	7 月26日	甲女川・浜川・島間川	94人
河川敷内に散乱している、ゴミ等収集（谷山支部）	7 月30日	木之下川河川敷	42人
夏祭り前美化活動（大根占支部）	8 月 5 日	南大隅町根占 港湾公園・河川敷	27人
「道の日」の草刈り、清掃活動（屋久島支部）	8月4日～11日	一般県道 2 路線	21社 106人
道の日清掃活動（甌島支部）	8月8日、11日、17日	県道348号線、349号線	82人
「道の日」清掃活動（栗野支部）	8 月18日	国道268号、県道55号	業界 37人 自治体等12人
「道の日」除草作業（大口支部）	8 月21日	県道48号線、県道48号線の植樹帯	34人
道の日ボランティア清掃活動（加治木支部）	8 月18日	始良市 3 地区、霧島市 5 地区	120人
道路清掃作業（鹿屋支部）	8月10日～20日の間で	鹿屋・垂水市・肝付・東串良町11地区	88人
「道路ふれあい月間」一斉清掃（谷山支部）	9 月 6 日	谷山・喜入地区の県道 5 路線	80人
燃ゆるかごしま国体道路環境美化活動（加治木支部）	9月13日～10月6日	始良市 3 地区、霧島市 5 地区	301人
川内大綱引き綱ねり（川内支部）	9 月22日	薩摩川内市 向田側国道 3 号上	130人
国体開催関係車両通行のための国・県・市町道の支障木草の除伐・搬出（宮之城支部）	9月27日～10月4日	さつま町・薩摩川内市町内国・県・市町道	152人 (延べ200人超)
防潮堤に繁茂している雑草等の刈払い除去・収集運搬（谷山支部）	9 月30日	東開町木材港防潮堤	51人
かごしま国体前清掃（大根占支部）	9 月30日	鹿児島県根占自転車競技場と周辺	24人
鹿児島国体前環境美化活動（空き缶等ゴミ拾い、路面点検）（指宿支部）	10月 2 日	管内各地区の国・県・市道	97人
「みんなの港」奉仕活動（曾於支部）	10月 3 日	志布志港臨港道路 約900m	30人
国体自転車ロードレース コース清掃（大根占支部）	10月 3 日	錦江町～南大隅町国・県道 4 箇所 6 km	37人
「土木の日」清掃活動（かごしま国体開催前に実施）（栗野支部）	10月 4 日	国道268号、県道55号	業界 66人 自治体等25人
ゴールド集落（70歳以上50%以上の自治会）ボランティア除草・清掃作業（川内支部）	10月18日	薩摩川内市内ゴールド集落 9 自治会	92人
谷山ふるさと祭り後の清掃奉仕活動（国道等のゴミ、空き缶の収集）（谷山支部）	10月22日	国道225号外	40人
幼稚園への絵本寄贈（青年部会甌島支部）（甌島支部）	10月19日、25日	かのご・里・中津幼稚園	3人

沖縄県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
道路清掃ボランティア（中部支部）	10月26日	中部建設会館前道路	50人余
安全パトロール（那覇支部・建災防合同）	10月26日	豊見城高架橋下部工他工事 中小企業振興会館建設工事現場（久米）	9人
安全パトロール（南部支部・建災防合同）	10月28日 10月30日	報得川河川整備工事 那覇市・南風原町 建設工事現場 玉城青少年の家改築工事現場	6人 11人
安全パトロール（北部支部）	10月11日	南城市 等	8人
安全パトロール（北部支部）	5 月12日	宜野座村、金武町、恩納村	7人
職業人講話	1 月13日 2 月17日 7 月18日 7 月18日 10月31日 11月14日 12月 2 日	宮良小学校（石垣市） 首里高等学校（那覇市） 奥間小学校（国頭村） 安波小学校（国頭村） 伊波中学校（うるま市） 山内中学校（沖縄市） 古堅南小学校（読谷村）	生徒19人 生徒24人 生徒13人 生徒2人 生徒117人 生徒148人 生徒113人
河川清掃活動（那覇支部）	11月16日	那覇市上間地区（国場川）	30人
河川清掃活動（南部支部）	11月22日	豊見城市饒波川	約40人
献血キャンペーン（青年部会）	12月6日～7日	那覇市、うるま市	202人
鳥インフルエンザ防疫措置支援活動	12月16日～21日	金武町	126人
てだこウォーク2023協賛金贈呈（浦添・西原支部）	1 月19日	浦添市役所	
防犯パトロール（那覇支部）	3 月31日	那覇市内（松島小・中学校～真嘉比小学校周辺）	22人
防犯パトロール（南部支部）	2 月 3 日 6 月 5 日 10月 3 日	サンエーつかざんシティ サンエーつかざんシティ イオン南風原ショッピングセンター	2人 8人 2人
防犯パトロール（那覇支部）	7 月28日	真和志小学校・寄宮中学校周辺	18人

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
道路清掃ボランティア	(中部支部)	6月27日 10月6日	県道26号線の歩道 那覇市久米周辺	約50人 20人
道路清掃ボランティア	(南部支部)	3月8日	県道7号線照屋交差点～糸満学校給食センター前	26人
河川清掃ボランティア	(那覇支部)	5月24日	国場川付近	53人
海岸清掃	(宮古支部)	9月6日	パイナガマビーチ	約60人
西原まつり寄付金贈呈式	(浦添・西原支部)	10月3日	西原町役場	
てだこまつり特別協賛企業一斉贈呈式	(浦添・西原支部)	10月10日	浦添市中央公民館	
都市公園清掃	(宮古支部)	10月17日	パイナガマ公園	約100人
工業高校生現場見学会				
浦添工業高校 インテリア科 2年生		11月1日	宜野湾高校校舎改築工事、宇栄原市営住宅建替工事	42人
浦添工業高校 インテリア科 1年生		11月4日	玉城青少年の家改築工事、首里城復元工事現場	75人
美里工業高校 建築科 1, 2年生		11月17日	コザ運動公園隣接駐車場建設工事、沖縄アリーナホテル新築工事	78人
美来工科高校 土木工学科 1, 2年生		12月6日	沖縄都市モノレール新車両基地建設工事、那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路DP4・DP5下部工工事	41人
沖縄工業高校 建築科 1, 2年生		12月9日	(仮称) 沖縄アリーナホテル新築工事、浦添総合病院移転新築工事	76人
沖縄工業高校 建築科 1, 2年生		7月19日	宜野湾警察署新庁舎改築工事、(仮称) 琉球銀行本店ビル新築工事	82人
沖縄工業高校 土木科 1, 2年生		10月17日	読谷道路開削トンネル函渠他工事、与那原地区法面工事	67人
沖縄工業高校 土木科 1, 2年生		11月15日	読谷道路開削トンネル函渠工事、恩納BP5号線橋下部工工事	76人
南部工業高校 建築設備科 1, 2年生		9月15日	沖縄県立農業大学校新築工事(体育館・建築)、(仮称) プレサンスロジエ南風原新川新築工事	43人
名護商工高校 建築科 1, 2年生		9月28日	沖縄ビーシー(株)工場、沖縄県立農業大学校新築工事	57人

令和5年度
建設業社会貢献・SDGs/ 広報活動事例集

令和6年2月
許可なく複製転載を禁ずる

発行所 一般社団法人 全国建設業協会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1
電話 03(3551)9396 FAX 03(3555)3218
URL <https://www.zenken-net.or.jp>
印刷所 株式会社 DI Palette

中間前金払制度を利用しましょう！



北海道建設業信用保証株式会社

本 社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目1番地4 (D-LIFEPLACE 札幌)	☎ 011 (231) 4452
旭 川 支 店	〒070-0035 旭川市5条通5丁目左10号 (旭川建設業会館)	☎ 0166 (26) 0395
帯 広 支 店	〒080-0017 帯広市西7条南6丁目2番地 (帯広建設会館)	☎ 0155 (24) 5806
東 京 支 店	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目11番8号 (平澤ビル)	☎ 03 (3553) 1618
東 北 支 店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町2番15号 (二日町鹿島ビル)	☎ 022 (723) 2255

建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

本 社	〒104-8438 東京都中央区八丁堀2丁目27番10号	☎ 03 (3552) 7520
営業部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目5番1号 (東京建設会館)	☎ 03 (3551) 9511
支 店	新宿・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・ 神奈川・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・静岡・愛知・岐阜・三重・大阪	
建設産業図書館	〒104-0045 東京都中央区築地5丁目5番12号 (浜離宮建設プラザ)	☎ 03 (3545) 5129

公共工事の円滑施工をサポートし、
未来へのインフラ整備に貢献してまいります。
「前払金保証」「契約保証」「契約保証予約 (入札ボンド)」



西日本建設業保証株式会社

本 社	〒550-0012 大阪市西区立売堀2-1-2 (建設交流館)	☎ 06 (6543) 2553
支 店	大阪・滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫・鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・ 愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・東京・名古屋	

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償

保険金区分合計
最高**5,000**万円

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度



今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: 各都道府県建設業協会



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



令和5年度

建設業社会貢献・SDGs/広報活動事例集
まちをつくり暮らしをささえる建設業

